

爲シタル業主權ノ登記ハ假登記、差押又ハ競賣申立ノ效力ニ依リ取得シタル業主權移轉ノ登記
ヲ爲スト同時ニ職權ヲ以テ之ヲ抹消スヘシ(明治四〇年府令第九五號ニテ本條新置)

第四條ノ五 既登記ノ土地ニ關シ土地臺帳所管廳ヨリ不動産登記法第十一條第二項ノ通知アリタ
リトキハ登記官吏ハ職權ヲ以テ變更ノ登記ヲ爲スヘシ(同上)

前項異動ノ通知ニ誤謬アリタルトキハ登記官吏ハ土地臺帳所管廳ノ通知ニ依リ職權ヲ以テ更正
ノ登記ヲ爲スヘシ

第四條ノ六 土地臺帳所管廳ハ分筆ノ通知ヲ爲ス場合ニ於テ厝ノ登記アルモノニ係ルトキハ其ノ
厝屋ノ屬スル土地ヲ附記スヘシ(同上)

厝屋カ分筆シタル厝地ノ各區ニ跨ル場合ニ於テハ建物敷地ト建物ト分離シタルモノト看做シ建
物ノ表示ヲ抹消スヘシ

第四條ノ七 前二條ノ登記ニ關シテハ不動産登記法第八十一條ノ規定ヲ適用セス(同上)

第四條ノ八 國庫カ道路、鐵道線路、溝渠、用惡水路、河川又ハ堤防ニ供スル爲寄附ヲ受ケタル土地
ニ關シ業主權移轉登記ノ囑託アリタル場合ニ於テ其土地カ未登記ナルトキハ登記官吏ハ職權ヲ
以テ業主權ノ登記ヲ爲スヘシ(同上)

第四條ノ九 道路、鐵道線路、溝渠、用惡水路、河川又ハ堤防トナリタル土地ニ關シテハ不動産登記
法第一百一條第二條ノ規定ヲ準用ス(明治四二年府令第九五號ニテ本條ノ元、前條(第四條)ノ八
ノ第二項ナリシヲ第四條ノ九ト爲ス)

第四條ノ十 登記申請書受付年月日ハ申請ヲ却下スル場合ヲ除クノ外之ヲ以テ登記濟ノ年月日ト
看做ス(明治四〇年府令第九五號ヲ以テ本條ノ元、第四條ノ四ナリシヲ繰下ケテ第四條ノ九ト爲

シ明治四二年府令第九五號ニテ更ニ之ヲ第四條ノ十ト爲ス)

第四條ノ十一 職權登記ノ場合ニ於テ交付シタル登記通知書ハ登記濟證ト同一ノ效力ヲ有ス(明
治四〇年府令第九五號ヲ以テ本條ノ元、第四條ノ五ナリシヲ繰下ケテ第四條ノ十ト爲シ四二年
府令第九五號ヲ以テ更ニ之ヲ第四條ノ十一ト爲ス)

第五條 公業ニ屬スル土地ノ登記ハ其ノ代理人ヨリ申請ヲ爲スヘシ
前項ノ場合ニ於テ登記官吏ハ業主名ノ外其ノ代理人ノ住所氏名ヲ土地登記簿ニ記載スヘシ

第六條 公業管理人ノ變更アリケルトキハ新管理人ヨリ變更ノ登記ヲ申請スヘシ
登記官廳ハ公業管理人ノ變更ノ登記ヲ爲シタルトキハ遲滞ナク其旨ヲ土地臺帳所管廳ニ通知ス
ヘシ

第六條ノ二 土地臺帳ニ管理人ノ登錄アル土地ニ關シテハ前二條ノ規定ニ準據スヘシ(明治三八
年府令第七五號ヲ以テ本條ヲ置ク)

第六條ノ三 既登記ノ土地業主死亡シ相続人未定ノ場合ニ於テ管理人ヲ選任シタルトキハ前第五
條第六條ノ規定ニ準據スヘシ(明治四〇年府令第五號ヲ以テ本條ヲ置ク)

第七條 舊價ニ依リ厝地ト厝屋ト分ツヘカラサルトキハ建物敷地ノ登記中ニ建物ヲ包含セシメテ
登記ス此ノ場合ニ於テハ土地登記簿中表示欄建物敷地ノ次ニ建物ヲ表示スヘシ

第八條 厝屋ノ登記ニ關シテハ不動産登記法中建物ニ關スル規定ヲ準用ス

第九條 厝屋ト厝地トヲ分離シテ讓渡シ又ハ他ノ權利ノ目的ト爲ストキハ厝屋ノ登記ノ抹消ヲ申
請スヘシ

判決又ハ土地收用ニ因ル場合ニ於テハ登記權利者ノニテ前項抹消ノ申請又ハ囑託ヲ爲スコト

（得）明治四十四年府令第九五號ヲ以テ本項ヲ追加ス）

第十條 第七條ノ屠ニ屬スル權利ハ之ヲ土地ニ關スル權利ト看做ス

第十一條 縣耕權ハ耕作教育其ノ他農業ヲ目的ト爲ス土地ノ貸借トス

第十二條 地方設置、罹災救助基金、公學校、學租財團、仁濟院、慈善院及普濟院カ土地ニ關スル權利ニ付爲スヘキ登記ニ關シテハ不動産登記法中公署ニ關スル規定ヲ準用ス

第十三條 臺灣總督府ノ所管ニ係ル土地ノ登記ノ囑託ヲ爲ス場合ニ於テ臺灣總督ノ告示ヲ以テ指定シタル官吏ハ不動産登記法第三十五條第五號ノ書類ヲ提出スルヲ要セメ各省ノ所管ニ係ル土地ノ登記ノ囑託ヲ爲ス場合ニ於テ明治三十五年勅令第五號ニ基キ各省大臣ノ指定シタル官吏亦同シ

第十四條 臺灣土地登記規則施行後新ニ土地臺帳ニ登録セラレタル土地ニ關シ其ノ登録前設定シタル典權、胎權又ハ縣耕權ハ土地臺帳登録ノ日ヨリ六箇月内ニ登記ヲ爲スニアラサレハ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス

第十五條 臺灣土地登記規則施行前ニ設定シタル典權胎權及縣耕權ニシテ登記規則施行後設定ノ登記ヲ爲サスシテ其消滅ノミノ登記ヲ申請スル者ケリタルハ先ツ職權ヲ以テ典權胎權縣耕權ニ設定ノ登記ヲ爲スヘシ（明治三十八年八月臺灣總督府令第六一號ヲ以テ本條ヲ新置シ同年一〇月同令第七五號ヲ以テ「典權」ノ下ニ胎權及縣耕權ノ五字ヲ加フ）

前項ノ場合ニ於テ土地臺帳所管廳ニ對シテハ土地臺帳ニ典權胎權及縣耕權設定ノ記載アル場合ニ限リ消滅登記ノ通知ヲ爲スコトヲ要ス

第十六條 臺灣土地登記規則施行前ニ於ケル設定シタル典權ニシテ土地臺帳ニ典主トシテ登録セラレタル者其登記ヲ爲サントスルニ方リ登記義務者ノ同意ヲ得ルコト能ハサルトキハ其ノ事由ヲ説明シ登記權利者ノミニテ登記ヲ申請スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ其ノ土地カ未登記ナルトキハ登記權利者ハ業主ニ代位シ業主權ノ登記ヲ申請スルコトヲ得

轉典ノ場合ニ於テ中間ノ典主登記ヲ爲ササルトキハ業主ト現典主トノ間ニ於テ典權設定ノ登記ヲ申請スルコトヲ得但シ典價金ノ差異アル場合ハ此限ニ在ラズ
（別記ハ之ヲ略ス）

第三節 永代借地整理

臺灣永代借地整理調查規則（明治四十年七月律令第四號）

臺灣永代借地整理調查規則明治三十九年法律第三十一號第一條及第二條ニ依リ勅裁ヲ得テ茲ニ之ヲ發布ス

臺灣永代借地整理調查規則

第一條 外國人又ハ外國法人ニシテ永代借地權ヲ主張スル者ハ所轄廳ニ其ノ土地ノ申告ヲ爲スヘシ帝國臣民又ハ法人ニシテ永代借地權ヲ取得シタルモノ亦同シ

前項ノ申告ハ此ノ規則施行ヨリ六箇月以内ニ之ヲ爲スヘシ

第二條 前條ノ申告アリタル時ハ其ノ廳長ハ其ノ權利ノ態樣土地ノ境界ヲ査定スヘシ

第三條 申告ニ係ル土地ニシテ永代借地ノ性質ヲ有セサルモノナルトキハ廳長ハ理由ヲ附シテ申

告ヲ却下スヘシ
前項ノ却下處分書ハ之ヲ申告人ニ送達スヘシ

第四條 永代借地ノ境界ハ土地臺帳及地圖ノ區域ニ依リ査定スヘシ
申告地ニシテ土地臺帳及地圖ニ登記セラレザル土地ナルトキハ臺灣地租規則規定ニ從ヒ地盤ヲ
測量シ其ノ區域ヲ定メ之ヲ査定ス

申告地ニシテ土地臺帳及地圖ニ登録セラレタル土地ナルモ其ノ區域ト一致セサルトキハ前項ニ
準シ之ヲ査定ス

前二項ノ場合ニ於テハ廳長ハ第二條ノ査定ト共ニ其土地ノ業主及境界ヲ査定ス

第五條 此ノ規則ニ依リ査定シタル事項ハ廳長之ヲ告示スヘシ

第六條 廳長ノ査定ニ對シ不服アル利害關係人ハ査定告示ノ日ヨリ、申告却下ニ對シ不服アル者
ハ其處分書ノ送達ヲ受タル日ヨリ三十日以内ニ永代借地調査委員ニ申立其裁決ヲ受クルヲ得
永代借地調査委員會ノ組織權限ハ別ニ之ヲ定ム

第七條 第四條ノ調査ヲ爲ス場合ニ於テ廳長ハ必要ト認ムルトキハ其ノ土地及鄰地ノ利害關係人
ヲシテ實地ニ立會ハシムヘシ
利害關係人ニシテ正當ノ理由ナク立會ハサルトキハ前條ノ不服ヲ申出ツルコトヲ得ス

第八條 此ノ規則ニ依リ申告シタル土地ニ付調査スヘキ事項ニ對シテハ永代借地調査委員會ノ裁
決ヲ經タル後ニ非サレハ訴訟ヲ提起スルコトヲ得ス

前項ノ訴訟ハ裁決ヲ經タル日ヨリ一箇年以内ニ提起スルニ非サレハ之ヲ受理セス

第九條 此規則ニ定ムルモノノ外必要ナル規定ハ臺灣總督府之ヲ定ム

附則

此規則ハ明治四十年八月二日ヨリ之ヲ施行ス

同 施行規則

(明治四十年七月臺灣總督府令第六十號)

臺灣永代借地調査規則施行規則左ノ通相定ム

臺灣永代借地調査規則施行規則

第一條 永代借地ヲ申告スル者ハ別記様式ニ依リ申告書ヲ調製シ其ノ土地ヲ管轄スル廳長ニ提出
スヘシ

申告書ニハ業主ヲ連署セシムヘシ若連署セシムル能ハサルトキハ其ノ事由ヲ記載スヘシ申告ニ
係ル土地國有ナルトキハ連署ヲ要セス

第二條 申告者ハ其ノ土地ニ關スル永代借地券若ハ設定證書及其ノ他ノ證據書類ノ原本及謄本ヲ
提出スヘシ但シ證據書類ノ原本ハ閱覽ノ上又テ還付ス

申告者以外ニ於テ前項ノ證據書類ヲ所持スル者ハ其ノ提出ヲ拒ムコトヲ得ス

第三條 申告者ハ其ノ土地一區域毎ニ四至ノ境界ニ業主及永代借地權者ノ姓名ヲ記載シタル標石
又ハ堅牢ナル標抗ヲ建設スヘシ

第四條 實地ニ立會ヲ命セラレタル者ハ其ノ土地ニ關スル必要ナル書類ヲ攜帶スヘシ

第五條 申告書ヲ提出シタル後廳長ノ査定前永代借地ノ賣買、讓與其ノ他ノ事由ニ因リ申告書記
載ノ事項ニ變更ヲ生シタルトキハ其ノ都度之ヲ届出ヘシ

第六條 廳長ノ査定スヘキ業主、永代借地權者ハ其ノ申告シタル日ノ現在ニ依ル但シ前條ニ依リ異動届ヲ爲シタル場合ハ其ノ最後ノ異動アリタル日ノ現在ニ依ル

第七條 廳長ノ査定ニ對シ不服ヲ申立ツル者ハ永代借地調査委員會ニ書面ヲ提出シテ之ヲ爲スヘシ

前項ノ申立書ハ便宜廳長ニ提出スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ廳長ハ之ヲ永代借地調査委員會ニ送致スヘシ

第八條 臺灣永代借地調査規則第五條ノ告示ニハ臺灣永代借地整理規則第一條第一項各號ノ事項ヲ掲クヘシ

附則

此ノ規則ハ臺灣永代借地調査規則施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

(別記ハ之ヲ畧ス)

臺灣永代借地調査委員會規則

(明治四十年七月律令五百號)

臺灣永代借地調査委員會規則明治三十九年法律第三十一號第一條及第二條ニ依リ勅裁ヲ得テ茲ニ之ヲ發布ス

臺灣永代借地調査委員會規則

第一條 臺灣永代借地調査規則第六條ニ依ル不服ノ申立ヲ裁決セシムル爲臺灣總督府ニ永代借地調査委員會ヲ置キ委員長二人委員六人ヲ以テ組織ス

第二條 委員長ハ臺灣總督府民政長官ヲ以テ之ニ充テ委員ノ内三人ハ臺灣總督府法院判官三人ハ

臺灣總督府高等行政官ノ中ニ付內務大臣ニ由リ內閣總理大臣ヲ經テ臺灣總督奏薦宣行ス

第三條 調査委員會ハ委員長及委員ヲ合セテ五人以上出席スルニ非サレハ開會スルコトヲ得ス

第四條 此ノ規則ニ定ムルモノノ外必要ナル規定ハ臺灣總督之ヲ定ム

附則

此ノ規則ハ臺灣永代借地調査規則施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

(備考) 明治三十九年法律第三十一號ハ臺灣ニ施行スヘキ法令ニ關スル件ナリ

臺灣永代借地調査委員會規則施行規則

(明治四十年七月臺灣總督府令第六十一號)

臺灣永代借地調査委員會規則施行規則左ノ通相定ム

臺灣永代借地調査委員會規則施行規則

第一條 永代借地調査委員會ハ會議ノ必要アル毎ニ委員長之ヲ召集ス

第二條 會議ニ附スヘキ事項ハ七日以前ニ之ヲ各委員ニ通知スヘシ

第三條 永代借地調査委員會ニ三名ノ審査委員ヲ常置ス

審査委員ハ永代借地調査委員長調査委員中ヨリ之ヲ選任ス

第四條 臺灣永代借地調査規則第六條ニ依リ永代借地調査委員會ノ裁決ヲ求ムル者アルトキハ委員長ハ審査委員ヲシテ之ヲ調査セシメ其ノ結果ヲ報告セシムヘシ

第五條 永代借地調査委員會ノ議事ハ出席員ノ多數ニ依リ之ヲ決ス可否同數アルトキハ委員長ノ決スル所ニ依ル

第六條 永代借地調査委員會及其ノ審査委員ハ當事者及第三者ニ出頭ヲ命シ竝ニ必要ト認ムル證憑ヲ徵シ又ハ證人ヲ召喚シ其ノ他必要ト認ムルトキハ官廳又ハ人民ト文書ヲ往復シ委員ヲ派遣シテ實地ヲ臨檢セシムルコトヲ得

第七條 永代借地調査委員會ノ議事ハ議事録ニ筆記スルコトヲ要ス

第八條 永代借地調査委員會ノ裁決ハ裁決書ヲ作リ理由ヲ附シ裁決ニ干與シタル委員之ニ署名捺印シ其ノ謄本ニ永代借地調査委員會ノ印章ヲ押捺シテ之ヲ當事者ニ送達スヘシ

第九條 永代借地調査委員長事故アルトキハ其ノ指定シタル委員ヲ以テ其ノ事務ヲ代理セシム

第十條 永代借地調査委員會ニ幹事二名、技師一名、書記、技手及通譯若干名ヲ置ク
幹事及技師ハ臺灣總督府高等官、書記及技手ハ臺灣總督府判任官、通譯ハ臺灣總督府ニ於テ通譯ニ從事スル者ヲ以テ之ニ充ツ

第十一條 幹事ハ永代借地調査委員長ノ指揮ヲ承ケ庶務ヲ整理シ書記及通譯ハ委員長、委員及幹事ノ命ヲ承ケ議事ノ筆記通譯庶務ニ從事ス

技師ハ永代借地調査委員長ノ指揮ヲ承ケ土地測量ニ關スル技術ニ從事シ技手ハ委員長、委員及技師ノ命ヲ承ケ土地測量ニ從事ス

第十二條 永代借地調査委員會ノ議事及審査委員ノ審査ニ關スル規定ハ永代借地調査委員長之ヲ定ム

附則

此ノ規則ハ臺灣永代借地調査委員會規則施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

臺灣永代借地整理規則

(明治四十年七月律令第三號)

臺灣永代借地整理規則明治三十九年法律第三十一號第一條及第二條ニ依リ勅裁ヲ得テ茲ニ之ヲ發布ス

臺灣永代借地整理規則

第一條 外國人又ハ外國法人ノ爲設定シタル永代借地ニ關スル登記準備トシテ其ノ土地ヲ管轄スル廳ニ永代借地整理簿ヲ備ヘ臺灣永代借地調査規則ノ調査ニ依リ確定シタル左ノ事項ヲ登錄ス

- 一 座落
- 二 地番
- 三 地目
- 四 甲數
- 五 業主
- 六 永代借地權者
- 七 借地料
- 八 借地條件

永代借地整理簿ニハ前各號ノ事項ノ外設定年月日及沿革ヲモ記載スヘシ

第二條 此ノ規則ニ依リ登錄セラレタル永代借地權ノ移轉ハ相續又ハ遺言ニ因ル場合ヲ除クノ外永代借地整理簿ニ移轉ノ登錄ヲ爲スニ非サレハ其ノ效力ヲ生セス但シ相續又ハ遺言ニ因ル場合ト雖モ移轉ノ登錄ヲ爲スニ非サレハ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス

前條第七號第八號ノ事項ノ變更モ亦整理簿ニ登錄スルニ非ザレハ其ノ效力ヲ生セス

第三條 前條ノ登錄ハ當事者ノ申請ニ依リ之ヲ爲ス

第四條 永代借地トシテ永代借地整理簿ニ登錄セラレタル土地ニ付テハ廳長ハ職權ヲ以テ土地臺帳ニ其ノ登錄セラレタル永代借地權者ノ國籍、住所、氏名ヲ記入スヘシ第二條ノ登錄ヲ爲シタルトキ亦同シ

第五條 利害關係人ハ永代借地整理簿ノ閱覽又ハ其ノ謄本ノ交付ヲ請求スルコトヲ得

第六條 此ノ規則ニ定ムルモノノ外必要ナル規定ハ臺灣總督之ヲ定ム

附則

此ノ規則ハ明治四十年八月一日ヨリ之ヲ施行ス

〔備考〕 明治三十九年法律第三十一號ハ臺灣ニ施行スヘキ法令ニ關スル件ナリ

臺灣永代借地整理規則施行規則

(明治四十年七月臺灣總督府令第五十九號)

臺灣永代借地整理規則施行規則左ノ通相定ム

臺灣永代借地整理規則施行規則

第一條 永代借地整理簿ニ登錄シタル土地ノ區域ハ土地臺帳附屬地圖ニ表示ス

第二條 永代借地整理簿ニ登錄シタル土地ノ坐落地番地目及申數ニ異動ヲ生シ土地臺帳ヲ更正シタルトキ又ハ業主權移轉ノ登記ニ依リ土地臺帳ヲ更正シタルハ永代借地整理簿ヲ變更スヘシ

第三條 永代借地整理簿ニ登錄シタル前條以外ノ事項ニ付變更ノ申請アリタルトキハ永代借地整理簿ヲ變更スヘシ

理簿ヲ變更スヘシ永代借地權者ノ變更ニ係ルトキハ土地臺帳ヲモ更正スヘシ

第四條 永代借地整理簿ハ別記第一號格式ニ依リ一地番毎ニ調製スヘシ

第五條 永代借地整理簿ハ其ノ二用紙ヲ登錄番號欄表題部及甲乙丙丁ノ四區ニ分チ尙表題部ニ表示欄番號欄ヲ設ケ各區ニ事項欄順位番號欄ヲ設ケ

登錄番號欄ニハ永代借地ヲ整理簿ニ始メテ登錄シタル順序ヲ記載ス
表示欄ニハ永代借地ノ土地ノ表示ヲ爲シ及其ノ變更ニ關スル事項ヲ記載シ表示番號欄ニハ表示欄ニ登錄事項ヲ記載シタル順序ヲ記載ス

甲區事項欄ニハ業主權移轉ニ關スル事項ヲ記載ス
乙區事項欄ニハ永代借地權ノ移轉ニ關スル事項ヲ記載ス
丙區事項欄ニハ永代借地ノ借地料ニ關スル事項ヲ記載ス
丁區事項欄ニハ永代借地ノ借地條件ニ關スル事項ヲ記載ス

順位番號欄ニハ登錄事項ヲ記載シタル順序ヲ記載ス
第六條 永代借地整理簿ニハ臺灣總督府民政長官其ノ枚數ヲ表紙ノ裏面ニ記載シ職氏名ヲ署シ職印ヲ捺シ且毎葉ノ綴目ニ職印ヲ以テ契印ヲ爲スヘシ

第七條 永代借地權ノ移轉又ハ變更ノ申請ハ登錄權利者及登錄義務者又ハ其ノ代理人廳ニ出頭シ之ヲ爲スコトヲ要ス但シ判決又ハ相續若ハ遺言ニ依ル登錄ハ登錄權利者ノミニテ之ヲ申請スルコトヲ得公賣處分及土地收用ニ依ル登錄ノ場合亦同シ

第八條 登錄ノ申請アリタルトキハ廳長ハ判決ニ依ル場合ヲ除ク外登錄事實ヲ調査シ真正ナリト

認ムルトキハ永代借地整理簿中登録ノ手續ヲ爲シ若其ノ事實眞正ナラスト認ムルトキハ理由ヲ附シテ其ノ申請ヲ却下スヘシ

前項ノ調査ハ之ヲ他人ノ官廳ニ囑託スルコトヲ得

第九條 登録ヲ申請スルニハ左ノ書面ヲ提出スヘシ

- 一 申請書
- 二 登録原因ヲ證スル書面

登録申請書ニハ永代借地整理規則第一條第一號乃至第六號ノ事項ヲ掲記スヘシ

第十條 永代地借整理簿ノ閱覽又ハ謄本ノ交付ヲ請求スル者ハ申請書ヲ廳ニ提出スヘシ此ノ場合ニ於テハ左ノ手数料ヲ納付スヘシ

- 一 閱覽 一回三付五錢
- 一 謄本 一地番ニ付二十錢

第十一條 永代借地整理簿ハ事變ヲ避ケル場合ノ外廳外ニ持出スコトヲ得ス

第十二條 事變ヲ避ケル爲メ永代借地整理簿又ハ其ノ附屬書類ヲ廳外ニ持出シタルトキハ廳長ハ速ニ其ノ旨ヲ臺灣總督ニ具申スヘシ

第十三條 法院又ハ豫審判官ヨリ申請書其ノ他ノ附屬書類ヲ送付スヘキ命令又ハ囑託アリタルトキハ廳長ハ其ノ關係アル部分ニ限リ之ヲ送付スヘシ

附則 此ノ規則ハ臺灣永代借地整理規則施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

(別記様式ハ之ヲ參ス)

第五章 法人及夫婦財產契約登記

法人及夫婦財產契約登記取扱手續

(明治三十三年五月司法省令第十五號)

法人及夫婦財產契約登記取扱手續左ノ通相定ム

法人及夫婦財產契約登記取扱手續

第一條 法人登記簿ハ附錄第一號雜形ニ依リ夫婦財產契約登記簿ハ附錄第二號雜形ニ依リ地方裁判所ニ於テ之ヲ調製スヘシ

第二條 法人登記見出帳ハ附錄第三號雜形ニ依リ夫婦財產契約登記見出帳ハ附錄第四號雜形ニ依リ之ヲ調製スヘシ

第三條 登記所ニハ登記簿、見出帳及ヒ受附帳ノ外左ノ帳簿ヲ備フ

- 一 謄本抄本證明書交付帳
- 二 法人登記申請書屆書附屬書類送込帳(明治卅五年四月司法省令第十七號ヲ以テ本號ヲ改ム)
- 三 夫婦財產契約登記申請附屬書類送込帳
- 四 受領證原符元帳
- 五 決定原本送込帳
- 六 登記簿謄本送込帳
- 七 登記簿送付帳
- 八 抗告書類送込帳

認ムルトキハ永代借地整理簿中登録ノ手續ヲ爲シ若其ノ事實眞正ナラスト認ムルトキハ理由ヲ附シテ其ノ申請ヲ却下スヘシ

前項ノ調査ハ之ヲ他ノ官廳ニ囑託スルコトヲ得

第九條 登録ヲ申請スルニハ左ノ書面ヲ提出スヘシ

- 一 申請書
- 二 登録原因ヲ證スル書面

登録申請書ニハ永代借地整理規則第一條第一號乃至第六號ノ事項ヲ掲記スヘシ

第十條 永代地借整理簿ノ閱覽又ハ謄本ノ交付ヲ請求スル者ハ申請書ヲ廳ニ提出スヘシ此ノ場合

ニ於テハ左ノ手数料ヲ納付スヘシ

- 一 閱覽
- 二 謄本

第十一條 永代借地整理簿ハ事變ヲ避ケル場合ノ外廳外ニ持出スコトヲ得ス

第十二條 事變ヲ避ケル爲メ永代借地整理簿又ハ其ノ附屬書類ヲ廳外ニ持出シタルトキハ廳長ハ速

ニ其ノ旨ヲ臺灣總督ニ具申スヘシ

第十三條 法院又ハ豫審判官ヨリ申請書其ノ他ノ附屬書類ヲ送付スヘキ命令又ハ囑託アリタルトキハ廳長ハ其ノ關係アル部分ニ限リ之ヲ送付スヘシ

附 則

此ノ規則ハ臺灣永代借地整理規則施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

(別記様式ハ之ヲ畧ス)

第五章 法人及夫婦財產契約登記

法人及夫婦財產契約登記取扱手續

(明治三十二年五月司法省令第十五號)

法人及夫婦財產契約登記取扱手續左ノ通相定ム

第一條 法人登記簿ハ附錄第二號雛形ニ依リ夫婦財產契約登記簿ハ附錄第二號雛形ニ依リ地方裁

判所ニ於テ之ヲ調製スヘシ

第二條 法人登記見出帳ハ附錄第三號雛形ニ依リ夫婦財產契約登記見出帳ハ附錄第四號雛形ニ依リ之ヲ調製スヘシ

第三條 登記所ニハ登記簿、見出帳及ヒ受附帳ノ外左ノ帳簿ヲ備フ

- 一 謄本抄本證明書交付帳
- 二 法人登記申請書屆書附屬書類送込帳(明治卅五年四月司法省令第十七號ヲ以テ本號ヲ改ム)
- 三 夫婦財產契約登記申請附屬書類送込帳
- 四 受領證原符元帳
- 五 決定原本綴込帳
- 六 登記簿謄本綴込帳
- 七 登記簿證交付帳
- 八 抗告書類送込帳

九 印鑑簿

第三條之二 前條第一號乃至第八號ノ帳簿ハ一今年毎ニ別冊ト爲スヘシ(明治三十五年七月司法省令第十七號ヲ以テ本條ヲ追加ス)

第四條 外國法人ノ登記ヲ爲ス場合ニ於テ登記スヘキ事項ノ名稱カ或欄ノ表示ニ適合セザルトキハ最モ之ニ類似シテ欄ニ記載シタル上其名稱ヲ附記スヘシ

第五條 外國法人ノ事務所ノ變更ノ登記ヲ登記用紙中變更欄ニ之ヲ爲シ其登記用紙ヲ閉鎖スヘシ

第六條 民法施行法第二十條第二項ノ規定ニ依リテ申請シタル法人ノ登記簿爲ス下キハ登記用紙中第四欄ニ主務官廳ヲ認可アリタルコト及ヒ其年月日ヲ記載スヘシ

第七條 夫婦財産契約カ夫婦ノ一方ノ死亡ニ因リテ終了シタルトキハ他ノ一方ノ者ノミニテ登記ノ申請ヲ爲スヘシ

前項ノ場合ニ於テハ申請書ニ其理由ヲ附シテ足ルヘキ書面ヲ添附スヘシ

第八條 夫婦財産契約ノ關シ登記シタル事項ノ變更ノ登記又ハ夫婦財産契約ノ登記ノ更正ハ登記用紙中管理者ノ變更及ヒ共有財産ノ分割欄ニ之ヲ爲スヘシ

第九條 商業登記取扱手續第二十三條及ヒ第二十六條ノ規定ハ法人ノ登記ニ之ヲ準用ス

第十條 不動産登記法施行細則第四條第五條第十二條第十三條第二十條乃至第二十四條第二十七條第三十三條乃至第三十九條第四十七條第五十一條及ヒ商業登記取扱手續第五條乃至第七條第九條乃至第二十條第二十四條第二十五條第二十七條乃至第三十二條第四十六條ノ規定ハ法人及ヒ夫婦財産契約ノ登記ニ之ヲ準用ス

第十一條 營利ヲ目的トスル法人ノ登記ニハ商事會社ノ登記ニ關スル規定ヲ準用ス

附則

第十二條 本令ハ明治三十二年六月十六日ヨリ之ヲ施行ス

第十三條 明治三十一年(七月)司法省令第六號法人及ヒ夫婦財産契約登記取扱規則ハ本令施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

(附録ハ之ヲ畧ス)

法人及ヒ夫婦財産契約登記簿ノ謄本又ハ抄本ノ調製ニ付テハ明治二十六年(五月)司法省民刑第三百九十號訓令ニ準據スヘシ

法人登記簿及ヒ夫婦財産契約登記簿ノ謄本又ハ抄本ノ調製方

請求等ニ關スル手数料 (明治三十二年六月司法省令第三十四號)

法人登記簿及ヒ夫婦財産契約登記簿ノ謄本又ハ抄本ノ請求等ニ關スル手数料左ノ通相定ム

第一條 非訟事件手續法第百二十五條ノ規定ニ依リテ法人登記簿及ヒ夫婦財産契約登記簿ノ謄本又ハ抄本ノ交付ヲ請求スル者ハ其用紙二枚ニ付キ手数料金十錢ヲ納ムヘシ但シ一枚ニ滿タサルモノ

第二條 非訟事件手續法第百三十五條ノ規定ニ依リテ登記事項ニ變更ナキコト又ハ或事項ノ登記ナキコトノ證明ヲ請求スル者ハ每一件手数料金十錢ヲ納ムヘシ

第三條 明治三十二年司法省令第十五號第十條ノ規定ニ依リ法人又ハ夫婦財産契約ノ登記ニ付キ

登記済證ノ交付ヲ請求スル者ハ手数料金五錢ヲ納ムヘシ

第四條 非訟事件手續法第四十二條第一項又ハ第五十七條第一項ノ規定ニ依リ書類ノ謄本ノ交付

ヲ請求スル者ハ其謄本一枚ニ付手数料金十錢ヲ納ムヘシ但一行二十字語二十行ヲ以テ一枚トシ

十一行以上ハ一枚ニ計算シ十行以下ハ半枚ニ計算ス

第五條 手数料ハ收入印紙ヲ申請書ニ貼附シテ之ヲ納ムヘシ

第六條 前五條ノ規定ハ官吏又ハ公吏方政府ノ利益ノ爲メ其職務ヲ以テ請求ヲ爲ス場合ニハ之ヲ

適用セス

第七條 本令ハ明治三十二年六月十六日ヨリ之ヲ施行ス

第八條 明治三十一年司法省令第十號ハ本令施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

〔參照〕 明治三十一年(七月)司法省令第十號ハ非訟事件手續法ニ依リ申請スヘキ謄本又ハ抄

本ノ手数料ニ關スル件ナリ

法人及夫婦財産契約ニ關スル登記取扱手續

(明治三十二年七月臺灣總督府令第六十八號)

法人及夫婦財産契約ニ關スル登記取扱手續ハ明治三十二年(五月)司法省令第十五號法人及夫婦財

産契約登記取扱手續ニ依リ

本令ハ發布ノ日ヨリ施行ス

法人登記簿及夫婦財産契約登記簿ノ謄本又ハ抄本ノ交付ノ請求ニ關スル件

(明治三十二年七月臺灣總督府令第八十五號)

法人登記簿及夫婦財産契約登記簿ノ謄本又ハ抄本ノ交付、登記事項ノ證明、登記済證ノ交付、及

財産管理ニ關スル書類ノ謄本ノ交付ヲ請求スル者ハ明治三十二年(六月)司法省令第三十四號法人

登記簿及夫婦財産契約登記簿ノ謄本又ハ抄本ノ請求等ニ關スル規定ニ依リ手数料ヲ納ムヘシ

本令ハ發布ノ日ヨリ施行ス

第五編 非訟事件手續

非訟事件手續法 (明治三十二年六月法律第十四號)

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル非訟事件手續法ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

非訟事件手續法

第一編 總則

第一條 裁判所ノ管轄ニ屬スル非訟事件ニ付テハ本法其他ノ法令ノ別段ノ定メアル場合ヲ除ク外

本編ノ規定ヲ適用ス

第二條 裁判所ノ土地ノ管轄カ住所ニ依リテ定マル場合ニ於テ日本ニ住所ナキトキ又ハ日本ノ住

所ノ知レサルトキハ居所地ノ裁判所ヲ以テ管轄裁判所トス

居所ナキトキ又ハ居所ノ知レサルトキハ最後ノ住所地ノ裁判所ヲ以テ管轄裁判所トス

最後ノ住所ナキトキ又ハ其住所ノ知レサルトキハ財産ノ所在地又ハ司法大臣ノ指定シタル地ヲ
裁判所ヲ以テ管轄裁判所トス相續開始地ノ裁判所カ管轄裁判所ナル場合ニ於テ相續カ外國ニ於
テ開始シタルトキ亦同シ

第三條 數個ノ管轄裁判所アル場合ニ於テハ最初事件ノ申立ヲ受ケタル裁判所其事件ヲ管轄ス

第四條 管轄裁判所ノ指定ハ裁判所構成法第十條第一號ニ掲ケタル場合ノ外數個ノ裁判所ノ土地
ノ管轄ニ付キ疑アルトキ之ヲ爲ス

民事訴訟法第二十八條ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五條 製判所職員ノ除斥ニ關スル民事訴訟法ノ規定ハ非訟事件ニ之ヲ準用ス

第六條 事件ノ關係人ハ訴訟能力者ナシテ代理セシムルコトヲ得但自身出頭ヲ命セラレタルトキ
ハ此限ニ在ラス

裁判所ハ辯護士ニ非スシテ代理ヲ營業トスル者ニ退斥ヲ命スルコトヲ得此命令ニ對シテハ不服
ヲ申立ツルコトヲ得

第七條 民事訴訟法第六十四條ノ規定ハ前條第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス但裁判所ハ職權ヲ以テ私
署證書ニ認證ヲ受クヘキ旨ヲ命スルコトヲ得此命令ニ對シテハ不服ヲ申立ツルコトヲ得ス

第八條 申立及ヒ陳述ハ書面又ハ口頭ヲ以テ爲スコトヲ得

民事訴訟法第三十五條ノ規定ハ口頭ノ申立及ヒ陳述ニ之ヲ準用ス

第九條 申立ニハ左ノ事項ヲ記載シ申立人又ハ代理人之ニ署名、捺印スヘシ

一 申立人ノ氏名、住所

二 代理人ニ依リテ申立ヲ爲ストキハ其氏名、住所

三 申立ノ趣旨及ヒ其原因タル事實

四 年月日

五 裁判所ノ表示

證據書類アルトキハ其原本又ハ謄本ヲ添附スヘシ

第十條 期日、期間、疏明ノ方法、人證及ヒ鑑定ニ關スル民事訴訟法ノ規定ハ非訟事件ニ之ヲ準用
ス

第十一條 裁判所ハ職權ヲ以テ事實ノ探知及ヒ必要ト認ムル證據調ヲ爲スヘシ

第十二條 事實ノ探知、呼出、告知及ヒ裁判ノ執行ニ關スル行爲ハ之ヲ囑託スルコトヲ得

第十三條 審問ハ之ヲ公行セス但裁判所ハ相當ト認ムル者ニ傍聽ヲ許スコトヲ得

第十四條 證人又ハ鑑定人ノ訊問ニ付テハ調書ヲ作ラシメ其他ノ審問ニ付テハ必要ト認ムル場合
ニ限リ之ヲ作ラシムヘシ

第十五條 檢察ハ事件ニ付キ意見ヲ述ヘ審問ヲ爲ス場合ニ於テハ之ニ立會フコトヲ得

事件及ヒ審問期日ハ檢察ニ之ヲ通知スヘシ

第十六條 裁判所其他ノ官廳、檢察及ヒ公吏ハ其職務上檢察ノ請求ニ因リテ裁判ヲ爲スヘキ場合
カ生シタルコトヲ知リタルトキハ之ヲ管轄裁判所ノ檢察ニ通知スヘシ

第十七條 裁判ハ決定ヲ以テ之ヲ爲ス

裁判ノ原本ニハ判事署名、捺印スヘシ但申立書又ハ調書ニ記載シ判事之ニ署名、捺印シ
テ原本ニ代フルコトヲ得

裁判ノ正本及ヒ謄本ニハ書記署名、捺印シ且正本ニハ裁判所ノ印ヲ押捺スヘシ

165

續 手 件 事 訟 非

第十八條 裁判ハ之ヲ受クル者ニ告知スルニ因リテ其効力ヲ生ス

裁判ノ告知ハ裁判所ノ相當ト認ムル方法ニ依リテ之ヲ爲ス

告知ノ方法、場所及ヒ年月日ハ之ヲ裁判ノ原本ニ記入スヘシ

第十九條 裁判所ハ裁判ヲ爲シタル後其裁判ヲ不當ト認ムルトキハ之ヲ取消シ又ハ變更スルコトヲ得

申立ニ因リテノミ裁判ヲ爲スヘキ場合ニ於テ申立ヲ却下シタル裁判ハ申立ニ因ルニ非サレハ之ヲ取消シ又ハ變更スルコトヲ得

即時抗告ヲ以テ不服ヲ申立ツルコトヲ得ル裁判ハ之ヲ取消シ又ハ變更スルコトヲ得ス

第二十條 裁判ニ因リテ權利ヲ害セラレタリトスル者ハ其裁判ニ對シテ抗告ヲ爲スコトヲ得

申立ニ因リテノミ裁判ヲ爲スヘキ場合ニ於テ申立ヲ却下シタル裁判ニ對シテハ申立人コ限リ抗告ヲ爲スコトヲ得

第二十一條 抗告ハ特定メタル場合ヲ除ク外執行停止ノ効力ヲ有セス

第二十二條 即時抗告ノ期間ハ裁判ノ告知ノ日ヨリ之ヲ起算ス

民事訴訟法第七十四條乃至第七十六條ノ規定ハ即時抗告ノ期間ヲ懈怠シタル場合ニ之ヲ準用ス

第二十三條 抗告裁判所ノ裁判ニハ事由ヲ附スルコトヲ要ス

第二十四條 抗告裁判所ノ裁判ニ對シテハ法律ニ違背シタル裁判ナルコトヲ理由トスルトキニ限リ抗告ヲ爲スコトヲ得

民事訴訟法第四百三十五條第四百三十六條及ヒ第四百五十三條ノ規定ハ前項ノ抗告ニ之ヲ準用ス

第二十五條 抗告ニ對シテハ其負擔ヲ命ラセラル者ニ限リ不服ヲ申立ツルコトヲ得

第二十六條 裁判所ノ手續及ヒ裁判ノ告知ノ費用ハ特定メタル場合ヲ除ク外事件ノ申立人ノ負擔トス但儉事カ申立爲シタル場合ニ於テハ國庫ノ負擔トス

第二十七條 裁判所ハ前條ノ費用ニ付キ裁判所ヲ爲スコトヲ必要ト認ムルトキハ其額ヲ確定シテ事件ノ裁判ト共ニ之ヲ爲スヘシ

第二十八條 裁判所ハ特別ノ事情アリトキハ本法ノ規定ニ依リテ費用ヲ負擔スヘキ者ニ非サル關係人ニ費用ノ全部又ハ一部ノ負擔ヲ命スルコトヲ得

第二十九條 民事訴訟法第八十條第一項ノ規定ハ共同ニテ費用ヲ負擔スヘキ者數人アル場合ニ之ヲ準用ス

第三十條 費用ノ裁判ニ對シテハ其負擔ヲ命ラセラル者ニ限リ不服ヲ申立ツルコトヲ得

第三十一條 費用ノ債權者ハ費用ノ裁判ニ基キテ強制執行ヲ爲スコトヲ得

民事訴訟法第六編ノ規定ハ前項ノ強制執行ニ之ヲ準用ス但執行ヲ爲ス前裁判ヲ送達スルコトヲ要セス

費用ノ裁判ニ對スル抗告アリタルトキハ民事訴訟法第五百條ノ規定ヲ準用ス

第三十二條 職權ヲ以テ爲ス探知、證據調、呼出、告知其他ノ必要ナル處分ノ費用ハ國庫ニ於テ之ヲ立替フヘシ

第三十三條 本編ニ於ケル申立トハ申立、申請及ヒ申述ヲ謂フ

第二十五條 抗告ニ對シテハ其負擔ヲ命ラセラル者ニ限リ不服ヲ申立ツルコトヲ得
第二十六條 裁判所ノ手續及ヒ裁判ノ告知ノ費用ハ特定メタル場合ヲ除ク外事件ノ申立人ノ負擔トス但儉事カ申立爲シタル場合ニ於テハ國庫ノ負擔トス
第二十七條 裁判所ハ前條ノ費用ニ付キ裁判所ヲ爲スコトヲ必要ト認ムルトキハ其額ヲ確定シテ事件ノ裁判ト共ニ之ヲ爲スヘシ
第二十八條 裁判所ハ特別ノ事情アリトキハ本法ノ規定ニ依リテ費用ヲ負擔スヘキ者ニ非サル關係人ニ費用ノ全部又ハ一部ノ負擔ヲ命スルコトヲ得
第二十九條 民事訴訟法第八十條第一項ノ規定ハ共同ニテ費用ヲ負擔スヘキ者數人アル場合ニ之ヲ準用ス
第三十條 費用ノ裁判ニ對シテハ其負擔ヲ命ラセラル者ニ限リ不服ヲ申立ツルコトヲ得
第三十一條 費用ノ債權者ハ費用ノ裁判ニ基キテ強制執行ヲ爲スコトヲ得
民事訴訟法第六編ノ規定ハ前項ノ強制執行ニ之ヲ準用ス但執行ヲ爲ス前裁判ヲ送達スルコトヲ要セス
費用ノ裁判ニ對スル抗告アリタルトキハ民事訴訟法第五百條ノ規定ヲ準用ス
第三十二條 職權ヲ以テ爲ス探知、證據調、呼出、告知其他ノ必要ナル處分ノ費用ハ國庫ニ於テ之ヲ立替フヘシ
第三十三條 本編ニ於ケル申立トハ申立、申請及ヒ申述ヲ謂フ

第二編 民事非訟事件

第一章 法人ニ關スル事件

第三十四條 民法第四十條ニ定メタル事件ハ法人ノ設立者カ死亡ノ時ニ有シタル住所地ノ區裁判所ノ管轄トス

法人ノ設立者カ日本ニ住居チ有セザリシトキ又ハ其住所カ知レサルトキハ其死亡ノ時ノ居所地又ハ法人設立地ノ區裁判所ノ管轄トス

第三十五條 假理事又ハ特別代理人ノ選任ハ法人ノ主タル事務所所在地ノ區裁判所ノ管轄トス 法人ノ解散及ヒ清算ノ監督ハ其主タル事務所所在地ノ管轄トス

第三十六條 裁判所ハ特ニ選任シタル者ヲシテ法人ノ監督ニ必要ナル検査ヲ爲サシムルコトヲ得 第三十七條 第三百三十六條乃至第三百八條及ヒ第七十五條乃至第七十七條ノ規定ハ法人ノ清算人ニ之ヲ準用ス(明治三十二年三月法律第五十一號ル以テ本條ヲ改ム)

第二章 財産ノ管理ニ關スル事件

第三十八條 不在者ノ財産ノ管理ニ關スル事件ハ其住所地ノ區裁判所ノ管轄トス

第三十九條 裁判所ハ管理人ヲ選任シ又ハ改任スヘキ場合ニ於テハ利害關係人ノ意見ヲ聽クコトヲ得

第四十條 裁判所ハ何時ニテモ其選任シタル管理人ヲ改任スルコトヲ得此裁判ニ對シテハ不服ヲ申立ツルコトヲ得ス

管理人ハ其任務ヲ辭セントスルトキハ裁判所ニ其旨ヲ届出ツヘシ此場合ニ於テハ裁判所ハ更ニ管理人ヲ選任スヘシ

第四十一條 裁判所ハ其選任シタル管理人ニ財産ノ狀況ヲ報告シ且管理ノ計算ヲ爲スヘキ旨ヲ命スルコトヲ得

民法第二十七條第二項ノ場合ニ於テハ裁判所ハ不在者カ置キタル管理人ニモ前項ノ手續ヲ命スルコトヲ得

前二項ノ命令ニ對シテハ不服ヲ申ツルコトヲ得ス

第四十二條 利害關係人ハ前條ノ報告及ヒ計算ニ關スル書類ノ閱覽ヲ申請シ又ハ手数料ヲ納付シテ其謄本ノ交付ヲ申請スルコトヲ得

檢事ハ前項ノ書類ヲ閱覽スルコトヲ得

第四十三條 民法第六百四十四條第六百四十六條第六百四十七條及ヒ第六百五十條ノ規定ハ裁判所カ選任シタル管理人ニ之ヲ準用ス

第四十四條 裁判所ハ管理人チシテ擔保ヲ供セシメタル後其増減、變更又ハ免除ヲ命スルコトヲ得

第四十五條 裁判所ハ管理人ノ不動産又ハ船舶ノ上ニ抵當權ヲ設定スヘキコトヲ命シタルトキハ其設定ノ登記ヲ囑託スルコトヲ得

前項ノ囑託ニハ抵當權ノ設定ヲ命シタル裁判ノ謄本ヲ添附スヘシ

第四十六條 裁判所カ財産ノ封印ヲ命シタル場合ニ於テハ管轄區裁判所之ヲ爲ス 利害關係人、管理人及ヒ檢事ハ封印ノ手續ニ立會フコトヲ得

第四十七條 左ニ掲ケタル物ニハ封印ヲ爲スヘカラス

一 日用品

三 第三者ノ占有ニ屬スル物但シ其提出ヲ拒ミタル限キハ此ノ限ニ在ラス

第四十九條 裁判所ハ封印ヲ爲シタルトキハ財産ノ保管者ヲ選任スヘシ

第四十條 民法第六百五十八條第一項第六百五十九條乃至第六百六十一條及第六百六十四條ノ規定ハ裁判所力選任シタル保管者ニ之ヲ準用ス但民法第六百六十條ノ通知ハ之ヲ檢事ニ爲スコトナラズ

第五十條 封印ヲ爲シタルトキハ書記ハ直チニ調書ヲ作ルヘシ

一 封印ヲ命シタル裁判ノ表示

二 封印ノ手續ヲ爲シタル場所、年月日及ヒ其事由

三 申立人ノ氏名、住所

四 封印ヲ爲シタル物件、家屋又ハ倉庫

五 封印ヲ爲サザリシ物件ノ概畧及ヒ其事由

第五十一條 裁判所ハ利害關係人、管理人又ハ檢事ノ請求ニ因リ民法第二十五條第二項及ヒ民法

第五十九條以外ノ場合ニ於テモ封印ノ除去ヲ命スルコトヲ得

第四十六條 第五十條第一項及ヒ民事訴訟法第五百三十六條ノ規定ハ封印ノ除去ニ之ヲ準用ス保管者ハ封印ノ除去ニ立書フコトヲ得

第五十二條 裁判所ハ豫メ封印ヲ除去スヘキ期日ヲ定メ申立人、利害關係人、保管者、管理人及ヒ檢事ニ之ヲ告知スヘシ

利害關係人、管理人及ヒ檢事ハ前項ノ期日前ニ裁判所ニ異議ヲ申立ツルコトヲ得但民法第二十

五條第二項及ヒ民法第五十九條ノ場合ハ此限ニ在ラス

異議ノ裁判ニ對シテ不服ヲ申立ツルコトヲ得ス

第五十三條 異議ノ申立アリタルトキハ其申立ノ取下又ハ却下ノ後ニ非サレハ封印ヲ除去スルコトヲ得ス

封印ヲ除去シタルトキハ直チニ書記又ハ公證人ヲシテ財産ノ目錄ヲ調製セシムヘシ但民法第二

十五條第二項及ヒ民法第五十九條ノ場合ニ於テ立會人カ之ヲ調製セサルコトニ同意シタルトキハ此限ニ在ラス

第五十四條 封印ノ除去ノ調書ニハ左ノ事項ヲ記載シ判事書記及ヒ立會人之ニ署名、捺印スヘシ

一 封印ノ除去ヲ命シタル裁判ノ表示

二 封印ノ除去ヲ爲シタル場所、年月日及ヒ其事由

三 申立人ノ氏名、住所

四 異議ノ申立ナカリシコト又ハ其申立ノ取下若クハ却下アリタルコト

五 財産ノ目錄ヲ調製セシメ又ハ之ヲ調製セシメザリシコト

六 封印ノ狀況及ヒ異狀アルトキハ其事由
 調書ハ裁判所ニ之ヲ保存スヘシ
 第五十五條 管理人カ調製スヘキ財産ノ目錄ニハ左ノ事項ヲ記載シ管理人及ヒ立會人之ニ署名、捺印スヘシ

- 一 調製ノ場所、年月日及ヒ其事由
- 二 申立人ノ氏名、住所
- 三 不動産ノ表示
- 四 動産ノ種類及ヒ數量
- 五 債權及ヒ債務ノ表示
- 六 帳簿、證書其他ノ書類

財産ノ目錄ハ二通ヲ調製シ其一通ハ管理人ノ之ヲ保管シ其一通ハ之ヲ裁判所ニ提出スヘシ
 第四十六條第二項ノ規定ハ財産ノ目錄ノ調製ニ之ヲ準用ス

第五十六條 民法第二十七條第一項及ヒ第二項ノ場合ニ於テ裁判所ハ公證人ヲシテ財産ノ目錄ヲ調製セシムヘキ旨ヲ管理人ニ命スルコトヲ得

管理人カ調製シタル目錄ヲ不充分ト認メタルトキ亦同シ
 前項ノ命令ニ對シテハ不服ヲ申立ツルコトヲ得ス

前條ノ規定ハ本條第一項又ハ第五十三條第二項ノ規定ニ依リテ書記又ハ公證人カ財産ノ目錄ヲ調製スヘキ場合ニ之ヲ準用ス

第五十七條 利害關係人ハ財産ノ目錄ノ閱覽ヲ申請シ又ハ手数料ヲ納付シテ其謄本ノ交付ヲ申請

スルコトヲ得

檢事ハ財産ノ目錄ヲ閱覽スルコトヲ得

第五十八條 裁判所ハ不在者ノ財産ヲ賣却セシムヘキ場合ニ於テハ競賣法ノ規定ニ依リテ之ヲ賣却スヘキコトヲ命スヘシ

第五十九條 本人カ自ラ其財産ヲ管理スルコトヲ得ルニ至リタルトキ又ハ其死亡カ分明ト爲リ若クハ失踪ノ宣告アリタルトキハ裁判所ハ本人、利害關係人又ハ檢事ノ請求ニ因リ其命シタル處分ヲ取消スヘシ

第六十條 利害關係人ハ不在者ノ財産ノ管理若クハ保存ニ付キ處分ヲ命シ、其處分ヲ取消シ又ハ管理人ニ其權限ヲ超ユル行爲ヲ爲スコトヲ許可シタル裁判所ニ對シテ抗告ヲ爲スコトヲ得

不在者カ置キタル管理人ハ其改任ヲ命シタル裁判ニ對シテ即時抗告ヲ爲スコトヲ得抗告ノ期間ハ管理人カ裁判ノ告知ヲ受ケタル日ヨリ之ヲ起算ス

第六十一條 裁判所カ職權ヲ以テ裁判ヲ爲シ又ハ申請ニ相當スル裁判ヲ爲シタル場合ニ於テハ裁判前ノ手續及ヒ裁判ノ告知ノ費用ハ不在者ノ財産ノ負擔トス裁判所ノ命シタル處分ニ付キ必要ナル費用亦同シ

第六十二條 裁判所カ抗告人ノ申立ニ相當スル裁判ヲ爲シタル場合ニ於テハ抗告手續ノ費用及ヒ抗告人ノ負擔ニ歸シタル前審ノ費用ハ不在者ノ財産ノ負擔トス

第六十三條 民法第八百九十二條第二項乃至第四項ノ財産ノ管理ニ關スル事件ハ子ノ住所地ノ區裁判所ノ管轄トス

第三者カ數人ノ子ニ財産ヲ與ヘタル場合ニ於テ其住所カ異ナルトキハ年少ノ子ノ住所地ノ區裁判

判所ノ管轄トス

第六十四條 第三者カ被後見者ニ與ヘタル財産ノ管理ニ關スル事件ハ被後見人ノ住所地ノ區裁判所ノ管轄トス

第六十五條 民法第一千二十一條第二項第三項及ヒ第一千五十二條ノ相續財産ノ管轄又ハ保存ニ關スル事件ハ相續開始地ノ區裁判所ノ管轄トス

第六十六條 民法第九百七十八條ノ遺產ノ管理ニ關スル事件ハ相續人ノ廢除又ハ其取消ノ請求ニ付キ第一審ニ於テ訴ヲ受ケテル裁判所ノ管轄トス

第六十七條 民法第一千四十三條ノ相續財産ノ管理ニ關スル事件ハ財産分離ノ請求ニ付キ第一審ニ於テ訴ヲ受ケタル裁判所ノ管轄トス

第六十八條 第三十九條乃至第六十二條ノ規定ハ前五條ニ掲ケタル事件ニ之ヲ準用ス

第六十九條 民法第一千五十二條第二項ノ公告ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ
一 申立人ノ氏名、住所

二 被相續人ノ氏名、身分、職業及ヒ最後ノ住所
三 被相續人ノ出生及ヒ死亡ノ場所並ニ其年月日

四 管理人ノ氏名、住所
第七十條 民法第一千五十八條ノ公告ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ
一 前條第一號乃至第三號ニ掲ケタル事項

二 相續人ハ一定ノ期間内ニ其權利者主張スヘキ旨ノ催告
第七十一條 民事訴訟法第七百六十六條ニ定メタル公告ノ方法ハ前二條ノ公告ニ之ヲ準用ス

第三章 裁判上代位ニ關スル事件

第七十二條 債權者ハ自己ハ債權期限前ニ債務者ノ權利ヲ行ハサレハ其債權ヲ保全スルコト能ハス又ハ之ヲ保全スルニ困難ヲ生スルニ虞アルトキハ裁判上ノ代位ヲ申請スルコト得

第七十三條 裁判上ノ代位ハ債務者カ普通裁判籍ヲ有スル地ノ區裁判所ノ管轄トス

第七十四條 代位ノ申請ニハ第九條ニ掲ケタル事項ノ外左ノ事項ヲ記載スヘシ
一 債務者及ヒ第三債務者ノ氏名、住所

二 申請人ノ保全セントスル債權及其行ハントスル權利ノ表示
第七十五條 裁判所ハ申請ニ理由アルト認ムルトキハ擔保ヲ供セシメ又ハ供セシメシテ之ヲ許可スルコトヲ得

第七十六條 申請ヲ許可シタル裁判ハ職權ヲ以テ之ヲ債務者ニ告知スヘシ
前項ノ告知ヲ受ケタル債務者ハ其權利ノ處分ヲ爲スコトヲ得ス

第七十七條 申請ヲ却下シタル裁判ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得
申請ヲ許可シタル裁判ニ對シテハ債務者ハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得抗告ノ期間ハ債務者カ裁判ノ告知ヲ受ケタル日ヨリ之ヲ起算ス

第七十八條 抗告手續ノ費用及ヒ抗告人ノ負擔ニ歸シタル前審ノ費用ニ付テハ申請人及ヒ抗告人ヲ當事者ト看做シ民事訴訟法第七十二條第一項ノ規定ニ從ヒテ其負擔者ヲ定ム

第七十九條 第十三條及ヒ第十五條ノ規定ハ本章ノ手續ニ之ヲ適用セス
第四章 保存、供託、保管及ヒ鑑定ニ關スル事件

第八十條 民法第二百六十二條第三項ノ證書保存者ノ指定ハ共有物ノ分割アリタル地ノ區裁判所

ノ管轄トス

裁判所ハ裁判ヲ爲ス前共有者ヲ訊問スヘシ

第八十一條 民法第四百九十五條第二項ノ供託所ノ指定及ヒ供託物保管者ノ選任ハ債務履行地ノ

區裁判所ノ管轄トス

裁判所ハ裁判ヲ爲ス前債權者及ヒ辨濟者ヲ訊問スヘシ

第八十二條 第四十條民法第六百五十八條第一項第六百五十九條乃至第六百六十一條及ヒ第六百

六十四條ノ規定ハ前條ノ保管者ニ之ヲ準用ス但民法第六百六十條ノ通知ハ辨濟者ニ之ヲ爲スコトヲ得

第八十三條 第八十一條ノ規定ハ民法第四百九十七條ノ裁判所ノ許可ニ之ヲ準用ス

第八十三條ノ二 第八十一條第一項及ヒ第二項ノ規定ハ民法第三百五十四條ニ依リ質物ヲ以テ直

チニ辨濟ニ充ツルコトヲ申請スル場合ニ之ヲ準用ス(明治三十二年三月法律第五十一號ヲ以テ本條ヲ追加ス)裁判所方申請ヲ許可シタル場合ニ於テハ其手續ノ費用ハ債務者ノ負擔トス

第八十四條 民法第五百八十二條ノ鑑定人ノ選任、呼出及ヒ訊問ハ不動産所在地ノ區裁判所ノ管轄トス

裁判所方前項ノ選任ヲ爲シタル場合ニ於テハ其手續ノ費用ハ買主ノ負擔トス呼出及ヒ訊問ノ費用亦同シ

第八十五條 民法第三十二條第二項第三十四條及ヒ第百三十四條第二項ノ鑑定人ノ選任、

呼出及ヒ訊問ハ相續開始地ノ區裁判所ノ管轄トス

第八十六條 民法第四十七條及ヒ第百五十條ノ場合ニ於ケル鑑定人ノ選任、呼出及ヒ訊問ハ第

六十七條ニ定メタル裁判所ノ管轄トス

第八十七條 民法第三十二條第二項第三十四條第四十七條及ヒ第百五十條ノ場合ニ於ケル

鑑定人ノ選任ニ關スル費用ハ相續財産ノ負擔トス

第八十八條 第十五條ノ規定ハ本章ノ手續ニハ之ヲ適用セス

第八十九條 本章ノ規定ニ依リテ規定若クハ選任ヲ爲シ又ハ許可ヲ與ヘタル裁判ニ對シテハ不服ヲ申立ツルコトヲ得ス

第五章 隱居、廢家、子ノ懲戒、家督相繼人及ヒ親族會ニ關スル事件

第九十條 隱居ノ許可ハ隱居ヲ爲サントスル戸主ノ住所地ノ區裁判所ノ管轄トス

許可ノ申請ニハ法定ノ推定家督相繼人ヲ表示シ又ハ家督相繼人タルヘキコトヲ承認シタル者ヲ表示シ且其者ヲシテ署名、捺印セシムヘシ

隱居ノ許可ヲ與ヘタル裁判ニ對シテハ抗告ヲ爲スコトヲ得ス

第九十一條 廢家ノ許家ハ廢家セントスル戸主ノ住所地ノ區裁判所ノ管轄トス

利害關係人及ヒ檢事ハ前項ノ許可ヲ與ヘタル裁判ニ對シテ抗告ヲ爲スコトヲ得

第七十八條ノ規定ハ前項ノ抗告ニ之ヲ準用ス

第九十二條 子ノ懲戒ニ關スル事件ハ子ノ住所地ノ區裁判所ノ管轄トス

檢事ハ前項ノ許可ヲ與ヘタル裁判ニ對シテ抗告ヲ爲スコトヲ得

第九十三條 民法第九百七十八條ノ戶主權ノ行使ニ付キ必要ナル處分ハ第六十六條ニ定メタル裁判所ノ管轄トス

第九十四條 家督相續人ノ選定ニ關スル許可ハ相續開始地ノ區裁判所ノ管轄トス

第九十五條 親族及ヒ檢事ハ前條ノ許可ヲ與ヘタル裁判ニ對シテ抗告ヲ爲スコトヲ得

第六十二條ノ規定ハ前項ノ抗告ニ之ヲ準用ス

第九十六條 無能力者ノ爲メニ設クヘキ親族會ニ關スル事件ハ其者ノ住所地ノ區裁判所ノ管轄トス

裁判所カ申請ニ相當スル裁判ヲ爲シタル場合ニ於テハ其手續ノ費用ハ無能力者ノ負擔トス

第九十七條 家督相續人ノ選定ノ爲メニ開クヘキ親族會ニ關スル事件ハ相續開始地ノ區裁判所ノ管轄トス

裁判所カ申請ニ相當スル裁判ヲ爲シタル場合ニ於テハ其手續ノ費用ハ相續財產ノ負擔トス

第九十八條 前二條ニ掲ケタル事件ノ爲メニ開クヘキ親族會ニ關シテハ事件ノ本人ノ住所地ノ區裁判所ヲ以テ管轄裁判所トス

第九十九條 裁判所ハ親族會員又ハ其補缺員ノ選定ニ付キ申請人又ハ民法第九百四十四條ニ掲ケタル者ヲシテ會員タルニ適當ナル者ヲ指名セシムルコトヲ得

第一百條 親族會タルコトヲ辭セントスル者ハ裁判所ニ其申請ヲ爲スヘシ
前項ノ申請ニ相當スル裁判ニ對シテハ不服ヲ申立ツルコトヲ得ス

第一百一條 親族會ノ招集又ハ親族會員ノ辭任ノ申請ヲ却下シル裁判ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

民法第九百四十四條ニ掲ケタル者ハ親族會員タルコトヲ得サル者ノ選任ニ對シテ抗告ヲ爲スコトヲ得

第六十二條ノ規定ハ前二項ノ抗告ニ之ヲ準用ス

第一百二條 親族會員其他民法第九百四十四條ニ掲ケタル者ハ親族會ノ決議ニ代ハルヘキ裁判ニ對シテ抗告ヲ爲スコトヲ得

前項ノ裁判ノ申請ヲ却下シタル裁判ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得
第六十二條ノ規定ハ前二項ノ抗告ニ之ヲ準用ス

第六章 相續ノ承認及ヒ拋棄ニ關スル事件

第一百三條 民法第十七條第一項但書ニ定メタル期間ノ伸長ハ相續開始地ノ區裁判所ノ管轄トス

第一百四條 相續ノ限定承認又ハ拋棄ノ申述ハ相續開始地ノ區裁判所ノ管轄トス

第一百五條 相續ノ限定承認又ハ拋棄ノ申述ニハ第九條第一號第二號第四號及ヒ第五條ニ掲ケタル事項ノ外左ノ事項ヲ記載シテ申述人又ハ代理人之ニ署名捺印スヘシ

一 被相續人ノ氏名及ヒ最後ノ住所

二 相續ノ限定承認又ハ拋棄ヲ爲ス旨

第一百六條 期間ノ伸長ノ申請又ハ相續ノ限定承諾若クハ拋棄ノ申述ヲ却下シタル裁判ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第七章 遺言ノ確認及ヒ執行

第七條 遺言執行者ノ選任及ヒ解任ハ相續開始地ノ區裁判所ノ管轄トス

裁判所ニ於テ選任シタル遺言執行者カ其任務ヲ辭セんとスルトキ又ハ其就職ヲ拒マんとスルトキハ相續開始地ノ區裁判所ニ其申立ヲ爲スヘシ

裁判所カ前二項ニ掲ケタル事件ニ付キ申立ニ相當スル裁判ヲ爲シタル場合ニ於テハ其手續ノ費用ハ相續財產ノ負擔トス

第八條 遺言執行者ヲ選任シタル裁判又ハ其任務ヲ辭シ若クハ就職ヲ拒ムコトハ許可シタル裁判ニ對シテハ不服ヲ申立ツルコトヲ得ス

遺言執行者ノ選任若クハ解任ノ申請又ハ其任務ヲ辭シ若クハ就職ヲ拒ム申立ヲ却下シタル裁判ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

遺言執行者ハ其解任ヲ命ジタル裁判ニ對シテ即時抗告ヲ爲スコトヲ得抗告ノ期間ハ遺言執行者カ裁判ノ告知ヲ受ケタル日ヨリ之ヲ起算ス

第六十二條ノ規定ハ前二項ノ抗告ニ之ヲ準用ス

第九條 民法第七十六條及ヒ第八十一條但書ニ定メタル遺言ノ確認ハ遺言者ノ住所地又ハ相續開始地ノ區裁判所ノ管轄トス

手續ノ費用ハ遺言者又ハ相續財產ノ負擔トス

第十條 遺言ノ確認ノ申請ヲ却下シタル裁判ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

利害關係人及ヒ檢察官ハ遺言ノ確認ニ對シテ即時抗告ヲ爲スコトヲ得抗告ノ期間ハ確認ノ申請人カ裁判ノ告知ヲ受ケタル日ヨリ之ヲ起算ス

前條第二項ノ規定ハ前二項ノ抗告ニ之ヲ適用ス

第十一條 遺言書ノ檢認ハ相續開始地ノ區裁判所ノ管轄トス

第十二條 遺言書ノ檢認ハ公證人カ記載シタルモノヲ除ク外遺言ノ方式ニ關スル總テノ事實ヲ調査シテ之ヲ爲ス

第十三條 封印アル遺言書ノ開封ニ付テハ豫メ其期日ヲ定メテ相續人ヲ呼出スヘシ

第十四條 遺言書ノ提出、開封及ヒ檢認ニ付テハ調書ヲ作ルヘシ

調書ニハ左ノ事項ヲ記載シ判事、書記及ヒ立會人之ニ署名捺印スヘシ

一 提出者ノ氏名、住所

二 提出、開封及ヒ檢認ノ年月日

三 立會人ノ氏名、住所

四 訊問シタル證人、鑑定人、相續人其他ノ利害關係人ノ氏名、住所及ヒ其陳述

五 事實調査ノ結果

第十五條 裁判所ハ遺言書ノ開封及ヒ檢認ヲ爲シタルトキハ出頭セザリシ相續人其他遺言ノ旨ニ趣ニ關係アル者ニ其旨ヲ告知スヘシ

前項ニ掲ケタル者ハ裁判所ノ許可ヲ得テ前條ノ調書ヲ閱覽スルコトヲ得

第十六條 遺言書ノ提出、開封並ニ檢認及ヒ其告知ノ費用ハ相續財產ノ負擔トス

第八章 法人及ヒ夫婦財產契約ノ登記

第十七條 法人ノ登記ニ付テハ法人ノ事務所所在地ノ區裁判所又ハ其出張所ヲ以テ管轄登記所トス

第十八條 夫婦財產契約ノ登記ニ付テハ夫ト爲ルヘキ者ノ住所地ノ區裁判所又ハ其出張所ヲ以

テ管轄登記所トス
夫ト爲ルヘキ者カ入夫又ハ婿養子ナルトキハ妻ト爲ルヘキ者ノ住所ノ區裁判所又ハ其出張所
ヲ以テ管轄登記所トス

第百十九條 各登記所ニ法人登記簿及ヒ夫婦財産契約登記簿ヲ備フ

第百二十條 法人設立ノ登記ハ理事ノ全員ノ申請ニ因リテ之ヲ爲ス

申請書ニハ定款、理事ノ資格ヲ證スル書面及ヒ主務官廳ノ許可書又ハ其認證アル謄本ヲ添附ス
ルコトヲ要ス

第百二十一條 事務所ノ新設又ハ事務所ノ移轉其他登記事項ノ變更ノ登記ハ理事、理事ノ缺ケタ
ル場合ニ於テハ假理事ノ申請ニ因リテ之ヲ爲ス(明治三十二年三月法律第五十一號ヲ以テ本條
ヲ改ム)

申請書ニハ理事又ハ假理事ノ資格ヲ證スル書面及ヒ事務所ノ新設又ハ登記事項ノ變更ヲ證スル
書面ヲ添附シ且主務官廳ノ許可ヲ要スルモノニ付テハ其許可書又ハ其認證アル謄本ヲ添附スル
コトヲ要ス

前ニ登記ノ申請ヲ爲シタル理事又ハ假理事同一登記所ニ第一項ノ申請ヲ爲ス場合ニ於テハ其
資格ヲ證スル書面ヲ添附スルコトヲ要セス

第百二十二條 法人ノ解散ノ登記ハ清算人ノ申請ニ因リテ之ヲ爲ス

申請書ニハ解散ノ事由ヲ證スル書面及ヒ理事力清算人タラサル場合ニ於テハ清算人ノ資格ヲ證
スル書面ヲ添附スルコトヲ要ス

第百二十三條 夫婦財産契約ニ關スル登記ハ契約變方ノ申請ニ因リテ之ヲ爲ス

申請書ニハ夫婦財産契約書又ハ管理者ノ變更若クハ共有財産ノ分割ヲ許可シタル判決ノ謄本又
ハ之ニ關スル契約書ヲ添附スルコトヲ要ス

第百二十四條 第百十七條第百二十二條乃至第百二十四條ノ規定ハ日本ニ事務所ヲ設ケタル外國法人
ノ登記ニ之ヲ準用ス

第百二十五條 第百四十一條乃至第百五十一條第百五十四條乃至第百五十七條及ヒ第百七十七條
ノ規定ハ本章ニ定メタル登記ニ之ヲ準用ス

第三編 商事非訟事件

第一章 會社及ヒ競賣ニ關スル事件

第百二十六條 商法第四十七條第四十八條第百一十一條第百二十四條第百六十條第百六十二條第百
九十六條第二項第百九十八條及ヒ商法施行法第九十五條第二項第百二條第百十條第百十條第二項
ニ定メタル事件ハ會社ノ本店所在地ノ地方裁判所ノ管轄トス(同上)

商法第二百六十條ニ定メタル事件ハ閉鎖ヲ命セラルヘキ外國會社ノ支店ノ所在地ノ地方裁判所
ノ管轄トス

商法第二百三十三條ニ定メタル事件ハ解散シタル株式會社ノ本店所在地ノ區裁判所ノ管轄ト
ス

商法第二百八十九條第一項及ヒ第六百十條第一項ニ定メタル事件ハ競賣ニ付スヘキ物品所在地
ノ區裁判所ノ管轄トス

第百二十七條 検査役ノ選任ノ申請ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ要ス

申請書ニハ左ノ事項ヲ記載シ取締役又ハ株主之ニ署名、捺印スヘシ

- 一 申請ノ事由
- 二 検査ノ目的
- 三 年月日
- 四 裁判所ノ表示

第二百二十八條 検査役ノ報告ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ要ス

裁判所ハ検査ニ付キ説明ヲ必要トスルトキハ検査役ヲ審訊スルコトヲ得

第二百二十九條 商法第二百二十四條第二項ノ規定ニ依ル裁判ハ理由ヲ附シタル決定ヲ以テ之ヲ爲ス

裁判所ハ裁判ヲ爲ス前發起人及ヒ取締役ノ陳述ヲ聽クヘシ
發起人及ヒ取締役ハ第一項ノ裁判ニ對シテ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第二百二十九條ノ二 商法第九十八條ノ規定ニ依リ検査役ノ選任ニ關スル裁判ヲ爲ス場合ニ於テ

ハ裁判所ハ取締役及ヒ監査役ノ陳述ヲ聽クヘシ(同上法令ヲ以テ本條ヲ追加ス)
前項ノ裁判ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第二百三十條 商法第九十八條ノ検査ニ付キ株主總會ノ招集ヲ必要ト認ムルトキハ裁判所ハ一定

ノ期間内ニ其招集ヲ爲スヘキコトヲ命スヘシ
第二百三十一條 商法第一百一條第二項ノ規定ニ依リ検査ノ許可ヲ申請スル場合ニ於テハ検査ヲ要

スル事由、同法第六十條第二項ノ規定ニ依リ總會招集ノ許可ヲ申請スル場合ニ於テハ取締役
カ其招集ヲ怠タリシ事實ヲ説明スルコトヲ要ス(同上法令ヲ以テ本條ヲ改ム)

前項ノ申請ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ要ス

第二百三十二條 前條ノ規定ニ依リ申請ニ付テハ裁判所ハ理由ヲ附シタル決定ヲ以テ裁判ヲ爲スヘシ

申請ヲ認許スル裁判ニ對シテハ不服ヲ申立ルコトヲ得ス

第二百三十三條 商法第九十六條第二項ノ規定ニ依ル定款ノ認可ノ申請ハ開業前ニ利息ノ配當ヲ

爲スコトヲ要スル事由ヲ説明シ總發起人又ハ總取締役之ヲ爲スヘシ
前項ノ申請ニ對スル裁判ニ付テハ前條ノ規定ヲ適用ス

第二百三十四條 商法第四十七條第四十八條及ヒ商法施行法第二百二條第二項ノ場合ニ於ケル會社ノ

解散ノ命令ハ理由ヲ附シタル決定ヲ以テ之ヲ爲スヘシ(同上)
裁判所ハ裁判ヲ爲ス前利害關係人ノ陳述ヲ聽キ檢事ノ意見ヲ求ムヘシ

前二項ノ規定ハ會社ノ申請ニ因リ開業期間ノ伸長ニ付キ裁判ヲ爲ス場合、商法施行法ノ規定ニ

依リ會社ノ營業ノ禁止ヲ命スル場合及ヒ日本ニ設立シタル外國會社ノ支店ノ閉鎖ヲ命スル場合

ニ之ヲ準用ス
第二百三十五條 會社及ヒ檢事ハ前條ノ決定ニ對シテ即時抗告ヲ爲スコトヲ得抗告ハ執行停止ノ効

力ヲ有ス(同上)
抗告裁判所ハ會社ノ申立ニ相當スル裁判ヲ爲シタル場合ニ於テハ抗告手續ノ費用及ヒ抗告人ノ

負擔ニ歸シタル前審ノ費用ハ國庫ノ負擔トス
第二百三十五條ノ二 會社ノ解散若クハ營業ノ禁止又ハ外國會社ノ支店ノ閉鎖ヲ命スル裁判力確定

シタルトキハ裁判所ハ解散シタル會社、營業ヲ禁止セラレタル會社ノ本店及ヒ支店又ハ閉鎖シ

タル外國會社ノ本店及ヒ支店ノ商業登記所ニ其登記ノ囑託ヲ爲スヘシ抗告裁判所カ裁判ヲ爲シタ

ルトキ亦同シ(同上)法令ヲ以テ本條ヲ追加ス
登記所カ前項ノ囑託ヲ受ケタルトキハ外國會社ニ付テハ其支店ノ登記ヲ抹消シ營業ヲ禁止セラ
レタル會社ニ付テ其本店及ヒ支店ノ登記ニ其旨ヲ記載スヘシ

第三百三十五條ノ三 第二百二十六條第一項及ヒ前三條ノ規定ハ會社ニ非スシテ商業登記ヲ爲シタル
者ニ對シ裁判所カ商法施行法ノ規定ニ依リテ營業ノ禁止ヲ命スル場合ニ之ヲ準用ス(同上)

第二章 會社ノ清算人ノ選任及ヒ解任
第三百三十六號 清算人ノ選任又ハ解任ニ關スル事件ハ會社ノ本店所在地ノ區裁判所ノ管轄トス
第三百三十七條 清算人ノ選任又ハ解任ノ裁判ニ對シテハ不服ヲ申立ツルコトヲ得ス

第三百三十八條 左ニ掲ケタル者ハ清算人トシテ之ヲ選任スルコトヲ得ス
一 未成年者
二 禁治產者及ヒ準禁治產者
三 剝奪公權者及ヒ停止公權者

四 裁判所ニ於テ解任セラレタル清算人
五 破產者
第三章 商業登記
第一節 通則

第三百三十九條 商法ノ規定ニ依リテ登記ノ申請ヲ爲ス者ハ營業所所在地ノ區裁判所又ハ其出張所
ヲ以テ管轄登記所トス

第四百四十條 各登記所ニ左ノ商業登記簿ヲ備フ

一 商號登記簿

二 未成年者登記簿

三 妻登記簿

四 後見人登記簿

五 支那人登記簿

六 合名會社登記簿

七 合資會社登記簿

八 株式會社登記簿

九 株式合資會社登記簿

十 外國會社登記簿
第四百一十一條 各登記所ニ各商業登記簿ノ見出帳ヲ備フ

第四百一十二條 登記所ハ何人ニモ登記簿ノ閱覽ヲ許シ又ハ手数料ヲ納付スルトキハ之ニ其謄本若
クハ抄本ヲ交付スヘシ

登記所ハ登記上利害ノ關係ヲ疏明シテ申請ヲ爲シタル者ニハ其關係アル部分ニ限り登記簿ノ附
屬書類ノ閱覽ヲ許スヘシ

郵送料ヲ納付シテ登記簿ノ謄本又ハ抄本ヲ請フトキハ登記所ハ之ヲ送付スヘシ

第四百一十三條 登記所ハ申請ニ因リ登記事項ニ變更ナキコト又ハ或事項ノ登記ナキコトノ證明ヲ
爲スヘシ

第四百一十四條 登記シタル事項ノ公告ハ官報及ヒ新聞紙上ニ少クモ一回之ヲ爲スコトヲ要ス

公告ノ之ヲ掲載シタル最終ノ官報及モ新聞紙發行ノ日ノ翌日之ヲ爲シタルモノト看做ス
 第四百十五條 區裁判所ハ毎年十二月ニ翌年登記事項ノ公告ヲ掲載セシムヘキ新聞紙ヲ選定シ官報及ヒ新聞紙ヲ以テ之ヲ公告スヘシ
 公告ヲ掲載セシムヘキ新聞紙カ休刊又ハ廢刊ヲ爲ストキハ更ニ他ノ新聞紙ヲ選定シ前項ト同一ノ方法ヲ以テ之ヲ公告スヘシ

第四百十六條 區裁判所ハ其管轄内ニ公告ヲ爲サシムルニ適當ナル新聞紙ナシト認ムルトキハ新聞紙上ノ公告ニ代ヘ登記所及ヒ其管轄内ノ市町村役場ノ揭示場ニ公告ヲ爲スコトヲ得

第四百十七條 登記スヘキ事項ノ登記、其變更又ハ消滅ノ登記ハ本法ニ別段ノ定アル場合ヲ除ク外當事者ノ申請アルニ非サレハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第四百十八條 當事者ハ登記ヲ受ケタル後其登記ニ錯誤又ハ遺漏アルコトヲ發見シタルトキハ管轄登記所ニ其更正ヲ申請スルコトヲ得

第四百十九條 登記ノ申請ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ要ス

申請書ニ左ノ事項ヲ記載シ申請人又ハ其代理人之ニ署名、捺印スヘシ

一 申請人ノ氏名住所會社力申請人ナルトキハ其商號及ヒ本店又ハ支店

二 代理人ニ依リテ申請ヲ爲ストキハ其氏名、住所

三 登記ノ目的及ヒ事由

四 年月日

五 登記所ノ表示

第五百十條 本章ノ規定ニ依リ連署ヲ以テ申請ヲ爲スヘキ場合ニ於テ正當ノ事由ニ因リ連署スル

コト能ハサル者アルトキハ其他ノ者ノミニテ申請ヲ爲スコトヲ得

連署ヲ爲ス能ハサル事由ハ證明スルコトヲ要ス

第五百十一條 登記所ハ登記ノ申請カ商法又ハ本章ノ規定ニ適セザルトキハ理由ヲ附シタル決定ヲ以テ之ヲ却下スヘシ此決定ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

前項ノ決定ハ民事訴訟法ノ規定ニ從ヒテ之ヲ申請人ニ送達スルコトヲ要ス

第五百十二條 破産裁判所カ商業登記ヲ爲シタル者ニ對シ破産ヲ宣告シタルトキハ其營業所所在地ノ登記所ニ其旨ヲ通知スルコトヲ要ス破産手續ノ停止、破産宣告ノ取消、破産手續ノ終結又ハ確定シタル協諾契約ノ認可アリタルトキ又同シ

支拂猶豫力無効ト爲リタル場合ニ於テハ之ヲ認可シタル裁判所、協諾契約ノ認可ヲ受ケタル破産者カ有罪破産ノ宣告ヲ受ケ又ハ其協諾契約カ取消サレタル場合ニ於テハ受訴裁判所ハ前項ノ登記所ニ其旨ヲ通知スルコトヲ要ス

第五百十三條 登記所カ前條ノ通知ヲ受ケタルトキハ職權ヲ以テ破産者ノ商業登記ニ其通知ヲ受ケタル事項ヲ記載スルコトヲ要ス但其公告ヲ爲スコトヲ要セス

第五百十四條 商業登記簿ノ全部又ハ一部カ滅失シタル場合ニ於テハ司法大臣ハ一定ノ期間ヲ定メテ登記ノ回復ニ必要ナル處分ヲ命スルコトヲ得

第五百十五條 司法大臣ハ數箇ノ登記所ノ管轄ニ屬スヘキ商業登記ノ事務ヲ其一登記所ニ委任スルコトヲ得

第五百十六條 登記簿ノ調製其他登記ニ關スル施行細則ハ司法大臣之ヲ定ム

第五百十七條 不動産登記法第十條第十三條第十八條第二十條第二十二條及ヒ第二十四條ノ規定

商業登記ニ之ヲ準用ス(同上法令ヲ以テ本條ヲ改ム)

第二節 商號ノ登記

第五十八條 商業ノ登記ハ同市町村内ニ於テハ同一ノ營業ノ爲メ他人カ登記シタルモノト判然區別シ得ルトキニ非サレハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第五十九條 商法施行法第十三條第一項ノ規定ニ依リ他人カ登記シタル商號ト同一ノ商號ノ登記ヲ申請スル者ハ舊商法施行前ヨリ之ヲ使用スルコトヲ證明スルコトヲ要ス(同上)

第六十條 商號ノ登記ノ申請書ニハ第四百九條第二項ニ掲ケタル事項ノ外營業ノ種類ヲ記載スヘシ商號ノ變更ノ登記ヲ申請スルトキ亦同シ

第六十一條 商號ノ登記ヲ爲シタル者ノ承繼人カ商號ヲ續出セントスルトキハ其資格ヲ證スル書面又ハ讓受證書ヲ添ヘ其登記ノ申請ヲ爲スコトヲ要ス(同上)

第六十二條 商號ヲ廢止シ又ハ變更シタルトキハ常事者ハ其登記ヲ申請スヘシ(同上) 相繼人又ハ法定代理人カ前項ノ申請ヲ爲ストキハ申請書ニ其資格ヲ證スル書面ヲ添附スルコトヲ要ス

第六十三條 商法第二十四條第二項ノ規定ニ依リテ商號登記ヲ抹消ヲ申請スル者ハ其登記上利害ノ關係ヲ有スルトキハ疎明スルコトヲ要ス

第六十四條 前條ノ申請アリタルトキハ登記所ハ登記ヲ爲シタル者ニ對シ其旨ヲ告知シ且一個月ヨリ長カラサル期間ヲ定メ異議ヲラハ其期間内ニ之ヲ申立ツルキ旨ヲ催告スヘシ

前項ノ規定ニ依リ告知及ヒ催告ヲ受クヘキ者又ハ其居所カ知レサルトキハ告知及ヒ催告ハ登記ノ公告ト同一ノ方法ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

登記所ハ右ノ外相當ト認ムル他ノ新聞紙ニ同一ノ公告ヲ掲載セシムルコトヲ得

第六十五條 前條ノ規定ニ從ヒテ異議ノ申立アリタルトキハ登記所ハ理由ヲ附シタル決定ヲ以テ其裁判ヲ爲スヘシ

前項ノ裁判ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得抗告ハ執行停止ノ效力ヲ有ス

第三節 未成年者、妻及ヒ後見人ノ登記

第六十六條 未成年者カ商業ヲ營ム場合ニ於テ其登記ヲ申請スルニハ申請書ニ營業ノ種類ヲ記載シ法定代理人ノ同意ヲ得タルコトヲ證スル書面ヲ添附スルコトヲ要ス但法定代理人カ之ニ連署スルトキハ此限ニ在ラス

親權ヲ行フ母又ハ後見人カ同意ヲ爲シタル場合ニ於テハ親族會ノ同意ヲ得タルコトヲ證スル書面ヲ併ヤテ添附スルコトヲ要ス繼父、繼母又ハ嫡母カ同意ヲ爲シタルトキ亦同シ

第六十七條 妻カ商業ヲ營ム場合ニ於テ登記ヲ申請スルニハ申請書ニ營業ノ種類ヲ記載シ夫ノ許可ヲ得タルコトヲ證スル書面ヲ添附スルコトヲ要ス但夫カ之ニ連署スルトキハ此限ニ在ラス

夫カ未成年者ナルトキハ前項ノ許可ヲ爲スニ付キ必要ナル同意ヲ得タルコトヲ證スル書面ヲ併セテ添附スルコトヲ要ス

妻カ夫ノ許可ヲ得ルコトヲ要セサル場合ニ於テ營業ノ登記ヲ申請スルニハ申請書ニ其事由ヲ證スル書面ヲ添附スルコトヲ要ス

第六十八條 商業ヲ營ムコトノ許可ヲ爲シタル者カ之ヲ取消シ又ハ之ヲ制限シタルトキハ遲滯

ナク其登記ノ申請ヲ爲スコトヲ要ス
 第六十六條第二項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス
 第六十九條 前條ノ規定ニ從ヒテ制限ノ登記ノ申請アリタルトキハ登記所ハ原登記ニ其旨ヲ記
 載スヘシ

第七十條 法定財産制ニ異ナリタル契約ノ登記ヲ爲シタル妻カ商業ノ登記ヲ申請スルトキ又ハ
 其商業ノ登記ヲ爲シタル後管理者ノ變更若クハ共有財産ノ分割ノ登記ヲ爲シタルトキハ書面ヲ
 以テ登記所ニ其届出ヲ爲スコトヲ要ス

前項ノ届出アリタルトキハ登記所ハ當事者ノ商業登記ニ之ヲ記載スヘシ
 第七十一條 後見人カ被後見人ノ爲メ商業ヲ營ム場合ニ於テ登記ヲ申請スルニハ申請書ニ親族
 會ノ同意ヲ得タルコトヲ證スル書面ヲ添附スルコトヲ要ス

第四節 支配人及ヒ會社ノ清算人ノ登記

第七十二條 支配人ノ選任ノ登記ハ主人ノ申請ニ因リテ之ヲ爲ス
 會社カ申請人ナルトキハ左ニ掲ケタル者ノ申請ニ因リテ前項ノ登記ヲ爲スヘシ

- 一 合名會社ニ於テハ會社ヲ代表スヘキ社員
- 二 株式會社ニ於テハ取締役
- 三 合資會社若クハ株式合資會社ニ於テハ會社ヲ代表スヘキ無限責任社員

第七十三條 支配人ノ選任ノ登記ノ申請書ニハ第四百十九條第二項ニ掲ケタル事項ノ外左ノ事
 項ヲ記載スルコトヲ要ス
 一 支配人ノ氏名、住所

二 申請人カ數個ノ商號ヲ以テ數種ノ商業ヲ營ムトキハ支配人カ代理スヘキ商業及ヒ其用ニハ
 キ商號

三 支配人ヲ置キタル場所

會社カ申請人ナル場合ニ於テハ申請書ニ其設立ノ登記ノ年月日ヲ記載シ且之ニ支配人ノ選任ヲ
 證スル書面ヲ添附スルコトヲ要ス
 第七十四條 第七十二條ノ規定ハ支配人ノ代理權ノ消滅又ハ解任ノ登記ヲ申請スル場合ニ之
 準用ス

會社カ支配人ノ解任ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ其解任ヲ證スル書面ヲ添附スルコ
 トヲ要ス

第七十五條 清算人ニ關スル登記ハ清算ヲ爲スヘキ會社ノ登記所ノ管轄トス

前項ノ登記ハ會社ノ登記ニ記載シテ之ヲ爲ス

第七十六條 清算人ノ選任ノ登記ノ申請書ニハ其選任ヲ證スル書面ヲ添附スルコトヲ要ス

第七十七條 清算人ノ解任又ハ變更ノ登記ハ現任清算人ノ申請ニ因リテ之ヲ爲ス

申請書ニハ清算人ノ解任又ハ變更ヲ證スル書面ヲ添附スルコトヲ要ス

第七十八條 清算ノ終了ノ登記ヲ申請スルニハ申請書ニ清算人カ其計算ノ承諾ヲ得タルコトヲ
 證スル書面ヲ添附スルコトヲ要ス

第五節 合名會社及ヒ合資會社ノ登記

第七十九條 合名會社ノ設立ノ登記ハ總社員ノ申請ニ因リテ之ヲ爲ス
 申請書ニハ定款ヲ添附シ且社員中ニ未成年者又ハ妻アルトキハ其社員タルコトニ同意ヲ爲スヘ

キ者ノ同意ヲ證スル書面ヲ添附スルコトヲ要ス

第百八十條 合名會社ノ支店ノ設立ト其本店又ハ支店ノ移轉其他變更ノ登記ハ會社ヲ代表スヘキ總社員ノ申請ニ因リテ之ヲ爲ス

前項ノ申請書ニハ其登記事項ニ付キ總社員ノ同意又ハ或社員ノ一致ヲ要スル場合ニ於テハ會社ヲ代表スヘキ社員ノ定メアルトキニ限り總社員ノ同意又ハ或社員ノ一致アリタルコトヲ證スル書面ヲ添附スルコトヲ要ス

商法第八十三條但書ノ規定ニ依リ裁判所カ或社員ヲ除名シタル場合ニ於ケル變更ノ登記ノ申請書ニハ其判決ノ謄本ヲ添附スルコトヲ要ス

社員ノ氏、名若クハ住所ノ變更ノ登記ハ會社ヲ代表スヘキ社員ノ申請ニ因リテ之ヲ爲スヘシ

第百八十一條 合名會社ノ解散ノ登記ハ總社員又ハ其相續人ノ申請ニ因リテ之ヲ爲ス
申請書ニハ解散ノ事由ヲ記載シ且相續人カ申請ヲ爲ストキハ其資格ヲ證スル書面ヲ添附スルコトヲ要ス

會社カ裁判所ノ命令ニ因リテ解散シタル場合ニ於テハ登記所ハ裁判所ノ囑託ニ因リテ其登記ヲ爲スヘシ

第百八十二條 合名會社ノ合併ニ因ル解散ノ登記ハ解散スヘキ會社ノ總社員ノ申請ニ因リテ之ヲ爲ス
申請書ニハ商法第七十八條第二項ニ依ル公告及ヒ催告ヲ爲シタルコト、若シ異議ヲ述ヘタル債權者アルトキハ之ニ對シ辨濟ヲ爲シ又ハ擔保ヲ供シタルコトヲ證スル書面ヲ添附スルコトヲ要ス

前項ノ申請書ニハ判決ノ謄本ヲ添附スルコトヲ要ス
前二項ノ規定ハ判決ニ因リ會社ノ設立カ取消サレタル場合ニ於ケル登記ノ申請ニ之ヲ準用ス

第百八十三條 第七十九條第一項ノ規定ハ合名會社ノ合併ニ因ル變更又ハ設立ノ登記ノ申請ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第百八十四條 合名會社カ社員ノ請求ニ依リテ解散シタルトキハ各社員ノ申請ニ因リテ其登記ヲ爲スヘシ
前項ノ申請書ニハ判決ノ謄本ヲ添附スルコトヲ要ス

前二項ノ規定ハ判決ニ因リ會社ノ設立カ取消サレタル場合ニ於ケル登記ノ申請ニ之ヲ準用ス

第百八十五條 合名會社ニ於テ總社員ノ申請ニ因リテ爲スヘキ登記ハ合資會社ニ於テハ其無限責任社員ノ全員ノ申請ニ因リテ之ヲ爲ス

無限責任社員ノ全員カ退社シタル場合ニ於ケル解散ノ登記ハ無限責任社員又ハ其相續人ノ申請ニ因リテ之ヲ爲スヘシ

第百八十六條 第七十九條第二項及ヒ第百八十四條乃至第百八十四條ノ規定ハ合資會社ノ登記ニ之ヲ準用ス

第六節 株式會社ノ登記

第百八十七條 株式會社ノ設立ノ登記ハ總取締役及ヒ總監査役ノ申請ニ因リテ之ヲ爲ス(明治三十二年三月法律第五十一號ヲ以テ本條ヲ改ム)

申請書ニハ左ノ書ヲ添附スルコトヲ要ス

- 一 定款
- 二 株主名簿
- 三 發起人カ株式ノ總數ヲ引受ケタル場合ニ於テハ各發起人ノ引受ケタル株式ノ員數ヲ記載シ

- 四 取締役員及監査役員又ハ検査役カ商法第三百三十四條ノ規定ニ從ヒテ爲シタル調査報告書及ヒ其附屬書類
- 五 検査役ノ報告ニ關スル裁判アリタルトキハ其謄本
- 六 發起人カ取締役員及ヒ監査役員ヲ選任シタルトキハ之ニ關スル書類
- 七 開業前ニ利息ノ配當ヲ爲スヘキ定款ノ定アルトキハ之ヲ認可シタル裁判ノ謄本
- 八 會社ノ事業ノ目的カ官廳ノ免許ヲ受クヘキモノナルトキハ其免許書又ハ其認證アル謄本
- 九 創立總會ノ決議錄

第百八十八條 支店ノ設立、本店又ハ支店ノ移轉其他變更ノ登記ハ總取締役ノ申請ニ因リテ之ヲ爲ス(同上)

申請書ニハ登記事項ニ付キ裁判所ノ認可ヲ要スル場合ニ於テハ其裁判ノ謄本、株主總會ノ決議ヲ要スル場合ニ於テハ其決議錄ヲ添附スルコトヲ要ス

取締役又ハ監査役ノ氏、名又ハ住所ノ變更ノ登記ハ取締役ノ申請ニ因リテ之ヲ爲スヘシ

第百八十九條 會社ノ資本増加ノ登記ノ申請書ニハ左ノ書類ヲ添附スルコトヲ要ス

- 一 株金金額ノ拂込アリタルコトヲ證スル書面
- 二 新株主ノ株式申込證及ヒ新株主名簿
- 三 商法第二百十四條ノ規定ニ從ヒテ監査役又ハ検査役カ爲シタル調査報告書及ヒ其附屬書類
- 四 資本ノ増加ニ關スル株主總會ノ決議錄

第百九十條 會社ノ資本減少ノ登記ノ申請書ニハ之ニ關スル株主總會ノ決議錄ヲ添附スルコトヲ要ス

要ス

第百八十二條第二項ノ規定ハ資本減少ノ登記ノ申請ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第百九十一條 社債ノ登記ノ申請書ニハ左ノ書類ヲ添附スルコトヲ要ス

- 一 最終ノ貸借對照表
- 二 社債ノ募集ノ公告ヲ爲シタルコトヲ證スル書面
- 四 社債原簿

五 社債ノ募集ニ關スル株主總會決議錄

第百九十二條 會社カ社債ノ全部又ハ一部ヲ償還シタルトキハ取締役ハ遲滞ナク其登記ヲ爲スヘシ

前項ノ登記ノ申請ニハ償還シタル金額ヲ證スル書面ヲ添附スルコトヲ要ス

第百九十三條 會社ノ解散ノ登記ノ申請書ニハ解散ノ事由ヲ記載シ且會社カ株主總會ノ決議又ハ合併ニ因リテ解散シタルトキハ株主總會ノ決議錄ヲ添附スルコトヲ要ス

第百八十三條第二項ノ規定ハ株式會社カ合併ニ因ル解散ノ登記ノ申請ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

會社カ裁判所ノ命令ニ因リ解散シタルトキハ登記所ハ裁判所ノ囑託ニ因リ其登記ヲ爲スヘシ

第百九十四條 保險會社カ合併ニ因ル設立若クハ變更又ハ解散ノ登記ヲ申請スルニハ申請書ニ主務官廳ノ認許書又ハ其認證アル謄本ヲ添附スルコトヲ要ス

會社カ株主總會ノ決議ニ依リ解散ヲ爲シタル場合ニ於テ其登記ヲ申請スルトキ亦同シ

第百九十四條ノ二 舊商法ノ規定ニ依リテ設立シタル株式會社カ商法施行法第五十條ノ登記ヲ申

請スルニハ申請書ニ左ノ書類ヲ添附スルコトヲ要ス(同上法令ヲ以テ本條ヲ追加ス)

一定款

二 株主名簿

三 各株主ノ株式ノ申込ヲ證スル書面

四 設立免許書

五 創業總會ノ決議錄

第百八十七條第一項ノ規定ハ前項ノ登記ノ申請ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第百九十四條ノ三 舊商法ノ規定ニ依リ資本ヲ増加シタル場合ニ於テ會社カ商法施行法第八十五

條ノ登記ヲ申請スルニハ申請書ニ左ノ書類ヲ添附スルコトヲ要ス(同上)

一 株主名簿

二 新株主ノ株式ノ申込ヲ證スル書面

三 資本ノ増加ニ關スル株主總會ノ決議錄及ヒ假決議錄

第百九十四條ノ四 舊商法ノ規定ニ依リ資本ヲ減少シタル場合ニ於テ會社カ資本減少ノ登記ヲ申請スルニハ申請書ニ左ノ書類ヲ添附スルコトヲ要ス(同上)

二 舊商法第二百七條ニ依ル通知及ヒ催告ヲ爲シタルコト及ヒ異議ヲ申出テタル債權者ニ對シ辨濟ヲ爲シ又ハ擔保ヲ供シタルコトヲ證スル書面

二 資本ノ減少ニ關スル株主總會ノ決議錄及ヒ假決議錄

第百九十四條ノ五 舊法ノ規定ニ依リ債券ヲ發行シタル場合ニ於テ會社カ商法施行法第七十九條及ヒ第八十條ノ登記ヲ申請スルニハ申請書ニ左ノ書類ヲ添附スルコトヲ要ス(同上)

一 株金ノ額及金額ヲ證スル書面

二 債券原簿

三 主務者ノ認許書又ハ其認證アル謄本

四 債券ノ發行ニ關スル株主總會ノ決議錄

第百九十五條 第百八十七條第一項ノ規定ハ會社ノ資本ノ増加若クハ減少又ハ社債ノ登記及會社ノ解散又ハ會社ノ合併ニ因ル變更若クハ設立又ハ解散ノ登記ノ申請ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第七節 株式合資會社ノ登記

第百九十六條 株式合資會社ノ設立ノ登記ハ無限責任社員ノ全員及ヒ總監査役ノ申請ニ因リテ之ヲ爲ス

第百七十九條第二項及ヒ第百八十七條第二項ノ規定ハ前項ノ登記ノ申請ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第百九十七條 支店ノ設立、本店又ハ支店ノ移轉其他變更ノ登記ハ會社ヲ代表スヘキ無限責任社員ノ全員ノ申請ニ因リテ之ヲ爲ス

前項ノ申請書ニハ株主總會ノ決議ヲ要スル場合ニ於テハ其決議錄ヲ添附スルコトヲ要スル外第百八十條第二項ノ規定ヲ準用ス

無限責任社員又ハ監査役ノ氏、名若クハ住所ノ變更ノ登記ハ會社ヲ代表スヘキ無限責任社員ノ申請ニ因リテ之ヲ爲ス

第百九十八條 第百八十九條乃至第百九十一條及ヒ第百九十六條第一項ノ規定ハ資本ノ増加若クハ減少又ハ社債ノ登記ノ申請ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス(同上法令ヲ以テ本條ヲ改ム)

第一百九十九條 第一百九十六條第一項ノ規定ハ會社ノ合併ニ因ル變更又ハ設立ノ登記ノ申請ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第二百條 株式合資會社ノ解散ノ登記ハ無限責任社員ノ全員又ハ其相繼人及セ總監查役ノ申請ニ因リテ之ヲ爲ス但無限責任社員ノ全員カ退社シタル場合ニ於ケル解散ノ登記ハ無限責任社員又ハ其相繼人ノ申請ニ因リテ之ヲ爲スヘシ

申請書ニハ解散ノ事由ヲ證スル書面ニ添附シ且無限責任社員ノ同意及株主總會ノ決議ニ因リ又ハ會社ノ合併ニ因リテ解散シタルトキハ之ニ關スル株主總會ノ決議錄ヲ添附スルコトヲ要ス
第一百八十二條第二項ノ規定ハ會社ノ合併ニ因ル解散ノ登記ノ申請ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス
會社カ裁判所ノ命令ニ因リテ解散シタルトキハ登記所ハ裁判所ノ囑託ニ因リテ其登記ヲ爲スヘシ

第二百一條 株式合資會社ノ組織ヲ變更シ株式會社ト爲リタル場合ニ於ケル設立ノ登記ハ設立シタル株式會社ノ總取締役及ヒ總監查役ノ申請ニ因リテ之ヲ爲ス
申請書ニハ會社ノ組織ノ變更ニ關スル株主總會ノ決議錄ヲ添附スルコトヲ要ス
第一百八十二條第二項及ヒ第一百八十七條第二項ノ規定ハ本條第一項ノ登記ノ申請ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス
前三項ノ規定ハ商法第二百四十七條ノ規定ニ從ヒテ會社ヲ繼續スル場合ニ之ヲ準用ス

第八節 外國會社ノ登記

第二百二條 外國會社カ日本ニ支店ヲ設ケタル場合ニ於テ其登記ヲ申請スルトキハ會社ノ代表者ハ申請書ニ支店ノ代表者ノ氏名住所ヲ記載シ且左ノ書面ヲ添附スルコトヲ要ス

一 本店ノ存在ヲ認ムルニ足ル書面

二 代表者タル資格ヲ證スル書面

三 會社ノ定款又ハ會社ノ性質ヲ識別スルニ足ル書面

前項ノ書面ハ外國會社ノ本國ノ管轄官廳又ハ日本ニ在ル領事ノ認證ヲ受ケタルモノナルコトヲ要ス

第二百三條 日本ニ於テ登記シタル外國會社ノ支店ノ代表者ニ變更アリタルトキハ現在代表者ハ管轄登記所ニ其届出ヲ爲スヘシ

前條ノ規定ハ前項ノ届出ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第二百四條 外國會社ノ支店ノ廢止又ハ其登記事項ノ變更ノ登記ハ支店ノ代表者ノ申請ニ因リテ之ヲ爲ス

日本ニ於テ登記シタル外國會社ノ支店ノ代表者カ外國ニ於テ生シタル登記事項ノ變更ニ付キ其登記ヲ申請スル場合ニ於テハ會社ノ本國ノ管轄官廳又ハ日本ニ在ル領事ノ認證アル書面ニ依リテ變更ノ事實ヲ證明スルコトヲ要ス

第二百五條 (同上法令ヲ以テ本條ヲ削ル)
附則

第二百六條 民法第八十四條第千七百七條及ヒ民法施行法第二十二條及ヒ商法第十八條第二項第二百六十一條第二百六十二條第五百三十六條及ヒ商法施行法第十一條第二項第二十七條第三十九條第二項第五十四條第六十條第二項第六十九條第七十五條第三項第八十七條第九十五條第三項ニ定メタル事件ハ過料ニ處セラルヘキ者ノ住所地ノ地方裁判所ノ管轄トス(同上法令ニテ本條

ヲ改ム)

第二百七條 過料ノ裁判ハ理由ヲ附シタル決定ヲ以テ之ヲ爲スヘシ(同上)

裁判所ハ裁判ヲ爲ス前當事者ノ陳述ヲ聽キ檢事ノ意見ヲ求ムヘシ

當事者及ヒ檢事ハ過料ノ裁判ニ對シテ即時抗告ヲ爲スコトヲ得抗告ハ執行停止ノ效力ヲ有ス

手續ノ費用ハ過料ニ處スル言渡アリタル場合ニ於テハ其言渡ヲ受ケタル者ノ負擔トシ其他ノ場

合ニ於テハ國庫ノ負擔トス

抗告裁判所カ當事者ノ申立ニ相當スル裁判ヲ爲シタルトキハ抗告手續ノ費用及ヒ前審ニ於テ當事者ノ負擔ニ歸シタル費用ハ國庫ノ負擔トス

第二百八條 過料ノ裁判ハ檢事ノ命令ヲ以テ之ヲ執行ス此命令ハ執行力ヲ有スル債務名義ト同一ノ效力ヲ有ス

過料ノ裁判ノ執行ハ民事訴訟法第六編ノ規定ニ從ヒ之ヲ爲ス但執行ヲ爲ス前裁判ノ送達ヲ爲スコトヲ要セス

第二百九條 非訟事件手續法其他從前ノ法令ニシテ本法ノ規定ト牴觸シ又ハ重複スルモノハ本法施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス(同上法令ヲ以テ本條ヲ追加ス)

本法施行前ニ裁判カ申立ヲ受ケ又ハ著手シタル事件ハ舊法令ニ依ル

第二百九條ノ二 外國人ニ關スル非訟事件手續ニシテ條約ニ因リ特ニ定ムルコトヲ要スルモノハ司法大臣之ヲ定ム(同上)

第二百十條 本法ハ民法及ヒ商法ノ施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

非訟事件手續法ニ依リテ謄本又ハ抄本ノ交付ヲ申請スル者ノ納ムヘキ手数料ニ關スル件

(明治三十一年七月司法省令第十號)

第一條 非訟事件手續法第四十二條第一項及ヒ第五十七條第一項ニ依リ謄本ノ交付ヲ申請スル者ハ其謄本一枚ニ付キ手数料金拾錢ヲ納ムヘシ但一行二十字詰二十行以下十一行以上ハ一枚トシ十行以下ハ半枚トス

第二條 同法策百二十五條ニ依リ法人及ヒ夫婦財產契約登記簿ノ謄本又ハ抄本ノ交付ヲ申請スル者ハ其謄本一枚ニ付キ手数料金拾錢ヲ納ムヘシ但一枚ニ滿タサルモノト雖モ仍ホ之ヲ一枚ニ計算ス

第三條 手数料ハ登記印紙ヲ申請書ニ貼附シテ之ヲ納ム可シ

外國人ノ遺産ノ保存處分ニ關スル手續

(明治三十二年七月司法省令第四十號)

非訟事件手續法第二百九條ノ二ニ依リ外國人ノ遺産ノ保存處分ニ關スル手續左ノ通相定ム

外國人ノ遺産ノ保存處分ニ關スル手續

第一條 條約ノ規定ニ依リ外國人ノ死亡ノ通知ヲ爲シ、其通知ヲ受ケ又ハ外國人ノ遺産ノ保存處分ニ干與スル地方ノ當該官廳ハ死亡地ヲ管轄スル區裁判所トス

外國人カ日本ノ版圖外ニ於テ死亡シタルトキハ前項ノ當該官廳ハ遺産ノ所在地ヲ管轄スル區裁

判所トス

第三條 外國人ノ遺産ノ保存處分ニ關スル行為ハ之ヲ屬託スルコトヲ得

第三條 警察官ハ外國人ノ死亡ノ事實ヲ知リタルトキハ直ニ死亡者ノ國籍、住所又ハ居所、氏名、年齢及ヒ死亡ノ場所並ニ年月日ヲ第一條第一項ノ區裁判所ニ報告スヘシ

戶籍吏ハ外國人ノ死亡ノ登記ヲ爲シタルトキハ直ニ其謄本ヲ前項ノ區裁判所ニ送付スヘシ

第四條 條約ノ規定ニ依リ地方ノ當該官廳カ外國人ノ遺産ノ封印又ハ其開封ニ立會フヘキ場合ニ於テハ管轄區裁判所ノ判事及ヒ書記之ニ立會フヘシ檢事ハ之ニ立會フコトヲ得

第五條 條約ノ規定ニ依リ地方ノ當該官廳カ外國人ノ遺産目錄ヲ調製シ領事官ニ之ヲ送付スヘキ場合ニ於テハ管轄區裁判所ハ利害關係人又ハ檢事ノ請求ニ因リ管理人ヲ選任シ財産目錄ノ謄本ヲ提出セシメ條約ニ定メタル他ノ書類ト共ニ之ヲ領事官ニ送付スヘシ

第六條 管轄區裁判所ハ外國人ノ遺産ニ關シ非訟事件手續法第六十九條第七十條ノ公告又ハ民法第七十七條ノ公告アリタルトキハ其旨ヲ領事官ニ通知スヘシ

第七條 本令ハ明治三十二年七月十七日ヨリ之ヲ施行ス

相續人曠缺ノ爲メ國庫ニ歸屬シタル財産ノ取扱ニ關スル件

(明治三十三年十二月勅令第四百九號)

朕相續人曠缺ノ場合ニ於テ國庫ニ歸屬シタル財産ノ引渡ニ關スル件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシ

相續人曠缺ノ爲メ國庫ニ歸屬シタル財産ハ管理人ヨリ遲滞ナク被相續人ノ住所ヲ管轄スル地方行政官廳ニ引渡スヘシ但外國ニ在テハ領事又ハ貿易事務官ニ引渡スヘシ

相續人曠缺ノ爲メ國庫ニ歸屬シタル財産中森林原野ノ取扱ニ關スル件

(明治三十四年一月農商務省訓令第一號)

相續人曠缺ノ爲メ國庫ニ歸屬シタル財産中森林原野ハ明治三十三年勅令第四百九號ニ依リ其引渡ヲ受ケタル地方行政官廳ニ於テ遲滞ナク地籍所管ノ大林區署ニ引渡スヘシ
地籍所管ノ大林區署ハ地方行政官廳ヨリ森林原野ノ引渡ヲ受ケタルトキハ遲滞ナク臺帳ニ登錄スヘシ

死亡者ノ財産保護ニ關スル日英條約

(明治三十三年十一月三十日公布)

朕明治三十三年四月二十六日東京ニ於テ朕カ全權委員ト大不列顛國全權委員ノ記名調印シタル死亡者ノ財産保護ニ關スル條約ヲ批准シ茲ニ之ヲ公布セシム

日本國皇帝陛下及大不列顛愛蘭聯合王國兼印度國皇帝陛下ハ死亡者ノ遺產保護ニ關スル規則ヲ設定シ以テ幸ニ兩國間ニ存在スル所ノ厚誼ヲ維持セムコトヲ欲シ條約ヲ締結スルコトニ同意シ之カ爲ニ日本國皇帝陛下ハ其ノ外務大臣從二位勳一等子爵青木周藏ヲ大不列顛愛蘭聯合王國兼印度國皇帝陛下ハ其ノ日本國駐劄特命全權公使「サー、アーネスト、ローソン、サト」ヲ各其ノ全權委員

ニ任命セリ因テ各全權委員ハ互ニ其ノ委任狀ヲ示シ其ノ良好妥當ナルヲ認メ以テ左ノ諸條ヲ協議決定セリ

第一條

兩締盟國ノ一方ノ臣民ニシテ他ノ一方ノ版圖内ニ於テ死亡セシ時ニ方リ該死亡者ノ遺産ヲ管理スヘキ正當ノ權利者現ニ其ノ場所ニ在ラサルトキハ左ノ規則ニ遵フヘキモノトス

一、死亡者カ前記ノ事情ニ於テ自國ノ國籍ノミチ有スル相續人ヲ遺スカ又ハ亡父若ハ亡母ノ國籍ヲ享有スルノ資格アルヘキ相續人ヲ遺シタルトキハ死亡者所屬國ノ總領事領事副領事又ハ代辦領事ハ當該官廳ニ通知シテ該死亡者ノ財産ヲ占有保管シ埋葬費ヲ支拂ヒ其ノ餘剩ハ死亡者ノ債務辨濟ノ爲及其ノ正當所屬相續人ノ利益ノ爲ニ之ヲ保留スヘキモノトス

然レトモ該總領事領事副領事又ハ代辦領事ハ直ニ當該裁判所ニ死亡者遺産ノ管理證書ヲ請求スヘキモノトス而シテ右管理證書ハ裁判所ニ於テ正當ト認ムル所ノ制限及期間ヲ附シ該領事官ニ交付スヘキモノトス

二、若死亡者ニシテ前記ノ事情ニ於テ其ノ死亡シタル國ニ自國以外ノ國籍ヲ有スルカ又ハ亡父若ハ亡母ノ國籍ヲ許典スヘカラサル相續人若ハ包括受遺者ヲ遺シタルトキハ當該裁判所ニ於テ法律ニ從ヒ之ヲ處分スヘキカ或ハ相當ノ制限ヲ附シ領事官ニ聚集管理ヲ委託スヘキカハ兩國政府各々之ヲ決定スルコトヲ得又死亡ノ地方ニ遺産ノ保管管理ヲ爲スヘキ總領事領事副領事又ハ代辦領事ナキトキハ(本條第一號ノ場合ニ於テ)領事官ノ到著スル迄當該官廳ニ於テ前記ノ行爲ヲ爲スヘキモノトス

本條約ノ規定ハ法律ノ許ス限リ大不列顛國皇帝陛下ノ殖民地其ノ海外領地ニ適用スヘキモノトス但シ左ニ列記スル所ハ此ノ限ニ在ラス

印度

加奈太領地

ニュー、フアウンドランド

喜望峯殖民地

ナタル

ニュー、サウス、ウエールズ

ウキクトリヤ

クキンスランド

タスマニヤ

南濠太利

西濠太利

ニュー、ジラランド

然レトモ東京駐劄大不列顛國皇帝陛下ノ代表者ヨリ本條約批准交換ノ日ヨリ二箇年内ニ本條約ノ規定ヲ前記ノ殖民地又ハ領地ノ執レヘナリトモ適用スヘキ旨ヲ日本政府ニ通知シタルトキハ之ヲ適用スヘキモノトス

第三條

本條約ハ批准交換ノ上ハ直ニ實施セラレ千九百十一年七月十七日迄效力ヲ有スルモノトス

兩締盟國ノ一方ハ千九百年七月十六日以後何時タリトモ本條約ヲ終了セムト欲スル旨ヲ他ノ一方ヘ通知スルシ權利ヲ有スヘシ而シテ此ノ通知ヲ爲シタル後十二箇月ヲ經過シタルトキハ本條約ハ消滅ニ歸スルモノトス

第四條

本條約ハ之ヲ批准シ其ノ批准ハ本日ヨリ六箇月以内ニ可成速ニ東京ニ於テ交換スヘシ
右證據トシテ各全權委員ハ之ヲ記名調印スルモノナリ

明治三十三年四月二十六日即千九百年四月二十六日東京ニ於テ本書ニ通テ作ル

子爵青木周藏 印

アーネスト、メーソン、サトー 印

天佑ヲ保有シ萬世一系ノ帝祚ヲ踐ミタル日本國皇帝(御名)此書ヲ見ル有衆ニ宣示ス

朕帝國ト大不列顛國トノ間ニ死亡者ノ財産保護ニ關シ明治三十三年四月二十六日東京ニ於テ兩國全權委員ノ記名調印シタル條約ノ各條目ヲ親シク閱覽點檢シタルニ善ク朕ノ意ニ適シ間然スル所ナキヲ以テ右條約ヲ嘉納批准ス

神武天皇即位紀元二千五百六十年明治三十三年十月二十四日東京宮城ニ於テ親カラ名ヲ署シ璽ヲ鈐セシム

御名 國璽

外務大臣加藤高明 印

第六編 國 籍

國籍法

(明治三十三年三月法律第六十六號)

朕帝國議會ノ協贊ヲ齎タル國籍法ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム
國籍法

第一條 子ハ出生ノ時其父カ日本人ナルトキハ之ヲ日本人トス其出生前ニ死亡シタル父カ死亡ノ時日本人ナリトシトキ亦同シ

第二條 父カ子ノ出生前ニ離婚又ハ離婚ニ因リテ日本ノ國籍ヲ失ヒタルトキハ前條ノ規定ハ懷胎ノ始ニ遡リテ之ヲ適用ス

前項ノ規定ハ父母カ共ニ其家ヲ去リタル場合ニハ之ヲ適用セス但母カ子ノ出生前ニ復籍ヲ爲シタルトキハ此限ニ在ラス

第三條 父カ知レサル場合又ハ國籍ヲ有セサル場合ニ於テ母カ日本人ナルトキハ其子ハ之ヲ日本人トス

第四條 日本ニ於テ生マレタル子ノ父母カ共ニ知レサルトキ又ハ國籍ヲ有セサルトキハ其子ハ之ヲ日本人トス

第五條 外國人ハ左ノ場合ニ於テ日本ノ國籍ヲ取得ス

- 一 日本人ノ妻ト爲リタルトキ
- 二 日本人ノ入夫ト爲リタルトキ
- 三 日本人タル父又ハ母ニ依リテ認知セラレタルトキ
- 四 日本人ノ養子ト爲リタルトキ

第六條 外國人カ認知ニ因リテ日本ノ國籍ヲ取得スルニハ左ノ條件ヲ具備スルコトヲ要ス

一 本國法ニ依リテ未成年者タルコト

二 外國人ノ妻ニ非サルコト

三 父母ノ中先ツ認知ヲ爲シタル者カ日本人ナルコト

四 父母カ同時ニ認知ヲ爲シタルトキハ父カ日本人ナルコト

第七條 外國人ハ內務大臣ノ許可ヲ得テ歸化ヲ爲スコトヲ得

內務大臣ハ左ノ條件ヲ具備スル者ニ非サレハ其歸化ヲ許可スルコトヲ得ス

一 引續キ五年以上日本ニ住所ヲ有スコト

二 滿二十年以上ニシテ本國法ニ依リ能力ヲ有スルコト

三 品行端正ナルコト

四 獨立ノ生計ヲ營ムニ足ルヘキ資産又ハ技能アルコト

五 國籍ヲ有セス又ハ日本ノ國籍ノ取得ニ因リテ其國籍ヲ失フヘキコト

第八條 外國人ノ妻ハ其夫ト共ニスルニ非サレハ歸化ヲ爲スコトヲ得ス

第九條 左ニ掲ケタル外國人カ現ニ日本ニ住所ヲ有スルトキハ第七條第二項第一號ノ條件ヲ具備セサルトキト雖モ歸化ヲ爲スコトヲ得

一 父又ハ母ノ日本人タリシ者

二 妻ノ日本人タリシ者

三 日本ニ於テ生マレタル者

四 引續キ十年以上日本ニ居所ヲ有スル者

前項第一號乃至第三號ニ掲ケタル者ハ引續キ三年以上日本ニ居所ヲ有スルニ非サレハ歸化ヲ爲

スコトヲ得ズ但第三號ニ掲ケタル者ノ父又ハ母カ日本ニ於テ生マレタル者ナルトキハ此限ニ在

ラス

第十條 外國人ノ父又ハ母カ日本人ナル場合ニ於テ其外國人カ現ニ日本ニ住所ヲ有スルトキハ第

七條第二項第一號第二號及ヒ第四號ノ條件ヲ具備セザルトキト雖モ歸化ヲ爲スコトヲ得

第十一條 日本ニ特別ノ功勞アル外國人ハ第七條第二項ノ規定ニ拘ハラズ內務大臣勅裁ヲ經テ其

歸化ヲ許可スルコトヲ得

第十二條 歸化ハ之ヲ官報ニ告示スルコトヲ要ス

歸化ハ其告示アリタル後ニ非サレハ之ヲ以テ善意ノ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス

第十三條 日本ノ國籍ヲ取得スル者ノ妻ハ夫ト共ニ日本國籍ヲ取得ス

前項ノ規定ハ妻ノ本國法ニ反對ノ規定アルトキハ之ヲ適用セス

第十四條 日本ノ國籍ヲ取得シタル者ノ妻カ前條ノ規定ニ依リテ日本ノ國籍ヲ取得セザリシトキ

ハ第七條第二項ニ掲ケタル條件ヲ具備セザルトキト雖モ歸化ヲ爲スコトヲ得

第十五條 日本ノ國籍ヲ取得スル者ノ子カ其本國法ニ依リテ未成年者ナルトキハ父又ハ母ト共ニ

日本ノ國籍ヲ取得ス

前項ノ規定ハ子ノ本國法ニ反對アルトキハ之ヲ適用ス

第十六條 歸化人ノ子ニシテ日本ノ國籍ヲ取得シタル者及ヒ日本人ノ養子又ハ入夫ト爲

リタル者ハ左ニ掲ケタル權利ヲ有セス

一 國務大臣ト爲ルコト
 二 樞密院ノ議長、副議長又ハ顧問官ト爲ルコト
 三 宮内勅任官ト爲ルコト
 四 特命全權公使ト爲ルコト
 五 陸海軍ノ將官ト爲ルコト
 六 大審院長、會計検査院長、又ハ行政裁判所長官ト爲ルコト
 七 帝國議會ノ議員ト爲ルコト

第十七條 前條ニ定メタル制限ハ第十一條ノ規定ニ依リテ歸化ヲ許可シタル者ニ付テハ國籍取得ノ時ヨリ五年ノ後其他ノ者ニ付テハ十年ノ後内務大臣勅裁ヲ經テ之ヲ解除スルコトヲ得

第十八條 日本ノ女ハ外國人ト婚姻ヲ爲シタルトキハ日本ノ國籍ヲ失フ

第十九條 婚姻又ハ養子縁組ニ因リテ日本ノ國籍ヲ取得シタル者ハ離婚又ハ離縁ノ場合ニ於テ其外國ノ國籍ヲ有スヘキトキニ限り日本ノ國籍ヲ失フ

第二十條 自己ノ志望ニ依リテ外國ノ國籍ヲ取得シタル者ハ日本ノ國籍ヲ失フ

第二十一條 日本ノ國籍ヲ失ヒタル者ノ妻及ヒ子カ其者ノ國籍ヲ取得シタルトキハ日本ノ國籍ヲ失フ

第二十二條 前條ノ規定ハ離婚又ハ離縁ニ因リテ日本ノ國籍ヲ失ヒタル者ノ妻及ヒ子ニハ之ヲ適用セズ但妻カ夫ノ離縁ノ場合ニ於テ離婚ヲ爲サズ又ハ子カ父ニ隨ヒテ其家ヲ去リタル後ハ此限ニ在ラズ

第二十三條 日本人タル子カ認知ニ因リテ外國ノ國籍ヲ取得シタルトキハ日本ノ國籍ヲ失フ但日本ノ國籍ヲ失フ者ハ其後日本ノ國籍ヲ取得シタルトキハ日本ノ國籍ヲ失フ

本人ノ妻、入夫又ハ養子ト爲リタル者ハ此限ニ在ラズ

第二十四條 滿十七年以上ノ男子ハ前五條ノ規定ニ抱ハラス既ニ陸海軍ノ現役ニ服シタルトキ又ハ之ニ服スル義務ナキトキニ非サレバ日本ノ國籍ヲ失ハス

現ニ文武ノ官職ヲ帶フル者ハ第六條ノ規定ニ拘ハラズ其官職ヲ失ヒタル後ニ非サレバ日本ノ國籍ヲ失ハス

第二十五條 婚姻ニ因リテ日本ノ國籍ヲ失ヒタル者カ婚姻解消ノ後日本ニ住所ヲ有スルトキハ内務大臣ノ許可ヲ得テ日本ノ國籍ヲ回復スルコトヲ得

第二十六條 第二十五條又ハ第二十一條ノ規定ニ依リテ日本ノ國籍ヲ失ヒタル者若シ日本ニ住所ヲ有スルトキハ内務大臣ノ許可ヲ得テ日本ノ國籍ヲ回復スルコトヲ得但第十六條ニ掲ケタル者カ日本ノ國籍ヲ失ヒタル場合ハ此限ニ在ラス

第二十七條 第十三條乃至第十五條ノ規定ハ前二條ノ場合ニ之ヲ適用ス

附則

第二十八條 本法ハ明治三十三年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

國籍喪失者ノ權利ニ關スル件 (明治三十二年三月法律第九十四號)

朕帝國議會ノ協賛ヲ經タル國籍喪失者ノ權利ニ關スル法律ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム
 日本ノ國籍ヲ失ヒタル家族九國籍ノ喪失ニ因リテ其有スル權利ヲ享有スルコトヲ得サルニ至リタル場合ニ於テ一年内ニ之ヲ讓渡ササルトキハ其權利ハ國庫ニ歸屬ス (明治四十三年法律第五十一號)

本邦人外國人ヲ養子又ハ入夫ト爲スニ關スル件

(明治三十一年七月法律第二十一號)

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル明治三十年第百三號布告改正法律ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

第一條 日本人カ外國人ヲ養子又ハ入夫ト爲スニハ内務大臣ノ許可ヲ得ルコトヲ要ス

第二條 内務大臣ハ外國人カ左ノ條件ヲ具備スルニ非サレハ前條ノ許可ヲ與フルコトヲ得

一 引續キ一年以上日本ニ住所又ハ居所ヲ有スルコト

二 品行端正ナルコト

〔參照〕 明治六年第百三號布告ハ外國人民ト婚姻ヲ許スノ條規ナリ

同上法令ヲ臺灣ニ施行スルノ件

朕明治三十一年法律第二十一號臺灣ニ施行スルノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

明治三十一年法律第二十一號ハ之ヲ臺灣ニ施行ス

〔參照〕 明治三十一年(七月)法律第二十一號ハ外國人ト婚姻及縁組ヲ許スノ條規ナリ

外國人ヲ養子又ハ入夫ト爲サントシ及歸化ヲ爲シ又ハ國籍ヲ回復セントスル者ノ願出手續ニ關スル件

明治三十一年法律第五十二號ニ依リ外國人ヲ養子又ハ入夫ト爲サントスル者ハ本籍地又ハ寄留地地方廳ヲ經由シテ内務大臣ニ願出ツヘシ

本年法律第六十六號ニ依リ歸化ヲ爲シ又ハ國籍ヲ回復セントスル者ハ其ノ住所ノ地方廳ヲ經由シテ内務大臣ニ願出ツヘシ

明治二十二年外務省令第三號及同二十七年同省令第五號廢止ノ件

(明治三十二年七月外務省令第五號)

明治二十二年外務省令第三號並明治二十七年外務省令第五號ハ本年七月十七日ヨリ廢止ス

〔參照〕 明治二十一年(七月)外務省令第三號ハ墨西哥合衆國人民ノ國籍證明書規則、同二十七年(四月)外務省令第五號ハ布哇國人民ノ國籍ヲ證明スル爲メ同上規則適用ノ件ナリ

第七編 戶籍

第一章 戶籍

戶籍法 (明治三十一年六月法律第十二號)

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル戶籍法ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

第一章 戶籍吏及戶籍役場

第一條 戶籍及ヒ身分登記ニ關スル事務ハ戶籍吏之ヲ管掌シ戶籍役場ニ於テ之ヲ取扱フ

第二條 市町村長ヲ以テ戶籍吏トス但區ヲ置キタル市ニ於テハ區長ヲ以テ之ニ充ツルコトヲ得

第三條 戶籍吏又ハ之ト家ヲ同シクスル者ノ戶籍又ハ身分登記ニ關スル事件ニ付テハ市町村長又ハ區長ノ事務ヲ代理スヘキ者戶籍吏ノ職務ヲ行フ

戶籍吏又ハ之ト家ヲ同シクスル者ト前項ノ規定ニ依リ戶籍吏ノ職務ヲ行フヘキ者又ハ之ト家ヲ同シクスル者トノ戶籍又ハ身分登記ニ關スル事件ニ付テハ市ニ在リテハ市參事會員ノ一人町村

又ハ區ニ在リテハ他ノ吏員ノ上席者戶籍吏ノ職務ヲ行フ

第四條 戶籍役場ハ市役所又ハ町村役場ヲ以テ之ニ充ツ但區長ヲ以テ戶籍吏ニ充ツル場合ニ於テハ區役所ヲ以テ之ヲ充ツ

第五條 戶籍及ヒ身分登記ニ關スル事務ハ戶籍役場ノ所在地ヲ管掌スル區裁判所ノ一人ノ判事又ハ監督判事之ヲ監督ス

戶籍及ヒ身分登記ニ關スル事務ノ監督ニ付テハ司法行政官ノ監督ニ關スル規定ヲ準用ス

第六條 戶籍吏カ其職務ノ執行ニ付キ届出人其他ノ者ニ損害ヲ加ヘタルトキハ其損害カ戶籍吏ノ故意又ハ重大ナル過失ニ因リテ生シタル場合ニ限リ之ヲ賠償スル責ニ任ス

第二章 身分登記簿

第七條 身分登記簿ハ本籍人身分登記簿及ヒ非本籍人身分登記簿ノ二種トシ各正副二本ヲ備フ各種ノ登記簿ハ第四條第二節乃至第二十一節ニ掲ケタル届出事件ノ區別ニ從ヒ各別冊ト爲ス但便宜ニ依リ之ヲ合綴スルコトヲ得

第八條 身分登記簿ハ一年毎ニ之ヲ編製ス

第九條 戶籍吏ハ豫メ翌年ノ身分登記簿ト爲スヘキ帳簿ヲ作リ監督官ノ契印ヲ請フコトヲ要ス監督官カ帳簿ノ送付ヲ受ケタルトキハ職印ヲ以テ毎葉ノ綴目ニ契印シ表紙ノ裏面ニ其枚數ヲ記シ職氏名ヲ署シ職印ヲ捺捺シテ之ヲ戶籍吏ニ還付スルコトヲ要ス

第十條 身分登記簿ノ用紙力不足ナルトキハ戶籍吏ハ更ニ帳簿ヲ作りテ契印ヲ請フコトヲ要ス

第十一條 身分登記簿ノ正本ハ永久ニ之ヲ戶籍役場ニ保存スルコトヲ要ス

登記ヲ終結シタル身分登記簿ノ副本ニ遲滞ナク之ヲ監督區裁判所ヲ管轄スル地方裁判所ニ納付スルコトヲ要ス

地方裁判所ハ其納付ヲ受ケタル身分登記簿ノ副本ヲ永久ニ保存スルコトヲ要ス

第十二條 身分登記簿ハ事變ヲ避クル爲メニスル場合ヲ除ク外之ヲ戶籍役場外ニ持出スコトヲ得

但登記ヲ終結シタル登記簿ニ付キ裁判所又ハ豫審判事ノ命令アリタルトキハ此限ニ在ラス

第十三條 何人ト雖モ手数料ヲ納付シテ身分登記簿ノ閱覽又ハ登記ノ謄本若クハ抄本ノ交付ヲ請求スルコトヲ得

謄本又ハ抄本ノ交付ヲ請求スル者アルトキハ戶籍吏之ヲ作り原本ト相違ナキ旨ヲ附記シ職氏名ヲ署シ職印ヲ捺捺シテ之ヲ交付スルコトヲ要ス

手数料ノ郵便料ヲ納付シテ謄本又ハ抄本ノ交付ヲ請求スルコトアルトキハ戶籍吏之ヲ送付スルコトヲ要ス

戶籍吏カ閱覽又ハ交付ノ請求ヲ許ササル場合ニ於テハ書面ヲ以テ其旨ヲ請求者ニ報知スルコトヲ要ス

第十四條 身分登記簿ノ全部又ハ一部分ヲ滅失シタルトキ司法大臣ハ其旨ヲ告示シ且身分登記簿ノ

再製又ハ補完ニ付必要ナル處分ヲ命スルコトヲ要ス
第三章 登記手續

第十五條 身分登記ハ左ノ場合ニ於テ之ヲ爲ス

一 戶籍吏カ身分ニ關スル届出ヲ受ケ又ハ其届書ノ送付ヲ受ケタルトキ

二 戶籍吏カ身分ニ關スル報告ヲ受ケタルトキ

三 戶籍吏カ身分ニ關スル證書ノ謄本ヲ受ケ又ハ其謄本ノ送付ヲ受ケタルトキ

四 戶籍吏カ身分ニ關スル事項ヲ記載シタル航海日誌ノ謄本ノ送付ヲ受ケタルトキ

五 戶籍吏カ登記ノ取消又ハ變更ノ申請若クハ請求ヲ受ケタルトキ

六 戶籍吏カ登記ヲ爲スヘキ旨ノ裁判ヲ受ケタルトキ

第十六條 前條ニ掲ケタル場合ト雖モ届出、送付其他ノ手續カ本法ノ規定ニ依リタルモノニ非サレハ登記ヲ爲スコトヲ得ス

第十七條 登記ハ法律ニ特別ノ規定アル場合ヲ除ク外之ヲ取消シ又ハ之ヲ變更スルコトヲ得ス

第十八條 戶籍吏カ届出、報告其他登記ニ關スル書類ヲ受理シタルトキハ其書類ニ受附ノ番號及

ヒ年月日ヲ記載シ遲滞ナク登記ノ手續ヲ爲スコトヲ要ス

第十九條 登記ハ本籍人、非本籍人及ヒ登記ヲ爲スヘキ事件ノ區別ニ從ヒ相當ノ登記簿ニ之ヲ爲スコトヲ要ス

第二十條 被登記者ノ本籍ガ届出其他ノ事由ニ因リ戶籍吏ノ管轄ニ歸シ又ハ其管轄ヲ離ルル場合

ニ於テハ本籍人身分登記簿ニ登記ヲ爲スコトヲ要ス

一箇ノ登記ニシテ本籍人及ヒ非本籍人ニ關スルトキハ同時ニ本籍人身分登記簿及ヒ非本籍人身

分登記簿ニ登記ヲ爲シ各登記ノ欄外ニ交互參看ノ符號ヲ附記スルコトヲ要ス

第二十一條 被登記者ノ本籍カ分明ナラサルトキハ非本籍人身分登記簿ニ登記ヲ爲スコトヲ要ス

第二十二條 登記ニハ第四章ノ規定ニ依リ届出、報告、申請若クハ請求ヲ爲シ又ハ航海日誌ノ謄

本ニ記載シタル事項ヲ記載スルコトヲ要ス

證書ノ謄本ニ依リテ爲ス登記ニハ其謄本ニ記載シタル事項ヲ記載スルコトヲ要ス

裁判ニ依リテ爲ス登記ニハ其裁判ヲ以テ命セラレタル登記事項ヲ記載スルコトヲ要ス

第二十三條 登記ヲ爲スヘキ事實カ第四章第二節乃至第二十一節ニ掲ケタル届出事件ノ二箇以上

ニ涉ルトキハ各別ニ登記ヲ爲スコトヲ要ス

前項ノ登記ニハ各登記ニ付キ必要ナル事項ノミナ記載シ各登記ノ欄外ニ交互參看ノ符號ヲ附記

スルコトヲ要ス

第二十四條 登記取消ノ登記ハ取消ノ申請又ハ請求ノ目的タル登記ノ欄外ニ之ヲ爲シ原登記ヲ抹

消スルコトヲ要ス

第二十五條 登記變更ノ登記ハ其目的タル登記ノ欄外ニ之ヲ爲シ且其申請ノ基本タル裁判ノ趣旨

ニ從ヒテ原登記ヲ變更スルコトヲ要ス

第二十六條 本籍分明ナラサル者ノ登記ヲ爲シタル後其者ノ本籍カ分明ト爲リタル旨ノ届出又ハ

報告アリタルトキハ原登記ノ欄外ニ其登記ヲ爲スコトヲ要ス

本籍分明ト爲リタル者カ本籍人ナリシトキハ前項ノ規定ニ依ラス更ニ本籍人身分登記簿ニ登記

ヲ爲シ其登記及ヒ前登記ノ欄外ニ交互參看ノ符號ヲ附記スルコトヲ要ス

前二項ノ登記ヲ爲シタル後其者ノ本籍ニ付キ更ニ届出又ハ報告アリタルトキハ届出又ハ報告ア

リタルコト及ヒ其年月日ヲ登記ノ欄外ニ記載スルコトヲ以テ足ル

第二十七條 日本ノ國籍ヲ失ヒタル者其國籍喪失ノ届出ヲ爲サザリシトキハ戶籍吏ハ戶籍役場ノ所在地ヲ管轄スル區裁判所ノ許可ヲ得テ國籍喪失ノ登記ヲ爲スコトヲ要ス

第二十八條 登記ニハ第二十二條ニ規定シタルモノノ外左ノ事項ヲ記載スルコトヲ要ス

- 一 届出又ハ申請ノ受附ノ年月日但他ノ戶籍吏又ハ官廳ヨリ届書ノ送付ヲ受ケタル場合ニ於テハ發送者ノ官職、氏名及ヒ發送ノ年月日ヲ併記スルコトヲ要ス
- 二 報告又ハ請求ノ發送及ヒ受附ノ年月日並ニ報告者又ハ請求者ノ官職、氏名
- 三 證書又ハ航海日誌ノ謄本ノ發送及ヒ受附ノ年月日並ニ證書又ハ航海日誌ノ作製者及ヒ謄本發送者ノ官職、氏名
- 四 登記ヲ命ジタル裁判ノ年月日及ヒ裁判所ノ名

第二十九條 登記ヲ爲スニハ略字又ハ符號ヲ用キス字畫明瞭ナルコトヲ要ス

年月日時及ヒ年齢ヲ記ヘル數字ニハ一二三ノ字ヲ用キスシテ壹貳參拾ノ字ヲ用ユルコトヲ要ス

文字ハ之ヲ改竄スルコトヲ得ス若シ訂正、挿入又ハ削除ヲ爲シタルトキハ其字數ヲ欄外ニ記載シ又ハ文字ノ前後ニ括弧ヲ附シ戶籍吏之ニ認印シ其削除ニ係ル文字ハ尙ホ明カニ讀得ヘキ爲メ字體ヲ存スルコトヲ要ス

第三十條 登記ハ特別ノ規定アル場合ヲ除ク外日次ヲ逐ヒ事件受附ノ順序ニ從ヒテ之ヲ爲シ事件毎ニ番號ヲ附シ用紙ニ空行ヲ存ス前後ノ登記ヲ接續セシムルコトヲ要ス

第三十一條 戶籍吏ハ登記ヲ爲シタル毎ニ其文末ニ認印スルコトヲ要ス

第三十二條 欄外登記ヲ爲スヘキ場合ニ於テ用紙ニ餘白ナキトキハ掛紙ヲ以テ之ニ充ツルコトヲ得此場合ニ於テハ戶籍吏ハ職印ヲ以テ掛紙ト本紙トニ契印ヲ爲スコトヲ要ス

第三十三條 被登記者ノ本籍カ届出ニ因リテ戶籍吏ノ管轄ヨリ他ノ戶籍吏ノ管轄ニ轉屬スル場合ニ於テハ戶籍吏ハ登記ヲ爲シタル後遲滞ナク届書ノ副本ヲ舊管轄ノ戶籍吏ニ送付スルコトヲ要ス

第三十四條 被登記者ノ本籍カ届出ヲ受ケタル戶籍吏ノ管轄以外ニ於テ一ノ戶籍吏ノ管轄ヨリ他ノ戶籍吏ノ管轄ニ轉屬スル場合ニ於テハ其届出ヲ受ケタル戶籍吏ハ登記ヲ爲シタル後遲滞ナク届書ノ正本ヲ新管轄ノ戶籍吏ニ送付シ其副本ノ一通ヲ舊管轄ノ戶籍吏ニ送付スルコトヲ要ス

第三十五條 前二條ノ場合ヲ除ク外被登記者ノ本籍カ戶籍吏ノ管轄ニ關セサルトキハ戶籍吏ハ登記ヲ爲シタル後遲滞ナク届書ノ正本ヲ管轄戶籍吏ニ送付スルコトヲ要ス

第三十六條 第三十三條及ヒ第三十四條ノ規定ハ届出以外ノ事由ニ因リ被登記者ノ本籍カ移轉スル場合ニ之ヲ準用ス

前項ノ場合ニ於テハ戶籍吏ハ其受附ケタル書面ノ謄本ヲ作り其謄本ヲ以テ届書ノ副本ニ代フルコトヲ要ス届出以外ノ事由ニ因リ登記ヲ爲シタル場合ニ於テ被登記者ノ本籍カ戶籍吏ノ管轄ニ關セサルトキ亦同シ

第三十七條 登記ヲ爲シタルトキハ届書其他登記ニ關シテ受附ケタル書類ニ登記ノ番號及ヒ年月日ヲ記載シ登記簿ノ區別ニ從ヒ各別ニ之ヲ編綴シ且之ニ目錄ヲ附スルコトヲ要ス

第三十八條 前條ノ書類ハ一个月毎ニ遲滞ナク之ヲ監督區裁判所ニ送付シ監督區裁判所ハ之ヲ保

存スルコトヲ要ス

書類ヲ保存スヘキ期間ニ司法大臣之ヲ定ム

第三十九條 戶籍吏ハ登記ヲ爲シタル毎ニ登記ヲ爲スト同一ノ手續ニ依リ遲滯ナク其全文ヲ登記簿ノ副本ニ謄寫スルコトヲ要ス

登記簿ノ副本ヲ地方裁判所ニ送付シタル後欄外登記ヲ爲シタル場合ニ於テハ戶籍吏ハ遲滯ナク其登記ノ謄本ヲ作り職氏名ヲ署シ職印ヲ捺シ之ヲ地方裁判所ニ送付スルコトヲ要ス

地方裁判所長ハ前項ノ規定ニ依リ送付ヲ受ケタル登記ノ謄本ヲ登記簿ノ副本中相當登記ノ欄外ニ貼付シ職印ヲ以テ謄本ト本紙トニ契印ヲ爲スコトヲ要ス

第四十條 登記ヲ爲シタル後其登記ニ付キ錯誤又ハ遺漏アルコトヲ發見シタルトキハ戶籍吏ハ遲滯ナク之ヲ届出又ハ登記事件ノ本人ニ通知スルコトヲ要ス

第四十一條 戶籍吏ハ毎年未ニ於テ最終登記ノ次行ニ終結ノ旨ヲ記載シ職氏名ヲ署シ職印ヲ捺スルコトヲ要ス

前項ノ規定ハ最終登記ヲ爲ス前登記簿ノ用紙ヲ用キ蓋シタル場合ニ之ヲ準用ス

第四章 身分ニ關スル届出

第一節 通則

第四十二條 身分ニ關スル届出ハ其届出人ノ本籍地ノ戶籍吏ニ之ヲ爲スコトヲ要ス但其届出人カ本籍地外ニ在ル場合ニ於テ其所在地ノ戶籍吏ニ届出ヲ爲スコトヲ得

届出人カ本籍ヲ有セザルトキハ其届出ニ關シテハ所在地ヲ以テ本籍地ト看做ス

第四十三條 届出ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ要ス但正當ノ事由アルトキハ届出人ハ戶籍吏ニ其理由ヲ陳述シ口頭ニテ届出ヲ爲スコトヲ得

第四十四條 届書ニハ左ノ事項ヲ記載シ届出人ノ署名、捺印スルコトヲ要ス

一 届出事件

二 届出ノ年月日

三 届出人ノ族稱、職業、出生ノ年月日及ヒ本籍地

第四十五條 届出人ハ届出事件ノ本人ト異ナルトキハ届書ハ其間以續柄ヲ記載スルコトヲ要ス届出人カ家族ナルトキニ届書ハ戶主ノ氏名及ヒ届出人ト戸主トノ續柄ヲ記載スルコトヲ要ス

第四十六條 届出ヲ爲スヘキ者カ未成年者又ハ禁治産者ナルトキハ親權ヲ行フ者又ハ後見人ヲ以テ届出義務者トス

前項ノ場合ニ於テハ届出人ハ届書ニ左ノ事項ヲ記載スルコトヲ要ス

一 届出ヲ爲スヘキ者ノ氏名、族稱、出生ノ年月日及ヒ本籍地

二 無能力ノ原因

三 届出人カ親權ヲ行フ者又ハ後見人タルコト

第四十七條 前條ノ規定ハ無能力者カ其法定代理人ノ同意ヲ得スシテ爲スコトヲ得ヘキ行爲ノ届出ニハ之ヲ適用セズ

禁治産者カ届出ヲ爲ス場合ニ於テハ届書ニ届出人カ届出事件ノ性質及ヒ效果ヲ理會スルニ足ルヘキ能力ヲ有スル者ナルコトヲ證スヘキ醫師ノ診斷書ヲ添フルコトヲ要ス

第四十八條 證人ヲ要スル事件ノ届出ニ付テハ證人ハ届書ニ其證人タルコト、出生ノ年月日、職業及ヒ本籍地ヲ記載シテ署名、捺印スルコトヲ要ス

第四十九條 届出人、届出事件ノ本人又ハ届出ノ證人カ本籍地外ニ在ルトキハ届書ニ其所在地ヲ記載スルコトヲ要ス

第五十條 本法ノ規定ニ依リ届書ニ記載スルキ事項中其事實ノ存モサルモノ又ハ知レサルモノアルトキハ其旨ヲ記載スルコトヲ要ス但戶籍吏ハ各届出事件ニ付キ特ニ重要ト認ムル事項ヲ記載セサル届書ヲ受理スルコトヲ得ス

第五十一條 届書ニハ本法其他ノ法令ニ定メタル事項ニ非サレバ之ヲ記載スルコトヲ得ス

第五十二條 第二十九條ノ規定ハ届書ノ記載ニ之ヲ準用ス

第五十三條 本籍地ノ戶籍吏ノ管轄地外ニ於テ届出ヲ爲ストキハ届書ハ正副二本ヲ作ルコトヲ要ス
届出ニ因リ一人又ハ數人ノ本籍地カ一ノ家ヨリ他ノ家ニ移轉スル場合ニ於テ兩家ノ本籍地カ戶籍吏ノ管轄地ニ在ルトキハ届書ハ正副二本ヲ作り届出地ト兩家ノ本籍地トカ各戶籍吏ノ管轄地ニ與ニスルトキハ正本一冊ヲ作ルコトヲ要ス

第五十四條 届出ヲ以テ届出ヲ爲スニハ届出人ハ戶籍吏ノ面前ニ出頭シ其届出事件ヲ陳述シ戶籍吏ハ直チニ其口述並ニ届出ノ年月日、届出人ノ氏名、出生ノ年月日、職業及本籍地ヲ筆記シ之ヲ届出人ニ讀解カセ且届出人ヲシテ之ヲ署名、捺印セシムルコトヲ要ス

第五十五條 前條ノ規定ニ依リテ戶籍吏カ作ルヘキ書面ニハ届書ニ關スル規定ヲ準用ス
第五十六條 第四十三條第五十四條及ヒ前條ノ規定ハ届出事件ニ關スル同意、承諾又ハ承認ノ證明ニ受テ準用ス
第五十七條 本法ニ別段ノ規定アル場合ノ外法令ノ規定ニ依リ届出事件ニ付キ官廳ノ許可ヲ要ス

ルトキハ届出人ハ届書ニ許可書ノ謄本ヲ添フルコトヲ要ス
第五十八條 届出人カ疾病其他ノ事故ニ因リ自ラ戶籍吏ノ面前ニ出頭スルコト能ハサルトキハ代人ヲ差出スコトヲ得

第五十九條 外國ニ在ル日本人ハ本法ノ規定ニ從ヒ其國ニ駐在スル日本ノ公使又ハ領事ニ届出ヲ爲スコトヲ得
第六十條 外國ニ在ル日本人カ其國ノ法式ニ從ヒ届出事件ニ關スル證書ヲ作ラシメタルトキハ三個月内ニ其國ニ駐在スル日本ノ公使又ハ領事ニ其證書ノ謄本ヲ差出タスコトヲ要ス

日本ノ公使又ハ領事カ其國ニ駐在セサルトキハ本人歸國ノ後一個月内ニ本籍地ノ戶籍吏ニ證書ノ謄本ヲ差出スコトヲ要ス

第六十一條 前二條ノ規定ニ依リテ公使又ハ領事カ受取リタル届書又ハ證書ノ謄本ハ其公使又ハ領事ヨリ三個月内ニ之ヲ外務大臣ニ發送シ外務大臣ハ十日内ニ之ヲ本人ノ本籍地ノ戶籍吏ニ發送スルコトヲ要ス

第六十二條 本法ニ定メタル届出期間ハ届出事件ノ發生シタル日ヨリ之ヲ起算ス
裁判確定ノ日ヨリ期間ヲ起算スヘキ場合ニ於テ届出義務者カ裁判ノ送達又ハ交付ヲ受クル前裁
判カ確定シタルトキハ其送達又ハ交付ヲ受ケタル日ヨリ起算ス

第六十三條 本法ノ規定ニ依リ期間内ニ爲スヘキ届出ヲ怠リタル爲メ過料ニ處セラレタル者アルトキハ裁判所ハ遲滞ナル其者カ届出ヲ爲スヘキ地ノ戶籍吏ニ之ヲ通知スルコトヲ要ス但戶籍吏ヨリ既ニ届出ヲ受理シタル旨ノ通知アリタル場合ハ此限ニ在ラス

戶籍吏カ前項ノ通知ヲ受ケタルトキハ届出義務者ニ對シ相當ノ期間ヲ定メ其期間内ニ届出ヲ爲

スヘキ旨ヲ催告スルコトヲ要ス

届出義務者カ前項ノ期間内ニ届出ヲ爲ササルトキハ戶籍吏ハ更ニ相當ノ期間ヲ定メテ催告ヲ爲スコトヲ要ス爾後届出義務者カ戶籍吏ノ催告ニ應セサルトキ亦同シ

第六十四條 戶籍吏カ其管轄内ニ本法ノ規定ニ違反シテ届出ヲ爲ササル者アルコトヲ知リタルトキハ遲滞ナク之ヲ其事件ノ管轄裁判所ニ通知スルコトヲ要ス

第六十五條 届出期間ヲ經過シタル後ニ届出ヲ爲シタル場合ト雖モ戶籍吏ハ其届出ヲ受理スルコトヲ要ス

第六十六條 届人ハ手数料ヲ納付シテ届出受理ノ證明書ヲ請求スルコトヲ得

第六十七條 届出ニ關スル規定ハ登記ノ取消又ハ變更ノ申請ニ之ヲ準用ス

第二節 出生

第六十八條 子ノ出生アリタルトキハ十日内ニ左ノ諸件ヲ具シテ之ヲ届出ツルコトヲ要ス

- 一 子ノ名及ヒ男女ノ別
- 二 子カ私生子ナルトキ又ハ出生前ニ認知セラレタル爲メ庶子ト爲リタル者ナルトキハ其旨
- 三 出生ノ年月日時及ヒ場所
- 四 父母ノ氏名、族稱、職業及ヒ本籍地但私生子ノ届出ニ付テハ母ノ氏名、族稱、職業及ヒ本籍地
- 五 出生子ト入ルベキ家ノ戶主ノ氏名、族稱、職業及ヒ本籍地
- 六 出生子カ一家ヲ創立スル者ナルトキハ其旨及ヒ創立ノ原因
- 七 國籍ヲ有セサル者ノ子ナルトキハ其旨

第六十九條 嫡出子出生ノ届出ハ出生地又ハ父母ノ本籍地若クハ寄留地ノ戶籍吏ニ之ヲ爲スコトヲ要ス

庶子出生ノ届出ハ出生地又ハ父ノ本籍地若クハ寄留地ノ戶籍吏ニ之ヲ爲スコトヲ要ス但庶子カ父ノ家ニ入ルコトヲ得サル場合ハ此限ニ在ラス

私生子又ハ父ノ家ニ入ルコトヲ得サル庶子ノ出生ノ届出ハ出生地又ハ母ノ本籍地若クハ寄留地ノ戶籍吏ニ之ヲ爲スコトヲ要ス

第七十條 汽車又ハ航海日誌ヲ備ヘサル船舶中ニテ出生アリタル場合ニ於テハ其届出ニ付テハ到着地ヲ以テ出生地ト看做ス

第七十一條 嫡出子出生ノ届出ハ父ヨリ之ヲ爲シ父カ届出ヲ爲スコト能ハサル場合及ヒ民法第七百三十四條第一項第二項但書ノ場合ニ於テハ母ヨリ之ヲ爲スコトヲ要ス

庶子出生ノ届出ハ父ヨリ之ヲ爲シ私生子出生ノ届出ハ母ヨリ之ヲ爲スコトヲ要ス

前二項ニ掲ケタル者ヨリ届出ヲ爲スコト能ハサル場合ニ於テハ左ニ掲ケタル者ハ其順序ニ從ヒ届出ヲ爲ス義務ヲ負フ

第一 戶主

第二 同居者

第三 分娩ニ立會ヒタル醫師又ハ産婆

第四 分娩ヲ介抱シタル者

同順位ノ届出義務者數人アルトキハ其中ノ一人ヨリ届出ヲ爲スヲ以テ足ル

第七十二條 夫ハ妻ノ子ノ届出ナルコトヲ否認セントスル場合ト雖モ前條第一項ノ規定ニ依リ出

生ノ届出ヲ爲スコトヲ要ス

第七十三條 民法第八百二十一條ノ規定ニ依リ裁判所カ出生子ノ父ヲ定ムヘキトキハ出生ノ届出ハ母ヨリ之ヲ爲スコトヲ要ス此場合ニ於テハ其届書ニ父ノ未定ナル事由ヲ記載スルコトヲ要ス父カ裁判ニ依リテ定マリタルトキハ其父ハ裁判確定ノ日ヨリ一个月内ニ第六十八條ニ掲ケタル諸件ヲ具シ裁判ノ謄本ヲ添ヘテ届出ヲ爲シ且第一項ノ届出ニ依リテ爲シタル登記ノ取消ヲ申請スルコトヲ要ス

第七十四條 病院、監獄其他ノ公設所ニ於テ子ノ出生アリタル場合ニ於テ父又ハ母ヨリ届出ヲ爲スコト能ハサルトキハ病院、監獄又ハ其他ノ公設所ノ長若クハ管理人ヨリ出生ノ届出ヲ爲スコトヲ要ス

第七十五條 棄兒ヲ發見シタル者ハ二十四時内ニ其旨ヲ戸籍吏ニ届出ツルコトヲ要ス

棄兒發見ノ届出アリタルトキハ戸籍吏ハ其兒ニ氏名ヲ命シ且之ニ附屬スル衣服、物品、發見ノ場所、年月日時其他ノ景況竝ニ其兒ノ出生ノ推定年月、氏名、男女ノ別、引受人ノ氏名、職業、本籍地及ヒ所在地又ハ育兒院ノ稱號竝ニ場所及ヒ引渡ノ年月日ヲ調査ニ記載シテ之ヲ届書ニ添ヘ置クコトヲ要ス

引受人又ハ育兒院ニ變換アリタルトキハ雙方ヨリ十日内ニ其旨ヲ届出ツルコトヲ要ス

第二項ノ調査ハ登記ニ付テ之ヲ届書ト看做ス

第七十六條 棄兒ノ父又ハ母カ現出シテ其兒ヲ引取ルトキハ一个月内ニ第六十八條ノ届出ヲ爲シ且棄兒ノ登記ノ取消ヲ申請スルコトヲ要ス

第七十七條 出生又ハ棄兒發見ノ届出ヲ爲ササル前出生子又ハ棄兒カ死亡シタルトキハ出生又ハ

棄兒發見及ヒ死亡ノ届出ヲ爲スコトヲ要ス

第七十八條 航海中ニ子ノ出生アリタルトキハ艦長又ハ船長ハ二十四時内ニ乗船者中ヨリ選ミテル證人ノ前ニ於テ第六十八條ニ掲ケタル諸件ヲ航海日誌ニ記載シ證人ト共ニ署名、捺印シ且證人ノ出生ノ年月日、職業及ヒ本籍地ヲ記載スルコトヲ要ス

前項ノ手續ヲ爲シタル後艦船カ日本ノ港ニ著シタルトキハ艦長又ハ船長ハ二十四時内ニ其出生ニ關スル航海日誌ノ謄本ヲ其地ノ戸籍吏ニ送付スルコトヲ要ス

艦船カ外國ノ港ニ著シタルトキハ艦長又ハ船長ハ遲滞ナク其出生ニ關スル航海日誌ノ謄本ヲ其國ニ駐在スル日本ノ公使又ハ領事ニ送付シ公使又ハ領事ハ三箇月内ニ之ヲ外務大臣ニ發送シ外務大臣ハ十日内ニ之ヲ父母ノ本籍地ノ戸籍吏ニ發送スルコトヲ要ス

第三節 届出子否認

第七十九條 届出子否認ノ裁判カ確定シタルトキハ否認者ハ裁判確定ノ日ヨリ一箇月内ニ左ノ諸件ヲ具シ裁判ノ謄本ヲ添ヘテ之ヲ届出テ且既ニ出生ノ登記ヲ爲シタル者ニ付テハ登記ノ變更ヲ申請スルコトヲ要ス

一 子ノ名及ヒ男女ノ別

二 出生ノ年月日

三 否認ノ裁判カ確定シタル年月日

第四節 私生子認知

第八十條 私生子認知ノ届書ニ左ノ諸件ヲ記載スルコトヲ要ス

一 子ノ名及ヒ男女ノ別

二 出生ノ年月日

三 死亡シタル子ヲ認知スル場合ニ於テハ死亡ノ年月日

四 父カ認知ヲ爲ス場合ニ於テハ母ノ氏名、職業及ヒ本籍地

前項第四號ノ場合ニ於テ母カ家族ナルトキハ其戸主ノ氏名、職業、本籍地及ヒ其戸主ト母トノ綴柄ヲ記載スルコトヲ要ス

第八十一條 民法第八百三十一條第一項ノ規定ニ依リテ認知ヲ爲ス場合ニ於テハ認知者ハ母ノ氏名、職業及ヒ本籍地ヲ具シテ其胎内ニ在ル子ヲ認知スル旨ヲ届出ツルコトヲ要ス

第八十二條 民法第八百三十條及ヒ第八百三十一條ノ規定ニ依リテ母父ハ直系卑屬ノ承諾ヲ要スル場合ニ於テハ届出人ハ届書ニ承諾ノ證書ヲ添ヘ又ハ承諾ヲ爲シタル者ヲシテ届書ニ承諾ノ旨ヲ附記シ之ニ署名、捺印セシムルコトヲ要ス

第八十三條 遺言ニ依リテ認知ヲ爲シタル場合ニ於テハ遺言執行者ハ遺言カ效力ヲ生シタル日ヨリ十日内ニ其認知ニ關スル遺言ノ謄本ヲ添ヘ前三條ノ規定ニ從ヒテ之ヲ届出ツルコトヲ要ス

第八十四條 胎内ニテ認知セラレタル子カ死體ニテ分娩シタルトキハ出生届出義務者ハ其事變ヲ知リタル日ヨリ一箇月内ニ認知ノ登記ノ取消ヲ申請スルコトヲ要ス但遺言執行者カ認知ノ届出ヲ爲シタル場合ニ於テハ遺言執行者ヨリ登記ノ取消ヲ申請スルコトヲ要ス

第五節 養子縁組
第八十五條 縁組ノ届書ニハ左ノ諸件ヲ記載スルコトヲ要ス
一 當事者ノ氏名、出生ノ年月日、職業及ヒ本籍地

二 養子ノ實父母ノ氏名、職業及ヒ本籍地
三 當事者カ家族ナルトキハ戸主ノ氏名、職業及ヒ本籍地
養子カ婚家又ハ養家ヨリ更ニ縁組ニ因リテ他家ニ入ル場合ニ於テハ前項ニ掲ケタル事項ノ外婚家ノ戸主又ハ前養親ノ氏名、職業及ヒ本籍地ヲ記載スルコトヲ要ス

第八十六條 民法第八百四十三條ノ規定ニ依リテ縁組ノ承諾ヲ爲シタル者ハ養子ニ代ハリテ縁組ノ届出ヲ爲スコトヲ要ス

第八十七條 民法等七百四十一條第一項第七百五十二條第一項第八百四十一條第二項及ヒ第八百四十三條乃至第八百四十六條ノ規定ニ依リテ戸主、父母、配偶者、後見人又ハ親族會ノ同意ヲ要スル場合ニ於テハ届出人ハ届書ニ同意ノ證書ヲ添ヘ又ハ同意ヲ爲シタル者ヲシテ届書ニ同意ノ旨ヲ附記シ之ニ署名捺印セシムルコトヲ要ス

第八十八條 民法第八百四十二條ノ規定ニ依リテ配偶者ノ一方カ雙方ノ名義ヲ以テ縁組ヲ爲ス場合ニ於テハ届出人ハ届書ニ其事由ヲ記載スルコトヲ要ス

第八十九條 民法第八百四十八條ノ規定ニ依リテ縁組ノ届出ヲ爲ストキハ届書ニ第八十五條ニ掲ケタル諸件及ヒ遺言者ノ死亡ノ年月日ヲ記載シ且之ニ養子ニ關スル遺言ノ謄本ヲ添フルコトヲ要ス

第九十條 縁組ノ届出ハ養親ノ本籍地又ハ所在地ノ戸籍吏ニ之ヲ爲スコトヲ要ス

第九十一條 縁組カ無効ナルトキハ届出人ハ其無効ナル事由ノ證明書ヲ提出シテ登記ノ取消ヲ申請スルコトヲ要ス

第九十二條 縁組ノ無効又ハ取消ノ裁判カ確定シタルトキハ其訴ヲ提起シタル者ハ裁判確定ノ日

ヨリ一箇月内ニ裁判ノ謄本ヲ提出シテ登記ノ取消ヲ申請スルコトヲ要ス
第九十三條 第八十五條及ヒ第八十七條乃至第八十九條ノ規定ハ口頭ヲ以テ届出ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第九十四條 第五十八條ノ規定ハ縁組ノ届出ニハ之ヲ適用セス

第六節 養子離縁

第九十五條 離縁ノ届書ニハ左ノ諸件ヲ記載スルコトヲ要ス

- 一 當事者ノ氏名、職業及ヒ本籍地
- 二 養子ノ實父母ノ氏名、職業及ヒ本籍地
- 三 當事者カ家族ナルトキハ戸主ノ氏名、職業及ヒ本籍地
- 四 縁組ノ年月日
- 五 離縁カ協議又ハ裁判ニ因ルコト
- 六 養子ノ妻カ養子ト共ニ養家ヲ去ルトキハ其旨及ヒ妻ノ名
- 七 養子カ復籍スヘキ家ノ戸主ノ氏名、職業及ヒ本籍地
- 八 養子カ復籍スヘキ家ナキトキハ其事由

第九十六條 民法第八百六十二條第二項ノ規定ニ依リテ離縁ヲ爲ス場合ニ於テハ養親及ヒ養子ニ代ハリテ協議ヲ爲シタル者ヨリ届出ヲ爲スコトヲ要ス

第九十七條 民法第八百六十二條第三項ノ規定ニ依リテ離縁ヲ爲ス場合ニ於テハ養子ヨリ届出ヲ爲スヲ以テ足ル

第九十八條 民法第八百六十二條第三項及ヒ第八百六十三條ノ規定ニ依リ戸主、父母、後見人又ハ

親族會ノ同意ヲ要スル場合ニ於テハ届出人ハ届書ニ同意ノ證書ヲ添ヘ又ハ同意ヲ爲シタル者ヲシテ届書ニ同意ノ旨ヲ附記シ之ニ署名捺印セシムルコトヲ要ス

第九十九條 離縁ノ裁判カ確定シタルトキハ其訴ヲ提出シタル者ハ裁判確定ノ日ヨリ十日内ニ裁判ノ謄本ヲ添ヘテ届出ヲ爲スコトヲ要ス

第一百條 第九十五條及ヒ第九十八條ノ規定ハ口頭ヲ以テ届出ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第七節 婚姻

第一百二條 婚姻ノ届書ニハ左ノ諸件ヲ記載スルコトヲ要ス

- 一 當事者ノ氏名、出生ノ年月日及ヒ本籍地
 - 二 父母ノ氏名、職業及ヒ本籍地
 - 三 當事者カ家族ナルトキハ戸主ノ氏名、職業及ヒ本籍地
 - 四 入夫婚姻又ハ婿養子縁組ナルトキハ其旨
 - 五 入夫婚姻ノ場合ニ於テ入婦カ戸主ト爲ラサルトキハ其旨
 - 六 婚姻ニ因リテ嫡出子タル身分ヲ取得スル庶子アルトキハ其名及ヒ出生ノ年月日
- 當事者ノ一方カ婚家又ハ養家ヨリ更ニ婚姻ニ因リテ他家ニ入ル場合ニ於テハ前項ニ掲ケタル事項ノ外前婚家ノ戸主又ハ養親ノ氏名、職業及ヒ本籍地ヲ記載スルコトヲ要ス

第一百三條 民法第七百四十一條第二項第七百五十條第一項第七百七十二條及ヒ第七百七十三條ノ規定ニ依リ戸主、父母、後見人又ハ親族會ノ同意ヲ要スル場合ニ於テハ届出人ハ届書ニ同意ノ證書ヲ添ヘ又ハ同意ヲ爲シタル者ヲシテ届書ニ同意ノ旨ヲ附記シ之ニ署名、捺印セシムルコトヲ

要ス

第四百條 婚姻ノ届出ハ夫ノ本籍地又ハ所在地ノ戶籍吏ニ之ヲ爲スコトヲ要ス但入夫婚姻及ヒ婚

養子縁組ナルトキハ妻ノ本籍地又ハ所在地ニ於テ其届出ヲ爲スコトヲ要ス

第四百五條 婚姻カ無効ナルトキハ届出人ハ其無効ナル事由ノ證明書ヲ提出シテ登記ノ取消ヲ申請

スルコトヲ要ス

第四百六條 婚姻ノ無効又ハ取消ノ裁判カ確定シタルトキハ其訴ヲ提起シタル者ハ裁判確定ノ日ヨ

リ一箇月内ニ裁判ノ謄本ヲ提出シテ登記ノ取消ヲ申請スルコトヲ要ス

檢察力訴ヲ提起シタル場合ニ於テハ前項ノ規定ニ從ヒ檢察ヨリ登記ノ取消ヲ請求スルコトヲ要

ス

第四百七條 第二百二條及ヒ第二百三條ノ規定ハ口頭ヲ以テ届出ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第四百八條 第五十八條ノ規定ハ婚姻ノ届出ニハ之ヲ適用セス

第八節 離婚

第四百九條 離婚ノ届書ニハ左ノ事項ヲ記載スルコトヲ要ス

一 當事者ノ氏名、職業及ヒ本籍地

二 父母ノ氏名、職業及ヒ本籍地

三 當事者カ家族ナルトキハ戶主ノ氏名、職業及ヒ本籍地

四 婚姻ノ年月日

五 離婚カ協議又ハ裁判ニ因ルコト

六 當事者カ復籍スヘキ家ノ戶主ノ氏名、職業及ヒ本籍地

七 當事者カ復籍スヘキ家ヲキトキハ其事由

第四百十條 民法第八百九條ノ規定ニ依リ父母、後見人又ハ親族會ノ同意ヲ要スル場合ニ於テハ

届出人ハ届書ニ同意ノ證書ヲ添ヘ又ハ同意ヲ爲シタル者ヲシテ届書ニ同意ノ旨ヲ附記シ之ニ署

名、捺印セシムルコトヲ要ス

第四百十一條 離婚ノ裁判カ確定シタルトキハ其訴ヲ提起シタル者ハ裁判確定ノ日ヨリ十日内ニ裁

判ノ謄本ヲ添ヘテ届出ヲ爲スコトヲ要ス

第四百十二條 第四百九條及ヒ第四百十條ノ規定ハ口頭ヲ以テ届出ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第四百十三條 第五十八條ノ規定ハ離婚ノ届出ニハ之ヲ適用セス

第九節 後見

第四百十四條 後見ノ開始アリタルトキハ後見人ハ就職ノ日ヨリ十日内ニ左ノ諸件ヲ具シテ之ヲ届

出ツルコトヲ要ス

一 後見人ノ氏名、出生ノ年月日、職業、本籍地及ヒ住所

二 被後見人ノ氏名、出生ノ年月日、職業及ヒ本籍地

三 被後見人カ家族ナルトキハ戶主ノ氏名、職業及ヒ本籍地

四 後見開始ノ原因及ヒ年月日

五 後見人就職ノ年月日

第四百十五條 後見人ノ更迭アリタルトキハ後任ノ後見人ハ其就職ノ日ヨリ十日内ニ前條ニ掲ケタ

ル諸件及ヒ前任者ノ氏名ヲ具シテ之ヲ届出ツルコトヲ要ス

第四百十六條 後見人カ遺言ヲ以テ指定セラレタル者ナルトキハ届書ニ其指定ニ關スル遺言ノ謄本

ヲ添フルコトヲ要ス
後見人カ親族會ニ於テ選任セラレタル者ナルトキハ屆書ニ其選任ニ關スル證明書ヲ添フルコトヲ要ス

第百十七條 後見人ノ任務カ終了シタルトキハ後見人ハ十日内ニ左ノ諸件ヲ具シテ之ヲ届出ツルコトヲ要ス

- 一 被後見人ノ氏名、出生ノ年月日、職業及ヒ本籍地
- 二 就職ノ年月日
- 三 任務終了ノ原因及ヒ年月日

後見人ノ任務カ其死亡ニ因リテ終了シタルトキハ前項ノ届出ハ後見監督人ヨリ之ヲ爲スコトヲ要ス

第百十八條 後見ニ關スル届出ハ被後見人ノ本籍地又ハ所在地ノ戶籍吏ニ之ヲ爲スコトヲ要ス

第十節 隠居

第百十九條 隠居ノ届書ニハ左ノ諸件ヲ記載スルコトヲ要ス

- 一 隠居者ノ氏名、族稱、出生ノ年月日、職業及ヒ本籍地
- 二 家督相繼人ノ名、出生ノ年月日、職業及ヒ家督相繼人ト隠居者トノ續柄
- 三 隠居ノ原因

第百二十條 裁判所ノ許可ヲ得テ隠居ヲ爲ス場合ニ於テハ届出人ハ届書ニ裁判ノ謄本ヲ添フルコトヲ要ス

第百二十一條 隠居ノ届出人ハ届書ニ家督相繼人ノ承認ノ證書ヲ添へ又ハ承認ヲ爲シタル者ヲシ

テ届書ニ其旨ヲ附記シ之ニ署名、捺印セシムルコトヲ要ス

前項ノ規定ハ民法第七百五十五條第二項ノ規定ニ依リ夫ノ同意ヲ要スル場合ノ届出ニ之ヲ準用ス

第百二十二條 隠居ノ取消ノ裁判カ確定シタルトキハ其訴ヲ提起シタル者ハ裁判確定ノ日ヨリ一箇月内ニ裁判ノ謄本ヲ提出シテ登記ノ取消ヲ申請スルコトヲ要ス

第百六條第二項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第十一節 失踪

第百二十三條 失踪ノ宣告アリタルトキハ其宣告ヲ請求シタル者ハ裁判確定ノ日ヨリ十日内ニ左ノ諸件ヲ具シ裁判ノ謄本ヲ添へテ之ヲ届出ツルコトヲ要ス

- 一 失踪者ノ氏名、出生ノ年月日、職業及ヒ本籍地
- 二 失踪ノ宣告アリタル年月日
- 三 失踪者カ家族ナルトキハ戶主ノ氏名、族稱及ヒ戶主ト失踪者トノ續柄

第百二十四條 失踪ノ宣告ノ取消アリタルトキハ其取消ヲ請求シタル者ハ裁判確定ノ日ヨリ一箇月内ニ裁判ノ謄本ヲ提出シテ登記ノ取消ヲ申請スルコトヲ要ス

第十二節 死亡

第百二十五條 死亡者アリタルトキハ届出義務者カ其死亡ヲ知りタル日ヨリ三日内ニ左ノ諸件ヲ具シ醫師ノ診斷書若クハ檢察書又ハ警察官ノ檢視調書ノ謄本ヲ添へテ之ヲ届出ツルコトヲ要ス

- 一 死亡者ノ氏名、出生ノ年月日、男女ノ別及ヒ本籍地
- 二 死亡ノ年月日時及ヒ場所

三 死亡者カ家族ナルトキハ戸主ノ氏名、族稱及ヒ戸主ト死亡者トノ續柄
 前項ノ届出期間ハ衛生ノ爲メ特別ノ必要アルトキハ命令ヲ以テ之ヲ短縮スルコトヲ得
 第二百二十六條 左ニ掲ケタル者ハ其順序ニ從ヒ死亡ノ届出ヲ爲ス義務ヲ負フ

第一 戸主

第二 同居者

第三 家主、地主又ハ土地若クハ家屋ノ管理人

同順位ノ届出義務者數人アルトキハ其中ノ一人ヨリ届出ヲ爲スヲ以テ足ル

第二百二十七條 死亡ノ届出ハ死亡地又ハ死亡者ノ本籍地若クハ寄留地ノ戸籍吏ニ之ヲ爲スコトヲ要ス

第二百二十八條 第七十條及ヒ第七十四條ノ規定ハ死亡届出ニ之ヲ準用ス

第二百二十九條 死刑ノ執行アリタルトキハ監獄ノ長ハ遲滞ナク第二百二十五條ニ掲ケタル諸件ヲ具シ監獄所在地ノ戸籍吏ニ死亡ノ報告ヲ爲スコトヲ要ス

前項ノ規定ハ在監中死亡シタル者アリテ死體ノ引取人ナキ場合ニ之ヲ準用ス此場合ニ於テハ報告書ニ醫師ノ診斷書又ハ検案書ヲ添フルコトヲ要ス

第三百十條 航海中ニ死亡者アリタルトキハ艦長又ハ船長ハ二十四時内ニ乗船者中ヨリ選ミタル證人ノ前ニ於テ第二百二十五條ニ掲ケタル諸件ヲ航海日誌ニ記載シ證人ト共ニ署名、捺印シ且證人ノ出生ノ年月日、職業及本籍地ヲ記載スルコトヲ要ス

前項ノ手續ヲ爲シタル後艦船カ日本ノ港ニ著シタルトキハ艦長又ハ船長ハ二十四時内ニ死亡ニ關スル航海日誌ノ謄本ヲ其地ノ戸籍吏ニ送付スルコトヲ要ス

艦船カ外國ノ港ニ著シタルトキハ艦長又ハ船長ハ遲滞ナク死亡ニ關スル航海日誌ノ謄本ヲ其國ニ駐在スル日本ノ公使又ハ領事ニ送付シ公使又ハ領事ハ三箇月内ニ之ヲ外務大臣ニ發送シ外務大臣ハ十日内ニ之ヲ死亡者ノ本籍地ノ戸籍吏ニ發送スルコトヲ要ス

第三百十一條 艦船ノ難破ニ因リテ乗組員及ヒ乗官ノ全部又ハ一部カ死亡シタルトキハ其難破ノ取調ヲ爲シタル官廳又ハ公署ハ死亡者ノ本籍地ノ戸籍吏ニ死亡ノ報告ヲ爲スコトヲ要ス

第三百十二條 死亡者ノ本籍分明ナラス且何人タルコトヲ認識スルコト能ハサルトキハ警察官ハ

檢視調書ヲ作り遲滞ナク之ヲ其地ノ戸籍吏ニ報告スルコトヲ要ス

死亡者ノ本籍分明ナルニ至リ又ハ其何人タルコトヲ認識スルコトヲ得ルニ至リタルトキハ警察官ハ遲滞ナク前ニ報告ヲ受ケタル戸籍吏ニ之ヲ報告スルコトヲ要ス

第二百二十六條第一項第一號及ヒ第二號ニ掲ケタル死亡届出義務者カ前項ノ事實ヲ知りタルトキハ十日内ニ死亡ノ届出ヲ爲スコトヲ要ス此場合ニ於テハ醫師ノ診斷書又ハ検案書ニ代ヘ警察官ノ檢視調書ノ謄本ヲ添フルコトヲ得

第十三節 家督相續

第三百十三條 家督相續ニ因リテ戸主ト爲リタル者ハ其事實ヲ知りタル日ヨリ一箇月内ニ左ノ諸件ヲ具シ之ヲ被相續人ノ本籍地ノ戸籍吏ニ届出ツルコトヲ要ス

一 家督相續ノ原因及ヒ戸主トナリタル年月日

二 前戸主ノ名及ヒ前戸主ト家督相續人トノ續柄

家督相續人カ外國ニ在ル場合ニ於テハ前項ノ届出ハ三箇月内ニ届書ヲ發送スルヲ以テ足ル

第三百十四條 家督相續回復ノ裁判カ確定シタルトキハ相續權ヲ回復シタル者ハ裁判確定ノ日ヨリ

リ一箇月内ニ前條ニ掲ケタル諸件ヲ具シ裁判ノ謄本ヲ添ヘテ之ヲ届出テ且前ニ爲シタル家督相
續ノ登記ノ取消ヲ申請スルコトヲ要ス

第三百三十五條 家督相續人カ胎兒ナルトキハ其母ハ相續ノ開始アリタルコトヲ知リタル日ヨリ二
个月内ニ左ノ諸件ヲ具シ醫師ノ診斷書ヲ添ヘテ家督相續ノ届出ヲ爲スコトヲ要ス

一 相續開始ノ年月日

二 家督相續人ノ胎兒ナルコト

三 前戸主ノ名及ヒ前戸主ト家督相續人トノ續柄

第三百三十三條第二項ノ規定ハ前項ノ届出ニ之ヲ準用ス

第三百三十六條 胎兒ヲ家督相續人トシテ届出テタル場合ニ於テ其胎兒カ死體ニテ生レタルトキハ
母ハ出産ノ日ヨリ一箇月内ニ醫師又ハ出産ニ立會ヒタル産婆ノ檢案書ヲ提出シテ家督相續ノ登
記ノ取消ヲ申請スルコトヲ要ス

母カ登記取消ノ申請ヲ爲ササルトキハ家督相續人ハ其事實ヲ知リタル日ヨリ一箇月内ニ登記ノ
取消ヲ申請スルコトヲ要ス

第十四節 推定家督相續人ノ廢除

第三百三十七條 推定家督相續人廢除ノ裁判カ確定シタルトキハ被相續人ハ裁判推定ノ日ヨリ十日
内ニ左ノ諸件ヲ具シ裁判ノ謄本ヲ添ヘテ之ヲ届出ツルコトヲ要ス

一 廢除セラレタル者ノ名、出生ノ年月日及ヒ職業

二 廢除ノ原因

三 廢除ノ裁判カ確定シタル年月日

第三百三十八條 被相續人カ遺言ヲ以テ推定家督相續人ヲ廢除スル意思ヲ表示シタル場合ニ於テ廢
除ノ裁判カ確定シタルトキハ前條ノ届出ハ遺言執行者ヨリ之ヲ爲スコトヲ要ス

前項ノ場合ニ於テハ届書ニ被相續人ノ死亡ノ年月日ヲ記載スルコトヲ要ス

第三百三十九條 推定家督相續人廢除ノ取消ノ裁判カ確定シタルトキハ其取消ヲ請求シタル者ハ裁
判確定ノ日ヨリ一个月内ニ裁判ノ謄本ヲ提出シテ登記ノ取消ヲ申請スルコトヲ要ス

第十五節 家督相續人ノ指定

第四百十條 家督相續人指定ノ届書ニハ左ノ諸件ヲ記載スルコトヲ要ス

一 指定家督相續人タルヘキ者ノ氏名、族稱、出生ノ年月日、職業及ヒ本籍地

二 法定ノ推定家督相續人ナキコト

第四百十一條 民法第九百八十一條ノ規定ニ依リテ家督相續人指定ノ届出ヲ爲ストキハ届書ニ前
條ニ掲ケタル諸件及ヒ被相續人ノ死亡ノ年月日ヲ記載シ且之ニ其指定ニ關スル遺言ノ謄本ヲ添
フルコトヲ要ス

第四百十二條 家督相續人指定ノ取消ノ届書ニハ左ノ諸件ヲ記載スルコトヲ要ス

一 指定家督相續人ノ氏名、族稱、出生ノ年月日、職業及ヒ本籍地

二 指定ノ年月日

第四百十三條 家督相續人指定ノ取消ノ届出ヲ爲ス者ハ同時ニ家督相續人指定ノ登記ノ取消ヲ申
請スルコトヲ要ス

第四百十四條 民法第九百八十一條ノ規定ニ依リテ指定ノ取消ノ届出ヲ爲ス場合ニ於テハ前二條
ノ規定ニ依ル外届書ニ被相續人ノ死亡ノ年月日ヲ記載シ且之ニ指定ノ取消ニ關スル遺言ノ謄本

ヲ添フルコトヲ要ス

第四百四十五條 家督相繼人ノ指定カ其效力ヲ失ヒタルトキハ指定ヲ爲シタル者ハ其事實ヲ知リタル日ヨリ一个月内ニ其效力ヲ失ヒタル事由ノ證明書ヲ提出シテ登記ノ取消ヲ申請スルコトヲ要ス

第十六節 入籍、離籍及ヒ復籍拒絶

第四百四十六條 民法第七百三十五條第一項若クハ第七百三十七條ノ規定ニ依リ他家ノ家族ト爲ラント欲スル者又ハ民法第七百三十八條ノ規定ニ依リ自己ノ親族ヲ婚家、養家又ハ自家ノ家族ト爲サント欲スル者ハ左ノ諸件ヲ具シテ入籍ノ届出ヲ爲スコトヲ要ス

- 一 入籍スヘキ家ノ戸主ノ氏名、出生ノ年月日、職業及ヒ本籍地
- 二 入籍スヘキ家ノ戸主又ハ家族ト入籍スヘキ者トノ親族關係
- 三 入籍スヘキ者カ廢家シテ他家ニ入ルトキハ其旨
- 四 入籍スヘキ者カ家族ナルトキハ其去ルヘキ家ノ戸主ノ氏名、出生ノ年月日、職業、本籍地及ヒ其戸主ト入籍スヘキ者トノ續柄

第四百四十七條 民法第七百三十五條第一項第七百三十七條及ヒ第七百三十八條ノ規定ニ依リ戸主、配偶者、養親、親權ヲ行フ者又ハ後見人ノ同意ヲ要スル場合ニ於テハ届出人ハ届書ニ同意ノ證書ヲ添ヘ又ハ同意ヲ爲シタル者ヲシテ届書ニ同意ノ旨ヲ附記シ之ニ署名、捺印セシムルコトヲ要ス

第四百四十八條 戸主カ其家族ヲ離籍セんと欲スルトキハ左ノ諸件ヲ具シテ之ヲ届出ツルコトヲ要ス

- 一 離籍セラルヘキ者ノ氏名、出生ノ年月日及ヒ職業
- 二 離籍ノ原因及ヒ其原因發生ノ年月日
- 三 離籍セラルヘキ者ト共ニ家ヲ去ルヘキ者アルトキハ其名、出生ノ年月日、職業及ヒ其者トノ續柄

第四百四十九條 離籍ニ因リチ一家ヲ創立シタル者ハ其事實ヲ知リタル日ヨリ十日内ニ左ノ諸件ヲ具シテ其旨ヲ届出ツルコトヲ要ス

- 一 離籍ヲ爲シタル戸主ノ氏名、出生ノ年月日、職業及ヒ本籍地
- 二 離籍ヲ爲シタル戸主ト届出人トノ續柄
- 三 離籍ノ原因及ヒ年月日
- 四 届出人ノ家ニ入ルヘキ者アルトキハ其名、出生ノ年月日、職業及ヒ其者ト届出人トノ續柄

第四百五十條 戸主カ其家族タリシ者ノ復籍ヲ拒マント欲スルトキハ左ノ諸件ヲ具シテ之ヲ届出ツルコトヲ要ス

- 一 復籍ヲ拒マルヘキ者ノ氏名、出生ノ年月日、職業及ヒ本籍地
- 二 復籍ヲ拒マルヘキ者カ家族ナルトキハ戸主ノ氏名、出生ノ年月日、職業及ヒ本籍地
- 三 復籍拒絶ノ原因及ヒ其原因發生ノ年月日

第四百五十一條 復籍拒絶又ハ復籍スヘキ家ノ廢絶ニ因リテ復籍ヲ爲スコト能ハサル者カ一家ヲ創立シタルトキハ其事實ヲ知リタル日ヨリ十日内ニ左ノ諸件ヲ具シテ其旨ヲ届出ツルコトヲ要ス

- 一 復籍ヲ拒ミタル戸主又ハ廢絶シタル家ノ最終ノ戸主ノ氏名、出生ノ年月日、職業及ヒ本籍地

二 復籍拒絶又ハ復籍スヘキ家ノ廢絶ノ原因及ヒ年月日

三 届出人ノ家ニ入ルヘキ者アルトキハ其名、出生ノ年月日、職業及ヒ其者ト届出人トノ續柄

第十七節 廢家及ヒ絶家

第百五十二條 廢家ヲ爲サント欲スル者ハ左ノ諸件ヲ具シ家督相繼ニ因リテ戸主ト爲リタル者ニ

非サルコトノ證明書又ハ廢家ノ許可ニ關スル裁判ノ謄本ヲ添ヘテ之ヲ届出ツルコトヲ要ス

一 廢家シタル者カ入ルヘキ家ノ戸主ノ氏名、出生ノ年月日、職業及ヒ本籍地

二 廢家シタル者ニ隨ヒテ他家ニ入ル者ノ名、出生ノ年月日及ヒ職業

第百五十三條 絶家ノ家族ニシテ一家ヲ創立シタル者ハ其事實ヲ知リタル日ヨリ十日内ニ左ノ諸

件ヲ具シテ絶家及ヒ一家創立ノ届出ヲ爲スコトヲ要ス

一 絶家ノ最終ノ戸主ノ氏名、出生ノ年月日、職業及ヒ本籍地

二 絶家ノ原因及ヒ年月日

三 一家ヲ創立シタル者ニ隨ヒテ他家ニ入ル者ノ名、出生ノ年月日及ヒ職業

第十八節 分家及ヒ廢絶家再興

第百五十四條 分家ヲ爲サント欲スル者ハ左ノ諸件ヲ具シテ之ヲ届出ツルコトヲ要ス

一 分家ノ戸主ト爲ルヘキ者ノ氏名、出生ノ年月日、職業及ヒ本籍地

二 本家ノ戸主ノ氏名、職業、本籍地及ヒ其戸主ト分家ノ戸主ト爲ルヘキ者トノ續柄

三 分家ノ家族ト爲ルヘキ者アルトキハ其名、出生ノ年月日及ヒ職業

四 分家ノ戸主及ヒ家族ト爲ルヘキ者ノ父母ノ氏名、職業及ヒ本籍地

第百五十五條 廢絶家ヲ再興セント欲スル者ハ左ノ諸件ヲ具シテ之ヲ届出ツルコトヲ要ス

一 廢絶家ノ最終ノ戸主ノ氏名、職業及ヒ本籍地

二 廢絶ノ原因及ヒ年月日

三 廢絶シタル家ト再興ヲ爲ス者ノ家トノ續柄

四 再興ヲ爲ス者ノ戸主ノ氏名、出生ノ年月日、職業及ヒ本籍地

五 再興ヲ爲ス者ニ隨ヒテ他家ニ入ルヘキ者ノ名、出生ノ年月日及ヒ職業

第百五十六條 分家又ハ廢絶家再興ノ届出人ハ届書ニ戸主ノ同意ノ證書ヲ添ヘ又ハ戸主ヲシテ届

書ニ同意ノ旨ヲ附記シ之ニ署名捺印セシムルコトヲ要ス

前項ノ規定ハ民法第七百四十三條但書ノ規定ニ依リ親權ヲ行フ者又ハ後見人ノ同意ヲ要スル場

合ニ之ヲ準用ス

第十九節 國籍ノ得喪

第百五十七條 外國人カ婚姻又ハ養子縁組ニ因リテ日本ノ國籍ヲ取得スヘキトキハ婚姻又ハ縁組

ノ届出人ハ届書ニ國籍取得者ノ原國籍ヲ記載スルコトヲ要ス

入夫婚姻又ハ養子縁組ノ場合ニ於テハ前項ノ規定ニ依ル外届書ニ内務大臣ノ許可書ノ謄本ヲ添

フルコトヲ要ス

第百五十八條 外國人カ認知ニ因リテ日本ノ國籍ヲ取得スヘキトキハ認知者ハ認知ノ届書ニ子ノ

原國籍ヲ記載スルヲ要ス

子ノ母カ外國人ナルトキハ認知者ハ届書ニ母ノ國籍ヲ記載スルコトヲ要ス

第百五十九條 歸化ヲ爲シタル者ハ歸化ノ許可ヲ受ケタル日ヨリ十日内ニ左ノ諸件ヲ具シ内務大

臣ノ許可書ノ謄本ヲ添ヘテ之ヲ届出ツルコトヲ要ス

- 一 歸化人ノ氏名、出生ノ年月日、職業、住所及ヒ原國籍
 - 二 父母ノ氏名、出生ノ年月日、職業及ヒ國籍
 - 三 歸化人ト共ニ日本ノ國籍ヲ取得シタル者アルトキハ其名、出生ノ年月日、職業及ヒ其者ト歸化人トノ續柄
 - 四 許可ノ年月日
- 歸化人ノ妻又ハ子カ歸化人ト共ニ日本ノ國籍ヲ取得セサルトキハ屆書ニ其事由ヲ記載スルコトヲ要ス

第百六十條 日本ノ國籍ヲ失フヘキ者ハ其國籍喪失前ニ左ノ諸件ヲ具シテ之ヲ届出ツルコトヲ要ス

- 一 國籍喪失ノ原因
 - 二 國籍喪失ノ期日ヲ知り得ヘキトキハ其年月日
 - 三 法定ノ推定家督相續人アルトキハ其名、出生ノ年月日、職業及ヒ其者ト届出人トノ續柄
 - 四 新ニ取得スヘキ國籍
 - 五 届出人ノ妻又ハ子カ共ニ國籍ヲ失フヘキトキハ其妻又ハ子ノ名、出生ノ年月日及ヒ職業
- 第百六十一條 日本ノ國籍ヲ失ヒタル者カ國籍喪失前ニ前條ノ届出ヲ爲スコト能ハサリシトキハ國籍喪失後十日内ニ之ヲ爲スコトヲ要ス
- 前項ノ規定ハ國籍喪失者カ日本ニ住所又ハ居所ヲ有セサルトキハ之ヲ適用セス
- 第百六十二條 日本ノ國籍ヲ失フヘキ者カ滿十七年以上ノ男子ナルトキハ國籍喪失ノ届出人ハ屆書ニ其者カ既ニ陸海軍ノ現役ニ服シタルコト又ハ之ニ服スル義務ナキコトヲ證明書ヲ添フルコトヲ要ス

トヲ要ス

日本ノ國籍ヲ失フヘキ者カ官職ヲ帶フル者ナットキハ國籍喪失ノ届出人ハ屆書ニ所屬長官ノ許可書ノ謄本ヲ添フルコトヲ要ス

第百六十三條 日本ノ國籍ヲ回復シタル者ハ國籍回復ノ許可ヲ得タル日ヨリ十日内ニ左ノ諸件ヲ具シ内務大臣ノ許可書ノ謄本ヲ添ヘテ之ヲ届出ツルコトヲ要ス

- 一 日本ノ國籍ヲ失ヒタル原因及ヒ年月日
- 二 國籍回復前ニ有セシ國籍
- 三 國籍回復ノ許可ヲ得タル年月日
- 四 國籍回復者ト共ニ日本ノ國籍ヲ取得シ又ハ之ヲ回復シタル者アルトキハ其名、出生ノ年月日、職業及ヒ其者ト國籍回復者トノ續柄

第二十節 氏名及ヒ族稱ノ變更

第百六十四條 氏ヲ復舊シ又ハ名ヲ改稱シタル者ハ十日内ニ左ノ諸件ヲ具シ管轄管廳ノ許可書ノ謄本ヲ添ヘテ之ヲ届出ツルコトヲ要ス

- 一 復舊又ハ改稱前ノ氏名
- 二 復舊シタル氏又ハ改稱シタル名
- 三 復舊又ハ改稱ノ原因及ヒ許可ノ年月日

第百六十五條 新ニ華族ニ列セラレ又ハ華士族ノ稱ヲ失ヒタル者ハ十日内ニ左ノ諸件ヲ具シ辭令書又ハ管轄官廳ノ許可書ノ謄本ヲ添ヘテ之ヲ届出ツルコトヲ要ス

一 新舊族稱

二 族稱變更ノ原因
 三 族稱變更ノ辭令又ハ許可アリタル年月日
 前項ノ届出ハ其族稱ニ變更アリタル者カ家族ナルトキハ戸主ヨリ之ヲ爲スコトヲ要ス
 第六十六條 前條ノ規定ハ分家、廢絶家再興又ハ處刑ニ因リテ族稱ヲ失ヒタル者ニハ之ヲ適用セス但處刑ニ因リテ族稱ヲ失ヒタル場合ニ於テハ裁判所ハ其者ノ本籍地ノ戶籍吏ニ其旨ヲ報告スルコトヲ要ス

第二十一節 身分登記ノ變更

第六十七條 身分登記ノ變更ヲ請求セント欲スル者ハ原登記ヲ爲シタル戶籍役場ノ所在地ヲ管轄スル區裁判所ノ許可ヲ得テ其申請ヲ爲スコトヲ要ス

第六十八條 身分登記變更ノ申請ハ許可ノ裁判カ確定シタル日ヨリ一个月内ニ左ノ諸件ヲ具シ裁判ノ謄本ヲ添ヘテ原登記ヲ爲シタル戶籍吏ニ之ヲ爲スコトヲ要ス

- 一 原登記ノ件名及ヒ年月日
- 二 變更スヘキ事項

第六十九條 前條ノ規定ハ確定判決ニ依リテ身分登記ノ變更ヲ申請スル場合ニ之ヲ準用ス

第五章 戶籍簿

第七十條 戶籍ハ戶籍吏ノ管轄地内ニ本籍ヲ定メタル者ニ付キ之ヲ編製ス

日本ノ國籍ヲ有セサル者ハ本籍ヲ定ムルコトヲ得ス

第七十一條 戶籍ハ地番號ノ順序ニ從ヒ之ヲ編綴シテ帳簿ト爲ス

戶籍吏ノ管轄地内ニ各別ニ番號ヲ附シタル二個以上ノ區畫アル場合ニ於テハ其區畫ノ順序ハ戶籍吏之ヲ定ム

籍吏之ヲ定ム

第七十二條 戶籍簿ハ正副二本ヲ設ク

戶籍簿ノ正本ハ之ヲ戶籍役場ニ備ヘ其副本ハ監督區裁判所ヲ管轄スル地方裁判所之ヲ保存ス

第七十三條 家督相續、廢絶家其他ノ事由ニ因リ戶籍ノ全部ヲ抹消シタルモノハ之ヲ戶籍簿ヨリ除キ別ニ編綴シテ帳簿ト爲シ之ヲ戶籍役場ニ保存ス

前項ノ帳簿ヲ保存スヘキ期限ハ司法大臣之ヲ定ム

第七十四條 第十二條乃至第十四條ノ規定ハ戶籍簿並ニ戶籍ノ謄本及ヒ抄本ニ之ヲ準用ス

第六章 戶籍ノ記載手續

第七十五條 戶籍ハ一戸毎ニ一本ヲ作ル

第七十六條 戶籍ニハ左ノ事項ヲ記載スルコトヲ要ス

- 一 戸主、前戸主、及ヒ家族ノ氏名
- 二 戸主ノ族稱及ヒ本籍地但家族ト戸主ト族稱ヲ異ニスル場合ニ於テハ家族ニ付テモ其族稱ヲ記載スルコトヲ要ス
- 三 戸主及ヒ家族ノ出生ノ年月日
- 四 戸主又ハ家族ト爲リタル原因及ヒ年月日但出生ニ因リテ家族ト爲リタル者ニ付テハ此記載ヲ要セス
- 五 戸主並ニ家族ノ父母ノ氏名及ヒ其父母ト戸主又ハ家族トノ續柄
- 六 戸主ト前戸主トノ續柄及ヒ家族ト戸主トノ續柄但家族ノ中他家ヨリ入りテ他ノ家族ノ配偶者ト爲リタル者又ハ他ノ家族ヲ經テ戸主トノ親族關係ヲ有スル者ニ付テハ其者ト戸主トノ續

柄ノ外他ノ家族トノ綴柄ヲ記載スルコトヲ要ス

七 他家ヨリ入りテ戸主又ハ家族ト爲リタル者ニ付テハ其原籍地、原籍ノ戸主ノ氏名、族稱及ヒ其戸主ト戸主又ハ家族ト爲リタル者トノ綴柄

八 他家ヨリ入りテ家族ト爲リタル者ニシテ他ノ家族トノミ親族關係ヲ有スル者ニ付テハ其者ト他ノ家族トノ綴柄

九 戸主又ハ家族ノ身分ノ變更及ヒ其原因並ニ年月日

十 後見人アル者ニ付テハ後見人ノ氏名、住所及ヒ後見人ノ就職並ニ任務終了ノ年月日

第百七十七條 戸主及ヒ家族ノ氏名ヲ戸籍ニ記載スルニハ左ノ順序ニ依ル

第一 戸主

第二 戸主ノ直系尊屬

第三 戸主ノ配偶者

第四 戸主ノ直系卑屬及ヒ其配偶者

第五 戸主ノ傍系親及ヒ其配偶者

第六 戸主ノ親族ニ非サル者

直系尊屬ノ間ニ在リテハ親等ノ遠キ者ヲ先ニシテ直系卑屬又ハ傍系親ノ間ニ在リテハ親等ノ近キ者ヲ先ニス

直系尊屬、直系卑屬又ハ傍系親ノ間ニ在リテ親等ノ同シキ者ハ親族間ノ順位ニ依リ親族間ノ順位ノ同シキ者ハ出生ノ前後ニ依リテ其順序ヲ定ム

前二項ノ規定ハ戸主ノ親族ニ非サル者ノ記載ニ之ヲ準用ス

第百七十八條 戸籍吏カ身分登記ヲ爲シ又ハ戸籍ニ關スル届出ヲ受理シタルトキハ次條以下ノ規定ニ從ヒテ戸籍ノ記載ヲ爲スコトヲ要ス

第百七十九條 家督相續又ハ家督相續回復ノ登記ヲ爲シタルトキハ其登記及ヒ前戸主又ハ戸主ノ名義ヲ有セシ者ノ戸籍ニ基キテ新戸主ノ戸籍ヲ編製スルコトヲ要ス

前項ノ場合ニ於テハ前戸主又ハ戸主ノ名義ヲ有セシ者ノ戸籍ニ事由ヲ記載シテ其戸籍ヲ抹消シ且其戸籍ト新戸主ノ戸籍トニ職印ヲ以テ契印ヲ爲スコトヲ要ス

胎兒カ家督相續人ナル場合ニ於テハ其出生ニ至ルマテ前二項ノ手續ヲ爲スコトヲ要セス此場合ニ於テハ前戸主ノ戸籍中戸主ニ關スル部分ノミヲ抹消シ家督相續人ノ胎兒ナル旨ヲ記載スルコトヲ要ス

第百八十條 分家、廢絶家再興其他新家ヲ立ツヘキ事件ノ登記ヲ爲シ又ハ轉籍若クハ無籍戸主ノ就籍ノ届出ヲ受理シタルトキハ其登記又ハ届出ニ基キテ戸籍ヲ編製シ轉籍届書ノ副本ハ遲滞ナク之ヲ管轄ノ戸籍吏ニ送付スルコトヲ要ス

前項ノ規定ニ依リテ戸籍ヲ編製スルニハ第百七十六條ニ掲ケタシ事項ノ外各場合ニ付キ特殊ナル事項ヲ記載スルコトヲ要ス

第百八十一條 復籍拒絕ノ登記ヲ爲シタルトキハ復籍ヲ拒絕シタル者ノ戸籍ニ登記ノ要旨ヲ記載スルコトヲ要ス

第百八十二條 廢絶家ノ登記ヲ爲シタルトキハ最終戸主ノ戸籍ニ事由ヲ記載シテ其戸籍ヲ抹消スルコトヲ得ス

第百八十三條 單身戸主ノ死亡又ハ失踪ノ登記ヲ爲シタル場合ニ於テ其家ニ家督相續人ナキコト

分明ナルトキハ戸籍吏ハ戸籍役場ノ所在地ヲ管轄スル區裁判所ノ許可ヲ得テ死亡者又ハ失踪者ノ戸籍ニ絶家ノ原因及ヒ年月日ヲ記載シテ其戸籍ヲ抹消スルコトヲ要ス

第百八十四條 戸籍吏ノ管轄地内ニ於ケル本管地變更ノ届出ヲ受理シタルトキハ理由ヲ戸籍ニ記載シ舊本籍地ニ關スル記載ヲ抗消シ新本籍地ヲ記載スルコトヲ要ス

第百八十五條 前六條ノ場合ヲ除ク外身分登記ヲ爲シ又ハ戸籍ニ關スル届出ヲ受理シタルトキハ其登記又ハ届出ニ基キ第百七十六條ニ掲ケタル事項ヲ戸籍ニ記載スルコトヲ要ス

前項ノ場合ニ於テ第百八十條第二項ノ規定ニ依リテ戸籍ニ記載シタル事項ノ變更アルトキハ其變更ヲ記載スルコトヲ要ス

第百八十六條 戸籍ヲ編製シタル後一人又ハ數人ヲ戸籍ニ入ルヘキトキハ第百七十七條ノ順序ニ拘ハラス戸籍ノ末尾ニ之ヲ記載スルコトヲ得

第百八十七條 一戸ノ全員又ハ一戸内ノ一人若クハ數人ヲ戸籍ヨリ除クヘキトキハ事由ヲ戸籍ニ記載シテ戸籍ノ全部ヲ抹消スルコトヲ要ス

第百八十八條 入籍ノ手續ヲ爲ス場合ニ於テ入籍ヲ爲スヘキ者ノ本籍カ他ノ戸籍吏ノ管轄ヨリ戸籍吏ノ管轄ニ轉屬スルモノナルトキハ身分ニ關スル届書其他ノ書類又ハ戸籍ニ關スル届書ヲ送付スルト同時ニ入籍ヲ爲シタル旨ヲ舊管轄ノ戸籍吏ニ通知スルコトヲ要ス

第百八十九條 除籍ノ手續ヲ爲スヘキ場合ニ於テ除籍ヲ爲スヘキ者ノ本籍カ戸籍吏ノ管轄ヨリ他ノ戸籍吏ノ管轄ニ轉屬スルモノナルトキハ新管轄ノ戸籍吏ヨリ入籍ヲ爲シタル旨ヲ通知ヲ受ケタル後其通知ノ發送及モ受附ノ年月日ヲ戸籍ニ記載シテ除籍ノ手續ヲ爲スコトヲ要ス

轉籍ニ因リテ除籍ヲ爲スヘキ場合ニ於テハ前項ニ掲ケタル事項ノ外轉籍地及ヒ轉籍ノ年月日ヲ

記載スルコトヲ要ス

第百九十條 身分登記又ハ戸籍ニ關スル届出ニ基キテ戸籍ノ記載ヲ爲ス場合ニ於テハ前十一條ニ規定シタル事項ノ外身分ニ關スル届書其他ノ書類又ハ戸籍ニ關スル届書ノ受附年月日ヲ記載スルコトヲ要ス

第百九十一條 第十八條條二十九條及ヒ第三十一條ノ規定ハ戸籍ノ記載ニ之ヲ準用ス

第百九十二條 戸籍用紙中ノ一部分ヲ用キ盡シタルトキハ掛紙ヲ以テ用紙ニ充ツルコトヲ得

掛紙ヲ爲シタルトキハ戸籍吏ハ職印ヲ以テ掛紙ト本紙トニ契印ヲ爲スコトヲ要ス

第百九十三條 行政區畫、土地ノ名稱又ハ地番號ノ變更アリタルトキハ戸籍ニ記載シタル區畫、名稱又ハ番號ハ當然之ヲ改正シタルモノト看做ス

第百九十四條 第百七十九條及ヒ第百八十條ノ規定ニ依リテ戸籍ヲ編製シタルトキハ戸籍吏ハ遲滞ナク其副本ヲ監督區裁判所ヲ管轄スル地方裁判所ニ送付スルコトヲ要ス

第七章 戸籍ニ關スル届出

第百九十五條 戸籍吏ノ管轄地外ニ本籍ヲ轉セント欲スルトキハ戸主ヨリ左ノ諸件ヲ具シ戸籍ノ謄本ヲ添ヘテ之ヲ轉籍地ノ戸籍吏ニ届出ツルコトヲ要ス

一 轉籍地ノ氏名、出生ノ年月日及ヒ職業

二 原籍地及ヒ轉籍地

前項ノ届書ハ正副二本ヲ作ルコトヲ要ス

第百九十六條 戸籍吏ノ管轄地内ニ於テ本籍地ヲ變更セント欲スルトキハ戸主ヨリ原籍地及ヒ新本籍地ヲ具シテ其旨ヲ戸籍吏ニ届出ツルコトヲ要ス

第百九十七條 届出ノ闕漏其他ノ事由ニ因リ本籍ヲ有セス又ハ復本籍ヲ有スル者ハ就籍又ハ除籍ノ届出ヲ爲サントスル戸籍役場ノ所在地ヲ管轄スル區裁判所ノ許可ヲ得テ其届出ヲ爲スコトヲ要ス

第百九十八條 就籍ノ届出ハ許可ノ裁判カ確定ルタル日ヨリ十日内ニ左ノ諸件ヲ具シ裁判ノ謄本ヲ添ヘテ就籍スヘキ地ノ戸籍吏ニ之ヲ爲スコトヲ要ス

- 一 就籍スヘキ者ノ氏名、族稱、出生ノ年月日時、職業及ヒ就籍スヘキ地
- 二 就籍スヘキ者ノ父母ノ氏名及ヒ其者ト父母トノ綴柄
- 三 本籍ヲ有セザリシ原因

四 就籍スヘキ者カ前ニ本籍ヲ有セシトキハ其舊本籍地

五 就籍スヘキ者カ戸主ナルトキハ其旨

六 就籍スヘキ者カ家族ナルトキハ戸主ノ氏名、族稱、職業及ヒ其者ト戸主トノ綴柄

七 就籍スヘキ者カ戸主及ヒ家族ナルトキハ戸主、家族ノ別及ヒ家族ト戸主トノ綴柄

八 就籍スヘキ者カ他家ヨリ入りテ戸主又ハ家族ト爲リタル者ナルトキハ其原籍地、原籍ノ戸主ノ氏名、族稱及ヒ其戸主ト就籍スヘキ者トノ綴柄

前項第六號及ヒ第七號ノ場合ニ於テ就籍スヘキ家族カ他家ヨリ入りテ他ノ家族ノ配偶者ト爲リタル者ナルトキ又ハ他ノ家族ヲ經テ戸主トノ親族關係ヲ有スル者ナルトキハ届書ニ其者ト戸主トノ綴柄ノ外他ノ家族トノ綴柄ヲ記載シ若シ他ノ家族トノミ親族關係ヲ有スル者ナルトキハ其者ト他ノ家族トノ綴柄ノミヲ記載スルコトヲ要ス

第百九十九條 除籍ノ届出ハ許可ノ裁判カ確定シタル日ヨリ十日内ニ左ノ諸件ヲ具シ裁判ノ謄本ヲ添ヘ除籍スヘキ地ノ戸籍吏ニ之ヲ爲スコトヲ要ス

一 除籍スヘキ者ノ氏名、族稱、職業、本籍地及ヒ復本籍地

二 復本籍ヲ有スル原因

三 除籍スヘキ者カ本籍ト復本籍トニ於テ身分ヲ異ニスルトキハ本籍並ニ復本籍ニ於ケル身分及ヒ其身分ノ異ナル原因

第百條 就籍又ハ除籍スヘキ者カ家族ナルトキ又ハ戸主及ヒ家族ナルトキハ前二條ノ届出ハ戸主ヨリ之ヲ爲スコトヲ要ス

戸主カ前二條ノ期間内ニ其届出ヲ爲ササルトキハ許可ノ裁判ヲ受ケタル者ヨリ其届出ヲ爲スコトヲ得(明治四十年三月法律第十四號ヲ以テ本項ヲ追加ス)

第百一條 第百九十八條及ヒ第百九十九條ノ規定ハ確定判決ニ依リテ就籍又ハ除籍ノ届出ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第百二條 第四十三條第四十四條第四十六條第四十九條乃至第五十二條第五十四條第五十五條第五十八條及ヒ第六十二條乃至第六十六條ノ規定ハ本章ノ届出ニ之ヲ準用ス

第八章 抗告

第百三條 身分登記又ハ戸籍ニ關スル事件ニ付キ戸籍吏ノ處分ヲ不當トスル者ハ戸籍役場ノ所在地ヲ管轄スル區裁判所ニ抗告ヲ爲スコトヲ得

第百四條 抗告ハ管轄區裁判所ニ抗告狀ヲ差出シテ之ヲ爲ス

抗告狀ニハ届書又ハ申請書及ヒ其他ノ關係書類ヲ添フルコトヲ要ス

第百五條 抗告ヲ受ケタル裁判所ハ抗告ニ關スル書類ヲ戸籍吏ニ送付シ其意見ヲ求ムルコトヲ

要ス

第二百六條 戶籍吏ハ抗告ヲ理由アリト認ムルトキハ處分ヲ變更シ其旨ヲ裁判所及ヒ抗告人ニ通知スルコトヲ要ス

抗告ヲ理由ナシト認ムルトキハ其意見ヲ附シ送付ヲ受ケタル書類ヲ五日內ニ裁判所ニ返還スルコトヲ要ス

第二百七條 裁判所ハ抗告ヲ理由ナシトスルトキハ之ヲ却下シ其理由アリトスルトキハ戶籍吏ニ相當ノ處分ヲ命スルコトヲ要ス

抗告ヲ却下シ又ハ處分ヲ命スル裁判ハ決定ヲ以テ之ヲ爲シ之ヲ戶籍吏及ヒ抗告人ニ送達スルコトヲ要ス

第二百八條 裁判所ノ決定ニ對シテハ法律ニ違背シタル裁判ナルコトヲ理由トスルトキニ限り民事訴訟法ノ規定ニ從ヒテ抗告ヲ爲スコトヲ得

第二百九條 抗告ノ費用ニ付テハ非訟事件手續法ノ規定ヲ準用ス

第九章 罰金
第二百十條 本法ノ規定ニ依リ期間內ニ爲スヘキ届出又ハ申請ヲ怠リタル者ハ十圓以下ノ過料ニ處セラル

第二百十一條 期間內ニ届出又ハ申請ヲ爲サルニ因リ戶籍吏カ期間ヲ定メテ届出又ハ申請ノ催告ヲ爲シタル場合ニ於テ尙ホ其届出又ハ申請ヲ怠リタル者ハ二十圓以下ノ過料ニ處セラルニ回以上戶籍吏ノ催告ニ應ゼサル者亦同シ

第二百十二條 戶籍吏ハ左ノ場合ニ於テハ三十圓以下ノ過料ニ處セラル

一 正當ノ理由ナクシテ身分又ハ戶籍ニ關スル届出若クハ申請ヲ受理セサル者
二 身分登記又ハ戶籍ノ記載ヲ爲スコトヲ怠リタルトキ

第二百十三條 戶籍吏ハ左ノ場合ニ於テハ十圓以下ノ過料ニ處セラル

一 正當ノ理由ナクシテ身分登記又ハ戶籍簿ノ閱覽ヲ拒ミタルトキ
二 正當ノ理由ナクシテ身分登記又ハ戶籍ノ謄本若クハ抄本ヲ交付セス又ハ身分若クハ戶籍ニ關スル届出又ハ申請ノ受理ノ證明書ヲ交付セサルトキ

第二百十四條 本章ニ定メタル過料ノ裁判ハ過料ニ處セラルヘキ者ノ住所又ハ居所ノ地ヲ管轄スル區裁判所之ヲ爲ス其裁判及ヒ裁判ノ執行ニ付テハ非訟事件手續法ノ規定ヲ準用ス

第二百十五條 自己又ハ他人ノ利ヲ圖リ若クハ他人ヲ害スル目的ヲ以テ身分又ハ戶籍ニ關シ詐僞ノ届出若クハ申請ヲ爲シタル者ハ十一日以上四年以下ノ重禁錮又ハ二圓以上百圓以下ノ罰金ニ處セラル

附則

第二百十六條 市町村長ヲ置カサル地ニ於テハ市町村長ノ職務ヲ行フ吏員ヲ以テ戶籍吏トシ其吏員ノ職務ヲ行フ役場ヲ以テ戶籍役場トス

市町村長ノ職務ヲ行フ吏員ノ事務ヲ代理スヘキ者ナキ地ニ在リテハ監督區裁判所ヲ管轄スル地方裁判所ノ長司法大臣ノ認可ヲ得テ豫メ其事務ヲ代理スヘキ者ヲ定ム

市參事會員其他戶籍吏ノ職務ヲ行フヘキ吏員ナキ地ニ於テ此等ノ者ニ代リテ戶籍吏ノ職務ヲ行フヘキ者モ亦前項ノ手續ニ依リテ之ヲ定ム

第二百十七條 本法ノ規定ニ依リテ納付スル手数料ハ之ヲ市町村ノ收入トス但國庫ヨリ戶籍役場

ノ經費ヲ支辨スル地ニ在リテハ之ヲ國庫ノ收入トス
手数料ノ金額ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第二百十八條 本法ノ規定ニ依リ届出人其他ノ者ノ署名、捺印ヲ要スル場合ニ於テ其者カ印ヲ有セサルトキハ署名スルヲ以テ足ル署名スルコト能ハサルトキハ名ヲ代署セシメ捺印スルヲ以テ足ル若シ署名スルコト能ハス且印ヲ有セサルトキハ名ヲ代署セシメ捺印スルヲ以テ足ル
前項ノ規定ニ依リ捺印セス又ハ名ヲ代署セシメ若クハ捺印シタル場合ニ於テハ書面ニ其事由ヲ附記スルコトヲ要ス

第二百十九條 明治三十一年十二月三十一日マテハ從前登記目錄トシテ備ヘタル帳簿ヲ以テ身分登記簿ニ代用スルコトヲ得

第二百二十條 登記目錄ノ冊數又ハ紙數カ身分登記簿ニ代用スルニ足ラサル場合ニ於テハ明治三十一年十二月三十一日マテノ身分登記簿ニ限リ戸籍吏ハ第九條ノ規定ニ拘ハラズ登記目錄ヲ作製スルト同一ノ手續ニ依リテ之ヲ作製スルコトヲ得
前項ノ規定ハ登記目錄ノ設ナカリシ地ノ身分登記簿ニ之ヲ準用ス

第二百二十一條 本法ノ規定ニ依リ戸籍ノ改製スヘキ時期ハ各地又ハ一般ニ付キ司法大臣之ヲ定ム

本法施行後戸籍ノ記載ヲ爲シ又ハ新ニ戸籍ヲ編製スル場合ニ於テハ其記載又ハ編製ニ付テハ本法ノ規定ニ從フコトヲ要ス但記載ヲ要スル事項ニシテ其實情ヲ知ルコト能ハサルモノ又ハ從前ノ戸籍用紙中其事項ヲ載スヘキ區畫ノ設ナキモノハ其記載ヲ省クコトヲ得
第二百二十二條 明治四年四月四日布告戸籍法、明治十九年内務省令第十九號及ヒ同年内務省令

第二百二十三條 寄留ニ關スル事務ハ監督ニ付テハ第五條ノ規定ヲ準用ス
第二百二十四條 本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム(此期日ハ明治三十一年六月勅令第二百二十三號ヲ以テ明治三十一年七月十六日)ト定メタリ)

第二百二十五條 出方ノ件ハ同年(十月十六日)内務省令第三十二號ハ戸籍取扱手續ナリ

戸籍法取扱手續

(明治三十一年七月司法省訓令第五號)

戸籍法取扱手續左ノ通相定ム

戸籍法取扱手續

第二條 身分登記簿ノ用紙ハ美濃十三行部紙下シ其登記例ハ附錄第一號書式ノ振合ニ依ルヘシ
第三條 戸籍簿ノ用紙ハ附錄第二號樣式ニ依リ其記載例ハ附錄第三號書式ノ振合ニ依ルヘシ
第四條 戸籍吏ハ毎年十月三十一日マテニ翌年ノ身分登記簿下爲スヘキ帳簿ニ附錄第四號書式ノ請求ヲ添ヘ之ヲ監督廳裁判所ニ送附スヘシ

第五條 市町村ノ戸籍簿ハ二冊以上三分綴シタラシキハ其表紙ニ番號又ハ大字等ヲ附記スルヘシ
第六條 戸籍役場ニ於テハ毎年受附帳ヲ製シ置キ身分及ヒ戸籍ニ關スル届出報告其他ノ書類ヲ受附ケタル順序ニ從ヒ之ニ其件名差出人受附年月日及ヒ番號ヲ記入スルヘシ
第七條 身分登記簿、戸籍簿及ヒ届書其他之ニ關スル書類ハ總テ鎖鑰アル書箱ニ藏メ其保管ヲ嚴

ニシテ倉庫ノ設ケアルモノハ倉庫ニ藏メ置クヘシ
 第七條 身分登記簿及ヒ戸籍簿ノ全部又ハ一部カ滅失シタルトキハ戸籍吏ハ遲滞ナク其事由、年月日、帳簿ノ冊數、市町村名等ヲ詳細ニ記載シ監督區裁判所判事ニ申報スヘシ
 監督區裁判所判事カ前項ノ申報ヲ受ケタルトキハ相當ノ調査ヲ爲シタル後之ヲ管轄地方裁判所長及ヒ司法大臣ニ具申スヘシ

第八條 戸籍簿ヨリ除キタル戸籍ハ一今年毎ニ編綴シテ其表紙ニ明治何年除籍簿ト記載スヘシ

第九條 身分登記簿ノ副本ヲ地方裁判所ニ納付スルトキハ其目錄ヲ添附スヘシ

第十條 戸籍吏ノ職務ヲ代理スヘキ者カ登記及ヒ記載ヲ爲ストキハ代理ト記シ認印スヘシ

第十一條 身分登記簿又ハ戸籍簿ノ閱覽ヲ請求スル者アルトキハ吏員ノ面前ニ於テ之ヲ閱覽セシムヘシ

第十二條 身分登記又ハ戸籍ノ謄本若クハ抄本ニハ其人別又ハ事項ノ終リニ空行ヲ存セス附錄第五號書式ニ依リ認證文ヲ附記スヘシ

謄本又ハ抄本ハ其原本ト同一ノ用紙ヲ用ユヘシ

第十三條 官吏又ハ公吏カ其職務ヲ以テ身分登記簿、戸籍簿ノ閱覽又ハ身分登記、戸籍ノ謄本若クハ抄本ヲ求ムルトキハ手数料及ヒ郵送料ヲ要セス

第十四條 身分又ハ戸籍ニ關スル届出若クハ申請ノ受理ノ證明書ハ附錄第六號書式ニ依ルヘシ

第十五條 戸籍吏カ届出又ハ申請ヲ怠リタル者ニ對シ發スヘキ催告狀ハ附錄第七號書式ニ準據スヘシ

第十六條 戸籍吏ノ定メタル催告期間内ニ届出又ハ申請ヲ爲ササルトキ更ニ發スヘキ催告狀ハ附錄第八號書式ニ準據スヘシ

第三以下ノ催告狀ヲ發スヘキトキハ第八號書式ヲ準用スヘシ

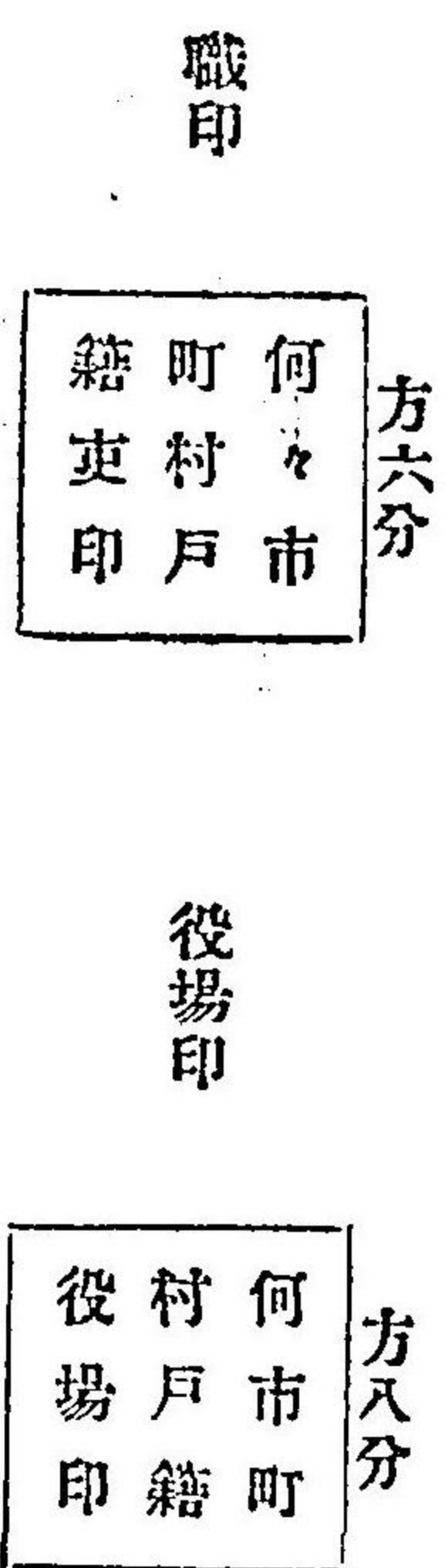
第十七條 行政區畫ノ變更ニ依リ甲町村カ乙町村ニ合併シタルトキハ廢止セラレタル戸籍役場ニ存在スル身分登記簿、戸籍簿其他之ニ關スル書類ハ遲滞ナク合併シタル乙町村戸籍吏ニ引繼クヘシ

甲町村ノ一部カ乙町村ニ合併シタルモ併シタル區域内ニ本籍ヲ有スル者ノ戸籍ハ之ヲ分割シテ遲滞ナク合併シタル乙町村戸籍吏ニ引繼クヘシ但身分登記簿ハ引繼ヲ爲スノ限ニ在ラス

前二項ノ場合ニ於テ引繼ヲ完了シタルトキハ其旨ヲ監督區裁判所ニ報告スヘシ

第十八條 身分登記及ヒ戸籍ニ關スル疑義ハ戸籍吏ヨリ監督區裁判所ヲ經由シテ司法大臣ニ稟伺スルコトヲ得

第十九條 戸籍役場ニハ左ノ印章ヲ備フヘシ



附録第一號

明治何年

本籍人

身分

出生之部

東京麹町區戶籍役場

紙數表紙ヲ除キ何枚

東京區裁判所監督列事氏名

職印

第一號(戶六八、六九ノ一、七一ノ一)

麹町區麹町一丁目一番地戶主平民吳服商

父 飯 尾 太 郎
母 ウ シ

長男 一 郎

出生ノ時 明治參拾貳年參月四日午後五時
出生ノ場所 麹町區麹町一丁目一番地

屆出人 飯 尾 太 郎

明治元年四月貳日生

右出生明治參拾貳年參月五日屆出同日受附
第二號(戶六八、六九ノ一、七一ノ一、二五)

麹町區元園町二丁目二番地戶主平民菓子商兵助
長男無職業

父 米 田 兵 三
母 ト ラ

長女 タ ツ

出生ノ時 明治參拾貳年參月五日午後四時
出生ノ場所 神田區今川小路三丁目二番地

寄留地 今川小路三丁目三番地

屆出人 米 田 ト ラ

明治貳年四月拾日生

右出生明治參拾貳年參月六日神田區へ屆出同日同區戶籍吏井口清受附同月七日屆書發送同日受
附

第三號(戸六八、六九ノ三、七一ノ二、民七三五ノ三)

麴町區富士見町一丁目一番地戸主平民下宿營業一
作姉

母 竹 村 ト リ

私生子女 ク ハ

出生ノ時 明治參拾貳年參月拾日午後貳時拾五分

出生ノ場所 麴町區富士見町一丁目一番地

右ハ母ノ家ニ入ルコトヲ得サルニ因リ一家創立

届出人 竹 村 ト リ

明治元年貳月五日生

右出生明治參拾貳年參月拾壹日届出同日受附㊦

第四號(戸六八、六九ノ二、七一ノ三、民七三五ノ二、七四六)

麴町區永田町二丁目三番地戸主平民無職業ナチ弟
製靴業

父 益 田 三 郎

麴町區平河町五丁目四番地戸主平民無職業次郎叔母

母 荒 瀬 カ ネ

庶子男 荒 瀬 新

出生ノ時 明治參拾貳年五月六日午後拾時拾五分

出生ノ場所 麴町區平河町五丁目四番地

右新出生前ニ認知セラレ

父ノ家ニ入ルコトヲ得サルニ因リ母ノ家ニ入ル

届出人 荒 瀬 次 郎

明治元年拾月五日生

右出生明治參拾貳年五月七日届出同日受附㊦

明治參拾貳年拾貳月貳拾九日登記終結ス

東京市麴町區戸籍吏氏名 職印

第一號欄外登記例

明治參拾貳年五月四日出生ノ時變更ノ裁判確定ニ付同月五日飯尾太郎ヨリ登記變更ノ申請同日受附タルニ因リ裁判ノ趣旨ニ從ヒテ出生ノ時ヲ六時ト變更ス㊦

第二號欄外登記例

明治參拾貳年六月貳拾參日嫡出子否認ノ裁判確定ニ付同月貳拾五日米田兵三ヨリ登記變更ノ申請同日受附タルニ因リ裁判ノ趣旨ニ從ヒテタツチ私生子女トシ父母ノ行ヲ米田兵三妻トラト變更ス㊦

附錄第一號ノ二

明治何年

本籍人

身分登記簿

嫡出子否認之部

東京市麹町區戶籍役場

紙數表紙ヲ除キ何枚

東京區裁判所監督列事氏名 職印

第一號(戶七九、民八二二)

女

明治參拾貳年參月五日生

右々ッ否認ノ裁判明治參拾貳年六月貳拾參日確定

麹町區元園町二丁目二番地戶主兵助長男平民無職

否認者

米田兵三

明治元年參月四日生

右嫡出子否認明治參拾貳年六月貳拾五日屆出同日受附

附錄第一號ノ三

明治何年

本籍人

身分登記簿

私生子認知之部

東京市神田區戶籍役場

紙數表紙ヲ除キ何枚

東京區裁判所監督列事氏名 職印

第一號(戶八〇、民八二七、八二九ノ一)

神田區錦町三丁目四番地戶主水本耕三兄平民無職

業太郎

庶子男

勉

右母靜岡縣靜岡市鷹匠町一番地戸主裁縫師乙井應吉妹無職業トキ

認知者 水 木 太 耶

明治貳年八月七日生

右私生子認知明治參拾貳年拾月九日届出同日取附
第二號(戸八〇)

神田區三河町三丁目三番地戸主平民無職業大口丙次

認知者 庶子男 龜 次 耶

明治貳拾五年五月拾日生

右母四谷區舟町六拾番地戸主平民無職業向井カハ

認知者 大 口 丙 次
明治元年參月壹日生

右私生子認知明治參拾貳年五月貳日届出同日受附
第三號(戸八二、八四)

神田區今川小路一丁目五番地戸主山井三次叔父平民無職業二耶

庶子 胎 兒

右母神奈川縣橫濱市吉田町五丁目十番地戸主無職業一井カハ

認知者 山 井 二 耶

明治元年壹月壹日生

右胎兒認知明治參拾貳年壹月貳日届出同日受附

第三號欄外登記例

明治參拾貳年六月拾日山井二耶ヨリ胎兒死體分焼ニ付登記取消申請同日受附

附錄第二號ノ四

明治何年

本籍人

身分登記簿

養子縁組之部

北豊島郡板橋町戸籍役場

紙數表ヲ除キ何枚

東京區裁判所監督判事氏名 職印

第一號(戶八五、民八四七)

北豐島郡板橋町千番地戶主平民農
秋友 太郎 吉
慶應元年參月八日生
サ 力

養父

養母
明治貳年六月九日生

養子
東京市小石川區原町百番地戶主農內山權藏弟平民
無職業
三 郎
明治拾年五月拾日生

右父
無職業
內 山 良 一
明治拾年五月拾日生

右母
北豐島郡板橋町六十番地農
上 井 好 助

證人
北豐島郡板橋町五拾番地農
下 口 尙 次
明治五年七月壹日生

右養子緣組明治參拾貳年參月貳日屆出受附⑩

第二號(戶八五)

北豐島郡板橋町四拾番地戶主平民無職業
新 井 太 郎 作
明治元年六月參拾日生
タ 木

養父

養母亡
同郡板橋町五番地戶主川下管六養女平民無職業
カ ク

養子
明治拾年六月貳日生

右父亡
向 坂 太 郎

右母
東京市本郷區丸山町五番地無職業
エ ヲ

右前養父
北豐島郡板橋町五番地農
川 下 管 六

右前養母亡
東京市本郷區東片町一番地青物商寄留地北豐島郡
板橋町五番地
ト キ

證人
上 山 五 郎
明治五年六月四日生

北豐島郡板橋町參番地

右養子縁組明治參拾貳年拾月六日届出同日受附

北豊島郡板橋町上 新二 明治四年五月貳日生

證人

附録第一號ノ五

明治何年

本籍人

身分登記簿

養子離縁ノ部

北豊島郡板橋町戸籍役場

紙數表紙ヲ除キ何枚

東京區裁判所監督判事氏名 職印

第一號(戸九五、民八六四)

明治參拾貳年參月貳日縁組

養父

北豊島郡板橋町千番地戸主平民農

秋友太郎吉

慶應元年參月八日生

養母

明治貳年六月九日生

東京市小石川區原町百番地戸主農内山權藏弟平民無職業

養子

三郎

明治拾年五月拾日生

右父

内山良一

右母

ラカ

北豊島郡板橋町六拾番地

證人

上井好助

明治貳年六月八日生

同郡板橋町拾番地農

證人

下口尙次

明治五年七月壹日生

右協請ニ因ル養子離縁明治參拾五年八月七日届出同日受附

附錄第一號ノ六
明治何年

本籍人
身分登記簿
婚姻之部

東京市麹町區戶籍役場

紙數表紙ヲ除キ何枚

東京區裁判所監督判事氏名 職印

第一者(戶一〇二、一〇六、民七七五)

麹町區麹町三丁目五番地戶主士族官吏

青 末 太郎 郎

明治五年六月廿日生

無職業

右母

神奈川縣橫濱市吉田町一丁目八番地戶主下宿營業
柴野三郎 妹 平民無職業

第三號(戶一〇二、一〇六、民七七五)

明治拾年拾月壹日生

無職業

柴 野 作 三

右父

神奈川縣橫濱市吉田町三丁目一番地
寄留地麹町區元園町二丁目二十番地酒類營業

證人

福 内 三 郎

明治八年五月四日

證人

神田區錦町三丁目一番地無職業

證人

鈴 木 喜 一

明治元年六月七日生

證人

右婚姻明治拾壹年九月八日届出同日受附
第二號(戶一〇二、民七七五)

右婚姻明治拾壹年九月八日届出同日受附
第二號(戶一〇二、民七七五)

麹町區飯田町二丁目二十六番地戶主平民裁縫師

妻

口 上

明治七年三月六日生

右父

神奈川縣橫濱市戶部町百番地無職業

右父
右母亡

埼玉縣北足立郡大宮町三番地戸主無職業下屋谷次
叔父平民小學校教員

夫

文作

明治元年九月七日生

右父亡

下屋權一

右母

農 本郷區道分町五番地材本商

證人

谷田松吉

證人

麴町區永田町二丁目一番地無職業

添田治作

右入夫婚姻明治參拾壹年拾壹月拾日届出同日受附⑤

明治元年壹月五日生

第三號(戸六〇、六一、三二ノ二、八ノ三)

夫

井口冷水

麴町區元園町一丁目八番地戸主雜貨商

千八百五拾八年
九月貳拾六日生

右父
右母

官吏 井口正太郎

妻

獨逸國伯林シエベルヒ街第參拾五番女學生

獨國人 ヘルミ

千八百六拾壹年
五月參拾日生

右父亡

ヘルマン、ノイベルヒ

右母亡

證人

獨國伯林フランス街第八番裁縫匠

ウイリアム、ストローヘル

貳拾六歲

證人

獨國伯林フランス街第三番女學生

フロントニー、リーバウ

貳拾貳歲

右婚姻證書作製者

伯林身分取扱吏

婚姻證書作製千八百八拾九年拾月九日

バウ、レン子

右婚姻證書本明治參拾壹年貳月貳拾日外務大臣甲野乙郎發送同日受附⑤

第一號欄外登記例

明治參拾貳年五月貳日婚姻無效ノ裁判確定ニ付同月參日東京地方裁判所檢事甲田丁郎ヨリ登記取
消請求同月四日受附
第三號欄外登記例
本籍人身分登記簿國籍得喪之部第一號參看

附錄第一號ノ七

明治何年
本籍人
身分登記簿
離婚之部
籍人

東京市麴町區戶籍役場

紙數表紙ヲ除キ何枚

東京區裁判所監督判事氏名
東京區裁判所監督判事氏名
東京區裁判所監督判事氏名
東京區裁判所監督判事氏名

第一號(一〇九、民八二〇)

明治參拾壹年拾壹月拾日婚姻

第一號(一〇九、民八二〇)

麴町區飯田町一丁目二十六番地戶主平民裁縫師

右父
右母亡

埼玉縣北足立郡大宮町三番地戶主無職業下屋谷次
叔父平民小學校教員

夫

文作

明治元年九月七日生

右父亡

農

麴町區土手三番町七番地印刷業

證人

川田 鎗

明治八年七月六日生

證人

麴町區元園町一丁目六番地土木請負業

右協議ニ因ル離婚明治參拾貳年拾月六日届出同日受附
明治參年壹月五日生

附錄第一號ノ八
明治何年

本籍人
身分登記簿

後見之部

横濱市戸籍役場

紙數表紙ヲ除キ何枚

横濱區裁判所監督列事氏名
職印

第一號(戸一四、民九〇〇)

被後見人
甲野巳太郎

横濱市若松町三番地戸主無職業

明治參拾壹年八月七日生

右巳太郎ニ對シ親權ヲ行フ者ナキニ因リ明治參拾壹年八月拾日後見開始
東京市芝區田町六丁目十番地平民石屋

住所 横濱市若松町五番地

明治元年貳月貳日生

後見人
森田丁吉

右丁吉明治參拾壹年八月拾貳日就職

右後見開始明治參拾壹年八月拾參日届出同日受附
第二號(戸一四、一一五)

横濱市若松町三番地戸主無職業

明治參拾壹年八月七日生

被後見人
甲野巳太郎

右巳太郎ニ對シ親權ヲ行フ者ナキニ因リ明治參拾壹年八月拾日後見人開始
横濱市老松町七番地平民無職業

住所 同

明治元年拾月五日生

後見人
原村巳之助

右巳之助明治參拾壹年拾月九日就職

前任者
森田丁吉

右後見人更迭明治參拾壹年拾月貳拾日屆出同日受附⑩
第三號(月一七)

被後見人

橫濱市若松町參番地戶主無職業

甲 野 巳 太郎

明治參拾壹年八月七日生

橫濱市老松町七番地無職業

乙 之 助

右已之助明治參拾壹年拾月拾九日就職
死亡ニ因リ明治參拾五年六月貳日任務終了

橫濱市若松町五番地平民金物商

前 田 丙 助

明治元年參月拾日生

後見監督人

右後見人任務終了明治參拾壹年拾貳月貳拾五日屆出同日受付⑩

附錄第一號ノ九

明治何年

本籍人

身分登記簿

隱居之部

東京市京橋區戶籍役場

紙敷表紙ヲ除キ何枚

東京區裁判所監督判事氏名 職印

第一號(月一八九、一二三、民七五二、七五三、七五七、七五八)

京橋區入船町參拾番地戶主平民船問屋

須田 平 助

天保拾年六月七日生

右平助病氣ニ因リ家政ヲ執ルコト能ハサルニ付キ隱居

平助三男無職業

初 三

明治元年貳月五日生

業右隱居明治參拾貳年四月五日屆出同日受附⑩

第一號欄外登記例

明治參拾貳年拾月拾日隱居取消ノ裁判確定ニ付同月拾貳日京橋區築地一丁目二番地戸主平民無職業平助弟須田萬助ヨリ登記取消申請同日受附

附錄第一號ノ十

明治何年

本籍人

身分登記簿

失踪之部

久良岐郡戸部村戸籍役場

紙數表紙ヲ除キ何枚

横濱區裁判所監督列事氏名 職印

第一號(戸一二三、一二四)

明治參拾貳年壹月貳日失踪宣言

久良岐郡戸部村百番地戸主殿

谷田音七

明治參年五月六日生

同郡戸部科百貳番地片主士族無職業音七兄

天野丁音七

明治元年貳月貳日生

宣告請求書

右失踪明治參拾貳年貳月拾日届出同日受附

第一號欄外登記例

明治參拾五年八月四日失踪宣告取消ノ裁判確定ニ付同月五日久良岐郡戸部村百三番地片主平民農音七叔父森口丙吉ヨリ登記取消申請同日受附

附錄第一號ノ十一

明治何年

本籍人

身分登記簿

死亡之部

東京市牛込區戸籍役場

紙敷表紙ヲ除キ何枚

東京區裁判所監督判事氏名

職印

第一號(戶一二五)

牛込區加賀町二丁目三番地戶主平民牛乳商乙吉長

管 野 丙 作

死亡ノ時 明治參拾貳年壹月六日午後參時參拾分

明治貳拾年四月五日生

管死亡ノ場所 牛込區加賀町三丁目三番地

同前(一) 同前(二) 同前(三) 同前(四) 同前(五) 同前(六) 同前(七) 同前(八) 同前(九) 同前(十) 同前(十一) 同前(十二) 同前(十三) 同前(十四) 同前(十五) 同前(十六) 同前(十七) 同前(十八) 同前(十九) 同前(二十) 同前(二十一) 同前(二十二) 同前(二十三) 同前(二十四) 同前(二十五) 同前(二十六) 同前(二十七) 同前(二十八) 同前(二十九) 同前(三十) 同前(三十一) 同前(三十二) 同前(三十三) 同前(三十四) 同前(三十五) 同前(三十六) 同前(三十七) 同前(三十八) 同前(三十九) 同前(四十) 同前(四十一) 同前(四十二) 同前(四十三) 同前(四十四) 同前(四十五) 同前(四十六) 同前(四十七) 同前(四十八) 同前(四十九) 同前(五十) 同前(五十一) 同前(五十二) 同前(五十三) 同前(五十四) 同前(五十五) 同前(五十六) 同前(五十七) 同前(五十八) 同前(五十九) 同前(六十) 同前(六十一) 同前(六十二) 同前(六十三) 同前(六十四) 同前(六十五) 同前(六十六) 同前(六十七) 同前(六十八) 同前(六十九) 同前(七十) 同前(七十一) 同前(七十二) 同前(七十三) 同前(七十四) 同前(七十五) 同前(七十六) 同前(七十七) 同前(七十八) 同前(七十九) 同前(八十) 同前(八十一) 同前(八十二) 同前(八十三) 同前(八十四) 同前(八十五) 同前(八十六) 同前(八十七) 同前(八十八) 同前(八十九) 同前(九十) 同前(九十一) 同前(九十二) 同前(九十三) 同前(九十四) 同前(九十五) 同前(九十六) 同前(九十七) 同前(九十八) 同前(九十九) 同前(一百)

明治六年壹月六日生

右死亡明治參拾貳年壹月七日届出同日受附(四)
第二號(戶一二九)

宣言書

牛込區早稻田町百六番地戶主平民万吉三男

同前(一) 同前(二) 同前(三) 同前(四) 同前(五) 同前(六) 同前(七) 同前(八) 同前(九) 同前(十) 同前(十一) 同前(十二) 同前(十三) 同前(十四) 同前(十五) 同前(十六) 同前(十七) 同前(十八) 同前(十九) 同前(二十) 同前(二十一) 同前(二十二) 同前(二十三) 同前(二十四) 同前(二十五) 同前(二十六) 同前(二十七) 同前(二十八) 同前(二十九) 同前(三十) 同前(三十一) 同前(三十二) 同前(三十三) 同前(三十四) 同前(三十五) 同前(三十六) 同前(三十七) 同前(三十八) 同前(三十九) 同前(四十) 同前(四十一) 同前(四十二) 同前(四十三) 同前(四十四) 同前(四十五) 同前(四十六) 同前(四十七) 同前(四十八) 同前(四十九) 同前(五十) 同前(五十一) 同前(五十二) 同前(五十三) 同前(五十四) 同前(五十五) 同前(五十六) 同前(五十七) 同前(五十八) 同前(五十九) 同前(六十) 同前(六十一) 同前(六十二) 同前(六十三) 同前(六十四) 同前(六十五) 同前(六十六) 同前(六十七) 同前(六十八) 同前(六十九) 同前(七十) 同前(七十一) 同前(七十二) 同前(七十三) 同前(七十四) 同前(七十五) 同前(七十六) 同前(七十七) 同前(七十八) 同前(七十九) 同前(八十) 同前(八十一) 同前(八十二) 同前(八十三) 同前(八十四) 同前(八十五) 同前(八十六) 同前(八十七) 同前(八十八) 同前(八十九) 同前(九十) 同前(九十一) 同前(九十二) 同前(九十三) 同前(九十四) 同前(九十五) 同前(九十六) 同前(九十七) 同前(九十八) 同前(九十九) 同前(一百)

死亡ノ時 明治參拾貳年貳月四日午後壹時貳拾分

明治五年參月貳日生

死亡ノ場所 市ヶ谷監獄署

明治參年參月貳日生

市ヶ谷監獄署長典獄

田 颯 藏

同前(一) 同前(二) 同前(三) 同前(四) 同前(五) 同前(六) 同前(七) 同前(八) 同前(九) 同前(十) 同前(十一) 同前(十二) 同前(十三) 同前(十四) 同前(十五) 同前(十六) 同前(十七) 同前(十八) 同前(十九) 同前(二十) 同前(二十一) 同前(二十二) 同前(二十三) 同前(二十四) 同前(二十五) 同前(二十六) 同前(二十七) 同前(二十八) 同前(二十九) 同前(三十) 同前(三十一) 同前(三十二) 同前(三十三) 同前(三十四) 同前(三十五) 同前(三十六) 同前(三十七) 同前(三十八) 同前(三十九) 同前(四十) 同前(四十一) 同前(四十二) 同前(四十三) 同前(四十四) 同前(四十五) 同前(四十六) 同前(四十七) 同前(四十八) 同前(四十九) 同前(五十) 同前(五十一) 同前(五十二) 同前(五十三) 同前(五十四) 同前(五十五) 同前(五十六) 同前(五十七) 同前(五十八) 同前(五十九) 同前(六十) 同前(六十一) 同前(六十二) 同前(六十三) 同前(六十四) 同前(六十五) 同前(六十六) 同前(六十七) 同前(六十八) 同前(六十九) 同前(七十) 同前(七十一) 同前(七十二) 同前(七十三) 同前(七十四) 同前(七十五) 同前(七十六) 同前(七十七) 同前(七十八) 同前(七十九) 同前(八十) 同前(八十一) 同前(八十二) 同前(八十三) 同前(八十四) 同前(八十五) 同前(八十六) 同前(八十七) 同前(八十八) 同前(八十九) 同前(九十) 同前(九十一) 同前(九十二) 同前(九十三) 同前(九十四) 同前(九十五) 同前(九十六) 同前(九十七) 同前(九十八) 同前(九十九) 同前(一百)

右死亡明治參拾貳年貳月四日報告同日受附(四)
第三號(戶一三〇ノ一、二、二八ノ三)

牛込區藥王寺前町五番地戶主平民高直

男 氏 家 直 高

明治參年四月四日生

死亡ノ時 明治參拾貳年參月參日午後貳時五拾分

死亡ノ場所 東京丸船中

神奈川縣橫濱市戸太町三番地學生

爲 永 時 藏

明治五年六月八日生

靜岡縣靜岡市鷹匠町八番地無職業

龜 田 良 次

明治元年五月九日生

東京丸船長

野 口 榮 造

右航海日誌作製者

航海日誌作製明治參拾參年參月參日

有死亡三關スル航海日誌ノ謄本明治參拾貳年參月拾日發送同日受附

附錄第一號ノ十二

明治何年

本籍人

自登記簿

家督相續之部

東京市赤阪區戶籍役場

紙數表紙ヲ除キ何枚

東京區裁判所監督判事氏名職印

第一號(戶三三三三三四)

赤阪區青山南町三丁目二番地戶主士族實吏

吉次三男 住 田 辰 藏

明治參年貳月四日生

明治參拾貳年壹月六日前戶主父吉次隱居ニ因リ家督相續戶主ト爲ル

第二號(戶一三三)

赤阪區壺町五十番地戶主士族學生

所在 獨逸國伯林 達夫長男 末 岡 種 松

明治九年拾月貳日生

明治參拾貳年貳月四日前戶主父達夫死亡ニ因リ家督相續戶主ト爲ル

第三號(戶一三五、一三六)

赤阪區青山北町一丁目四番地戶主

胎 兒

明治參拾貳年四月貳日前戶主父作之進死亡ニ因リ相續開始

赤阪區青山北町一丁目四番地士族無職業

届出人 母 山口 タ ヅ

明治參年貳月四日生

右家督相續明治參拾貳年四月參日届出同日受附

第一號欄外登記例

明治參拾貳年四月五日家督相續回復ノ裁判確定ニ付同年五月壹日相續權回復者住田吉次長男丑郎

登記取消申請同日受附
第三號欄外登記例

明治參拾貳年五月五日胎死體分燒付赤坂區青山北町一丁目四番地庶子山口龜男ヨリ同年六月拾日登記申請取消同日受附

附錄第一號ノ十三

明治何年

本籍人
身分登記簿
推定家督相續人廢除之部

第三號(戶一三七、一三八、民九七五)

東京市本郷區戶籍役場

紙數表紙ヲ除キ何枚

東京區裁判所監督判事氏名職印

第一號(戶一三七、民九七五)

推定家督相續人

本郷區元町一丁目五番地戶主平民下宿營業北内力
職長男無職業

山 氣 夫 郎

右太郎被相續人ニ對シテ虐待ヲ爲シタルカ爲メ廢除セラル明治參拾貳年五月四日裁判確定

被相續人

北 内 力 藏

右推定家督相續人廢除明治參拾貳年五月六日届出同日受附

文化貳年貳月四日生

第二號(戶一三七、一三八、民九七五)

推定家督相續人

本郷區弓町三丁目一番地戶主福永吉藏長男無職業

一 郎

右一郎家名ニ汚辱ヲ及ホスヘキ罪ニ因リ刑ニ處セラレタルカ爲メ廢除セラル明治參拾貳年拾月貳日裁判確定

明治五年貳月八日生

被相續人吉藏明治參拾貳年六月四日死亡

遺言執行者

本郷區湯島新花町六十番地戶主平民無職業

一 郎 叔 父 福 田 龜 三

右推定家督相續人廢除明治參拾貳年拾月四日届出同日受附

明治元年參月貳日生

附錄第一號ノ十四

明治何年

本籍人

身分登記簿

家督相續人指定之部

東京市京橋區戶籍役場

紙數表紙ヲ除キ何枚

東京區裁判所監督判事氏名 職印

第一號(戶一四〇、一四三、民九七九、九八〇)

京橋區采女町一丁目五番地戶主辰三郎男平民書籍商

山岸吉次

明治拾年壹月七日生

法定ノ推定家督相續人ナキニ付右吉次指定セラル

京橋區采女町三丁目一番地戶主平民無職業

吉次兄 黒田吉郎

明治元年貳月五日生

右家督相續人指定明治參拾貳年五月貳日届出同日受附
第二號(戶一四〇、一四一)

京橋區銀座一丁目三番地戶主一郎弟平民無職業

中野又一

明治拾年壹月五日生

被相續人京橋區銀座三丁目二番地平民下田甲三法定ノ家督相續人ナキニ付右又一指定セラル
明治參拾貳年七月壹日被相續人死亡

京橋區采女町二丁目一番地戶主平民無職業

甲三弟 高田乙助

明治元年壹月五日生

右家督相續人指定明治參拾貳年七月拾日届出同日受附
第三號(戶一二四)

京橋區采女町一丁目五番地戶主辰三郎男平民書籍商

山岸吉次

明治參拾貳年五月貳日指定

指定取消人

明治拾年壹月七日生
京橋區采女町三丁目一番地戶主平民無職業
吉次兄 黑田吉次郎

明治元年貳月五日生

右家督相續人指定ノ取消明治參拾貳年拾月貳拾五日届出同日受附

第一號欄外登記例

明治參拾貳年拾月貳拾五日黑田吉郎ヨリ登記取消ノ申請同日受附

附錄第一號ノ十五

明治何年

本籍人
身分 登記簿
入籍、離籍及ヒ復籍拒絕之部

東京神田區戶籍役場

紙數表紙ヲ除キ何枚

京橋區采女町三丁目一番地戶主平民無職業

東京區裁判所監督判事氏名 職印

第一號(戶一四六、民七三五ノ一)

本區區長 藤家ノ上入籍

神田區鎌倉河岸二丁目三番地戶主酒問屋

落合 六兵衛

文化元年貳月四日生

右六兵衛妹キノ私生子神田區三河町三丁目一番地

尾野 兵助

明治五年參月貳日生

第二號(戶一四六、民七三七)

神田區錦町一丁目四番地戶主無職業

奧 田七郎

文化貳年參月五日生

神田區鈴木町八番地戶主平民無職業

七郎弟 下田 鶴松

明治元年貳月拾日生

廢家ノ上入籍

廢家ノ上入籍

右入籍明治參拾壹年拾月貳拾日届出同日受附⑩
第三號(戶一四六、民七三八)

神田區小川町五十番地戶主平民書籍商山口太郎
(明治元年七月六日生)妻無職業

タカ

明治七年五月四日生

入籍
右タカ兄本郷區追分町三番地戶主官吏添田五郎(天保貳年參月六日生)三女

右入籍明治參拾壹年拾壹月貳日届出同日受附⑩
第四號(戶一四八、民七五〇)

神田美土代町一丁目四番地戶主平民青物商三平
弟無職業

月 口 平 次

明治五年六月八日生

右平次明治參拾壹年貳月四日戶主ノ同意ヲ得スシテ婚姻ヲ爲シタルニ付離籍セラレ

月 口 三 平

明治元年拾月貳日生

離籍人

右離籍明治參拾貳年壹月六日届出同日受附⑩
第五號(戶一四八、民七五〇)

神田區堅大工町六番地戶主平民德兵衛三男無職業

河 内 德 三 郎

明治參年貳月九日生

右德三郎明治參拾貳年貳月四日戶主ノ同意ヲ得スシテ養子ヲ爲シタルニ付離籍セラレ

德三郎ト共ニ家ヲ去ル 德三郎養女

明治拾九年八月六日生

離籍人

河 内 德 兵 衛

文化參年貳月四日生

右離籍明治參拾貳年貳月貳拾日届出同日受附⑩
第六號(戶一四九、民七五〇)

神田區堅大工町六番地戶主農

離籍ヲ爲シタル戶主

河 内 德 兵 衛

文化參年貳月四日生

小石川區指ヶ谷町八番地戶主平民無職業

一家創立者

河 内 德 三 郎

明治參年貳月九日生

右德三郎父德兵衛ノ同意ヲ得スシテ養子ヲ爲シタルカ爲メ明治參拾貳年貳月貳拾日離籍セラレ

一家創立

德三郎ノ家ニ入ル

カ マ

明治拾九年八月六日生

右離婚ニ因リ一家創立明治拾貳年參月壹日届出同日受附
第七號(戸一五〇、民七五〇)

神田區錦町一丁目三番地戸主運送業川上秀雄(明
治元年參月四日生)養子無職業

音吉

右音吉明治拾壹年五月參日戸主ノ同意ヲ得テ以テ養子ト爲リ其ノ三付復籍ヲ拒絕セラル

下谷區練塀町拾番地平民菓子商
寄留地 神田區錦町三丁目一番地

拒絕者

文化貳年四月七日生

右復籍拒絕明治拾壹年拾貳月貳日届出同日受附
第八號(戸一五一、民七五〇)

文計學士爲其親目主
下谷練塀町拾番地戸主菓子商
下 井澤武藏八其六日生
文化貳年四月七日生

拒絕者

一家創立者

川上音吉 音吉 音吉
明治九年八月七日生

右音吉父儀一ノ同意ヲ得スシテ養子ト爲リタルカ爲メ明治拾壹年貳月貳日復籍ヲ拒絕セラル

離婚ニ因リ一家創立

右復籍ニ因リ一家創立明治拾貳年壹月七日届出同日受附
第九號(戸一五一、民七四〇)

神田區美土代町一丁目五番地戸主無職業

廢家ノ最終ノ戸主

神田區今川小路二丁目三番地戸主平民無職業

一家創立者

音吉妹 田

明治九年八月七日生

右ナク兄音吉明治拾五年貳月五日廢家シテ他家ニ入リ以テ爲メ復籍スルコト能ハス
離婚ニ因リ一家創立

右廢家ニ因リ一家創立明治拾九年八月七日届出同日受附

附錄第一號ノ十六

明治何年

本籍人

身分登記簿

廢家及ヒ絶家之部

東京市淺草區戸籍役場

紙數表紙ヲ除キ何枚

東京區裁判所監督判事氏名 職印

第一號(戶一五二)

廢家人

神田區美土代町一丁目五番地戶主平民無職業

養子 川上音吉

明治九年八月七日生

妻 全小

明治拾貳年參月四日生

淺草區左衛門町六十五番地戶主酒商

山卓一

明治元年貳月參日生

右音吉ノ入ルヘキ家ノ戶主

右廢業明治參拾五年貳月五日屆出同日受附

第二號(戶一五三)

淺草區左衛門河岸第六號地戶主無職業

絶家ノ最終ノ戶主

岡田三平

天保參年六月四日生

右三平家督相續人ナキニ因リ明治參拾壹年九月六日絶家

淡草區三筋町三丁目二番地戶主平民藥種店

岡田三平

明治元年貳月四日生

一家創立者

三次妻

明治九年拾月五日生

右絶家及ヒ一家創立明治參拾貳年八月八日屆出同日受附

附錄第一號ノ十七

明治何年

本籍人

身分登記簿

分家及ヒ廢絶家再興之部

東京市芝區戶籍役場

紙數表紙ヲ除キ何枚

東京區裁判所監督判事氏名 職印

第一號(戶一五四)

本籍人本家戶主

神奈川縣橫濱市伊勢町一番地戶主無職業

中戶 市兵衛

分家戶主

芝區明舟町三十五番地戶主平民牛肉販賣營業

市兵衛弟 中戶 市三

明治元年參月貳日生

右母

右父神奈川縣橫濱市伊勢町二丁目六番地中戶市右衛門

市三妻

明治拾年五月四日生

右母亡

右父神奈川縣橫濱市扇町二丁目一番地葦商榷下高尾

右分家明治拾貳年壹月六日届出同日受附

第二號(戶一五五)

淺草區左衛門河岸第六號地戶主無職業

絶家ヲ最終ノ戶主

岡田三平

右三平家督相續人ナキニ因リ明治元年九月六日絶家

絶家再興人

芝區日蔭町二丁目一番地戶主平民無職業

三平甥 岡田明 明治拾年貳月六日生

右絶家再興明治拾貳年九月八日届出同日受附

附錄第一號ノ十八

本籍人

身分登記簿

國籍得喪之部

東京市麹町區戶籍役場

紙數表紙ヲ除キ何枚

東京區裁判所監督判事氏名

職印

第一號(戶一五七)

夫

麴町區元園町一丁目八番地主平民新貨商

井口冷水

妻

獨國人 無職業 ヘルミ

千八百五拾八年九月貳拾六日生

右ヘルミ婚姻ニ因リ國籍ヲ取得ス

伯林身分取扱吏

婚姻證書作製者

パウル、レン子

婚姻證書作製

千八百八拾九年拾月九日

右婚姻證書ノ謄本明治參拾壹年拾貳月貳拾日外務大臣甲野乙郎發送同日受附⑩

第二號(戶一五七)

養父

麴町區永田町一丁目六番地戶主平民官吏 寺 山田太六郎

養母

明治元年壹月六日生

養子 英國人小學校教員

明治五年八月七日生

右マリ緣組ニ因リ國籍ヲ取得ス

右養子緣組明治參拾貳年六月七日届出同日受附⑩

第三號(戶一五八)

認知ニ因リ國籍ヲ取得シタル者

麴町區麴町九丁目五番地戶主平民茶商飯口平三庶子男獨國人

ケルツ

右母

獨國人 マリ、ノイセルヒ

右私生認知明治參拾貳年九月五日届出同日受附⑩

第四條(戶一六〇)

麴町區平河町二丁目三番地平民無職業

河合アキ

右アキ佛國人アメリ、ヘルナールト婚姻ヲ爲スニ因リ國籍喪失

右國籍喪失明治參拾貳年拾壹月貳日届出同日受附⑩

第一號欄外登記例

本籍人身分登記簿婚姻之部第三號參看

第二號欄外登記例

本籍人
身分登記簿

身分登記變更之部

東京市麴町區戶籍籍場

紙數表紙ヲ除キ何枚

東京區裁判所監督判事氏名 職印

第一號(戶一六七、一六八)

麴町區麴町一丁目一番地戶主平民吳服商飯尾太郎
同人妻ウシ

長男

一 郎

明治參拾貳年參月五日右一郎出生登記中出生ノ時ノ行ニ午後五時トアルヲ午後六時ト變更ス明
治參拾貳年五朔四日許可ノ裁判確定

申請人

飯尾太郎

明治元年四月貳日生

右出生登記變更明參拾貳年五月五日申請同日受附

附錄第一號ノ二十一

明治何年

非本籍人

身分登記簿

出生之部

東京市芝區戶籍役場

紙數表紙ヲ除キ何枚

東京區裁判所監督判事氏名 職印

第一號(戶六八、六九ノ一、七二ノ一)

神奈川縣橫濱市吉田町一丁目五番地戶主士族官吏
寄留地 東京市芝區巴町二丁目三番地

父 龜田 安之助

母
長男
道太郎

出生ノ時 明治參拾貳年參月四日午後六時拾分
出生ノ場所 芝區巴町二丁目三番地

届出人 龜田 安之助
明治元年六月五日生

右出生明治參拾貳年參月五日届出同日受附
第二號(戶七五)

男 玉村 時藏

推定 明治參拾貳年五月生

發見ノ時 明治參拾貳年五月六日午前五時貳拾分
發見ノ場所 芝區日蔭町一丁目六番地道路

芝區明舟町六番地

育兒院

明治拾貳年五月七日引受

芝區日蔭町一丁目六番地戶主平民青物商

發見者 屋井 五郎

右棄兒發見明治參拾貳年五月七日届出同日受附

附錄第一號ノ二十二

明治何年

非本籍人

身分登記簿

死亡之部

東京市牛込區戶籍役場

紙製表紙ヲ除キ何枚

東京區裁判所監督判事氏名 職印

第一號(戶一三三二ノ一、二、二六ノ一)

本籍不明

男 伊賀 去就

推定 貳拾五六歲

死亡ノ時 明治參拾貳年六月六日午後拾時

死亡ノ場所牛込區神樂阪道路

牛込警察署長警視

報告者 上村三平

右死亡報告明治參拾貳年六月七日發送同日受附

第一號欄外登記例

伊賀去就ノ本籍ハ麴町區三番町九番地ニ在リ明治五年參月拾日生ナル旨牛込警察署長上村三平ヨリ明治參拾貳年六月九月報告發送同日受附

備考

- 一 本籍地ヲ記載スルニハ其地名ノ上ニ本籍地ナル文字ヲ記セス寄留地若クハ所在地又ハ住所ヲ記載スルトキニ限リ其旨ヲ記ス
- 二 本籍寄留地若クハ所在地又ハ住所ヲ記載スルニ當リ其戶籍役場所在地ノ府縣名(區ヲ設ケアル市ニ於テハ市名)ハ之ヲ略ス
- 三 同一ノ登記番號内ノ登記ヲ爲スニ當リ既ニ他ノ資格ヲ以テ届出人ノ本籍地、族稱、職業及ヒ生年月日ヲ記載シタルトキ届出人ヲシテ之ヲ記載スヘキ場合ニ記載シタル事項ヲ畧ス
- 四 父母ハ氏及ヒ族稱、本籍地ニ同フスルヲ以テ常例トセルニ因リ之ヲ異ニスル場合ノ外母ニ付テハ之ヲ記載セス又無職業ナルトキハ別段無職業ト記載セス
- 五 戶主ト家族トノ間ニ在リテハ戶主ヲ家族ノ肩書トスルトキニ限リ戶主ノ氏ヲ略シ戶主ト家族トヲ書キ下ストキハ家族ノ氏ヲ略ス又族稱、職業、本籍地ヲ記載スルノ必要アル場合ニハ家族ニ付テハ其同一事項ニ限リ之ヲ略ス

- 父母戶主ノ家ニ本籍ヲ有スルトキハ其父母ニ付戶主ト同一事項ヲ略ス
- 何レノ場合ト雖モ省略ノ爲メ錯雜ヲ招クノ虞アルトキハ同一事項ヲモ記載ス
- 五 登記番號ノ下ニ例ヘハ(戶六八、六九ノ三、民七三五ノ三)トアルハ戶籍法第六十八條第六十九條第三項民法第七百三十五條第三項ヲ略セルモノニシテ登記例毎ニ參考ノ爲メ關係ノ正條ヲ示シタルニ過キス
- 六 欄外ニ登記取消ノ登記ヲ爲シタルトキハ原登記ニ朱線ヲ交叉スルモノトス

附錄第二號

戶籍簿

何市何町戶籍役場

表 (豎八寸) (横五寸)

本籍地	麴町區四丁目六番地	前戶主	飯田正義
地籍	麴町區元園町壹丁目參番地 朱	族稱	士族華族
本籍地	明治六拾年八月拾日華族ニ列セラレ同月拾七日	族稱	亡飯田正義長男
出同日受附	届出同日受附 明治六拾年拾月六日本籍變更届	前戶主	

明治七拾五年七月六日推定家督相續人廢除ノ裁 列確定同月八日届出同日受附⑤		明治七拾貳年六月四日麹町區永田町四丁目五番 地澤田兵三ハ養子縁組届出同日受附除籍⑤明治 七拾貳年六月四日戸主ノ同意ヲ得スシテ養子ト 爲リタルニ因リ同月拾五日復籍拒絕届出同日受 附⑤	
明治六拾八年貳月四日出生届出同日神田區戸籍 吏甲野乙郎受附同日届書發送同日七日受附⑤		明治六拾八年拾月壹日麹町區平河町壹丁目四番 地非日龜次郎養子協議縁組届出同日受附入籍⑤ 明治七拾年拾月拾五日芝罘巴町參番地ハ分家届	
男 二		女 長	
父 飯田 正夫 母 下カ 出生 明治六拾八年貳月參日	父 飯田 正夫 母 下カ 出生 明治六拾八年拾月拾五日	父 飯田 正夫 母 下カ 出生 明治六拾年八月九日	父 飯田 正夫 母 下カ 出生 明治六拾參年九月六日
二男	二男	長男	長女

明治五拾八年五月七日麹町區四番町五番地副島 吉藏二女婚姻届出同日受附入籍⑤		明治五拾八年六月壹日午後八時死亡同月貳日届 出同日受附⑤	
妻		母	
父 副島 吉藏 母 下カ 出生 明治參拾六年七月四日	父 飯田 正夫 母 下カ 出生 明治參拾壹年六月貳拾 壹日	父 川下 幾太郎 母 下カ 出生 明治九年六月四日	父 飯田 正夫 母 下カ 出生 明治參拾壹年六月貳拾 壹日
二女	長男	三女	長男

出同日芝區戶籍吏丙野丙郎受附同日屆書及入籍
通知書發送同月拾九日受附除籍

明治九拾參年七月五日神田區錦町壹丁目四番地
雲井時直二女婚姻屆出同日受附入籍

裏

弟		姉	
出生	明治參拾四年五月七日	出生	明治七拾貳年五月六日
父	雲井時直	父	マツ
母	二女	母	二男二郎妻
家族	正高	家族	

出生	父	母	家族
出生	父	母	家族

出生	父	母	家族
出生	父	母	家族

〔備考〕本簿式ニ示ス所ノ母、長女及ヒ弟ノ三欄ニハ朱線ヲ交叉スルモノトス
附錄第三號

戶籍記載例

出生

一 明治參拾壹年六月貳拾壹日出生屆出同日受附

二 明治參拾壹年六月貳拾貳日出生屆出同日子丑縣寅卯郡辰巳村戶籍吏甲野乙郎受附同日屆書發送同月貳拾五日受附

〔備考〕第一記載例ハ父母ノ本籍地ニ届出テタルノ例ヲ示シ第二記載例ハ出生地又ハ父母ノ寄留地ニ届出テ其戶籍吏ヨリ發送シタル届書ヲ本籍地ノ戶籍吏カ受附タルノ例ヲ示ス
棄兒

三 明治參拾壹年七月壹日發見届出同日受附

四 明治參拾壹年七月參日辰巳市午未町參番地丙野丙吉ニ引渡

五 明治參拾壹年拾月貳日申酉市戌亥町四番地丁野丁助ニ引受替同月參日届出同日受附

六 明治參拾壹年拾月拾八日父子丑縣祝卯郡辰巳村百番地戊川戊現出引取拾月貳拾日登記取消申請同日受附

嫡出子否認

七 明治參拾壹年七月七日嫡出子否認ノ裁判確定同月拾日届出登記變更申請同日受附

嫡出子タル身分取得

八 明治參拾壹年七月參日父甲母乙婚姻ニ因リ嫡出子タル身分取得届出同日受附

私生子認知

九 明治參拾壹年七月壹日子丑縣寅卯郡辰巳村五番地甲野甲私生子認知届出同日受附入籍

十 明治參拾壹年七月壹日父辰市午未町參番地丙野丙吉認知届出同日辰市午未町戶籍吏戊野戊一

郎受附同日届書及ヒ入籍通知書發送七月九日受附除籍

〔備考〕 第九記載例ハ他家ノ戸主ノ私生子ヲ認知シテ之ヲ入籍セシメタルノ例ヲ示シ第十記載例ハ他家ノ戸主カ私生子ヲ認知シタル旨ヲ其戸主ノ本籍地ニ届出テ其戸籍吏ニ届書及ヒ入籍通知書ヲ發送シ其戸籍吏ハ受附ケタルニ因リ私生子ヲ除籍シタルノ例ヲ示ス

養子縁組

十一 明治參拾壹年六月四日子丑村四番地丁野丁郎二女養子縁組届出同日受附入籍

十二 明治參拾壹年六月四日子丑村七番地戊野戊五郎へ養子縁組届出同日受附除籍

十三 明治參拾壹年六月五日寅卯縣辰巳郡午未村六番地乙野乙郎甥養子縁組届出同日子丑市戶籍吏丙野丙郎受附同月六日届書發送同月八日受附入籍

十四 明治參拾壹年六月五日午未區申西町七番地甲野甲郎へ養子縁組届出同日子丑市戶籍吏丙野丙郎受附同月六日届書發送同月九日受附除籍

丙野丙郎受附同月六日届書發送同月九日受附除籍

十五 明治參拾壹年六月六日子丑府寅卯郡辰巳村九番地乙野乙郎弟養子縁組届出同日辰巳村戶籍吏丙野丙郎受附同月八日届書發送同月拾日受附入籍

十六 明治參拾壹年六月六日夫乙四郎下共ニ養子縁組入籍

十七 明治參拾壹年六月六日辰巳縣午未郡申西村拾番地甲野甲郎へ養子縁組届出同日六月六日受附除籍

〔備考〕 養子縁組ノ無効ノ取消

十八 明治參拾壹年六月拾參日縁組無効ニ因リ登記取消申請同日受附

十九 明治參拾壹年六月拾參日縁組無効ニ因リ登記取消申請同日辰巳市戶籍吏丙野丙郎受附同日申請書發送六月拾九日受附

二十 明治參拾壹年六月十四日縁組取消ノ裁判確定同月貳拾九日登記取消同日申請受附

二十一 明治參拾壹年六月十四日縁組取消ノ裁判確定同月貳拾九日登記取消同日辰巳市戶籍吏丙野丙郎受附同日申請書發送七月貳日受附

二十二 明治參拾壹年八月參日協議離縁實家復籍届出同日受附除籍

二十三 明治參拾壹年八月參日子丑村九番地甲野甲郎養子協議離縁届出同日受附入籍

二十四 明治參拾壹年八月四日夫乙四郎下共ニ協議離縁實家復籍除籍

二十五 明治參拾壹年八月四日子丑縣寅卯郡辰巳村三番地乙野乙郎養子協議離縁届出同日辰巳村戶籍吏丙野丙郎受附同月六日届書發送同月九日受附入籍

- 二十六 明治參拾壹年八月四日夫乙四郎下共三協議離縁入籍
- 二十七 明治參拾壹年八月七日離縁ノ裁判確定同月拾日實家復籍届出同日受附除籍
- 二十八 明治參拾壹年八月七日子丑縣寅卯郡子丑區一番地甲野甲郎養子離縁裁判確定同月拾日届出同日子丑町戶籍吏丙野丙郎受附同日届書發送八月拾日受附入籍
- 二十九 明治參拾壹年八月拾日離縁ノ裁判確定同月拾四日離縁及實家廢絶ノ旨届出同日受附

婚姻

- 三十 明治參拾壹年七月參日子丑縣寅卯郡辰巳村一番地乙野乙郎姊婚姻届出同日受附入籍
- 三十一 明治參拾壹年七月參日辰巳市午未町五番地甲野甲郎長男甲太ハ婚姻届出同日辰巳市戶籍吏丙野丙郎受附同日届書發送同月七日受附除籍
- 三十二 明治參拾壹年七月拾壹日寅卯縣辰巳郡午未村六番地乙野乙郎二女婚姻届出同日子丑市戶籍吏丙野丙郎受附同日届書發送同月拾五日受附入籍
- 三十三 明治參拾壹年七月拾壹日午未縣子丑郡申酉村七番地甲野甲郎二男甲太ハ婚姻届出同日子丑市戶籍吏丙野丙郎受附同日届書發送同月拾七日受附除籍

婚姻ノ無效取消

- 三十四 明治參拾壹年八月九日婚姻取消裁判確定同月貳拾日甲裁判所檢事乙野乙郎登記取消請求書發送同月貳拾五日受附
- 他ノ養子縁組ノ無效取消ノ記載例準用

離婚

養子縁組ノ記載例準用

後見

- 三十五 明治參拾壹年七月拾日後見子丑縣寅卯郡辰巳村一番地甲野乙郎就職届出同日受附

隱居

- 三十六 明治參拾壹年八月壹日隱居届出同日受附
- 三十七 明治參拾壹年八月四日隱居取消裁判確定同月拾日登記取消申請同日受附
- 三十八 明治參拾壹年八月五日隱居取消裁判確定同月拾日乙裁判所檢事丙田丙郎登記取消請求書發送同月貳拾日受附

失踪

- 三十九 明治參拾壹年八月拾日失踪宣告確定同月拾八日届出同日受附
- 四十 明治參拾壹年九月壹日失踪宣告取消ノ裁判確定同月拾日登記取消申請同日受附

死亡

- 四十一 明治參拾壹年八月參日午後八時死亡九月貳日届出同日受附
- 四十二 明治參拾壹年九月八日午後拾壹時辰巳市午未町四番地ニ於テ死亡同月拾日届出同日午未町戶籍吏丙野丙郎受附同日届書發送同月拾四日受附
- 四十三 明治參拾壹年九月拾日午前拾時辰巳監獄署ニ於テ死亡同月拾壹日辰巳監獄署長典獄丁野丁郎報告書發送同月拾四日受附

家督相繼

- 四十四 明治參拾壹年拾月壹日家督相繼届出同日受附
- 四十五 明治參拾壹年拾月貳日家督相繼回復ノ裁判確定同月拾八日届出登記取消申請同日受附

四十六 明治參拾壹年拾月拾日前戶主甲那死亡家督相續人胎兒ナル旨同月貳拾日届出同日受附
 四十七 明治參拾壹年拾貳月拾六日家督相續人タル胎兒死體ニテ分娩同月貳拾六日登記取消申請同日受附
 同日受附
 家督相續人廢除

四十八 明治參拾壹年七月壹日推定家督相續人廢除ノ裁判確定同月五日届出同日受附
 四十九 明治參拾壹年八月拾壹日廢除取消ノ裁判確定同月貳拾八日登記取消申請同日受附
 入籍

五十 明治參拾壹年拾月四日子丑縣實那郡辰巳町五番地甲野甲那甥入家届出同日受附入籍
 五十一 明治參拾壹年拾月四日辰巳市午未町一番地乙野乙那方入家届出同日辰巳市戶籍吏丙野丙那受附同月五日届書及ヒ入籍通知書發送同月九日受附除籍
 離籍

五十二 明治參拾壹年九月拾日離籍届出同日受附除籍
 五十三 明治參拾壹年九月拾日夫甲那離籍セラレ共ニ家ヲ去リタルニ因リ除籍
 五十四 明治參拾壹年拾月九日子丑市寅卯町一番地甲野甲那ヨリ離籍セラレタルニ因リ一家創立届出同日受附
 三十五 明治參拾壹年拾月九日夫甲那一家ヲ創立シタルニ因リ入籍
 復籍拒絕

三十六 明治參拾壹年拾月拾日夫甲那一家ヲ創立シタルニ因リ入籍
 五十六 明治參拾壹年拾月拾日戶主ノ同意ヲ得スシテ離婚ヲ爲シタルニ因リ同月十五日復籍

拒絕届出同日受附
 五十七 明治參拾壹年拾貳月拾七日子丑市寅卯町一番地甲野甲那ヨリ復籍ヲ拒絕セラレタルニ因リ一家創立届出同日受附

五十八 明治參拾壹年拾貳月七日夫甲那一家ヲ創立シタルニ因リ入籍
 廢家、絕家

五十九 明治參拾壹年八月拾日廢家届出同日受附
 六十 明治參拾壹年八月拾六日甲區裁判所ノ許可ヲ得テ絕家トス
 六十一 明治參拾壹年拾月九日戶主死亡其家絕家ト爲リタルニ因リ同月拾參日一家創立届出同日受附

分家
 六十二 子丑村四番地甲野甲那方ヨリ分家明治參拾壹年拾月拾日届出同日受附
 六十三 明治參拾壹年拾月拾日父甲那分家シタルニ因リ入籍
 六十四 明治參拾壹年拾月拾日子丑村百十番地へ分家届出同日受附除籍
 六十五 明治參拾壹年拾月拾日子丑市寅卯町七番地へ分家届出同日寅卯町戶籍吏丙野丙那受附同日届書及入籍通知書發送同月拾五日受附除籍
 廢絕家再興

六十六 子丑縣實那郡辰巳町八番地甲野甲那叔父明治參拾壹年拾壹月拾壹日廢家乙村氏再興届出同日受附
 六十七 明治參拾壹年拾壹月拾壹日辰巳縣午未郡中西村二十九地地ニ於テ絕家乙村氏再興届出同日

月中西村戶籍吏丙野丙郎受附同日屆書及入籍通知發送同月拾五日受附除籍

六十八 明治參拾壹年拾月拾貳日イ國口府ハ街アソリールナールト婚姻ヲ爲シタルニ因リ國籍喪失同月拾參日屆出同日受附除籍

六十九 明治參拾壹年拾月貳拾日甲區裁判所ノ許可ヲ得テ國籍喪失者トス除籍
〔備考〕 第六十八記載例ハ國籍喪失後ニ屆出ヲ爲シタルノ例ヲ示ス

氏名族稱ノ變更

七十 明治參拾壹年七月七日氏ノ復舊同月八日屆出同日受附

七十一 明治參拾壹年八月壹日改名同月五日屆出同日受附

七十二 明治參拾壹年八月拾五日華族ニ列セラル同月拾七日屆出同日受附

七十三 明治參拾壹年八月貳拾日七族ノ稱返上同月貳拾參日屆出同日受附

七十四 明治參拾壹年八月貳拾八日處刑ニ因リ族稱ヲ失フ同日戊亥地方裁判所報告九月參日受附

登記ノ變更

七十五 明治參拾壹年九月六日ノ裁判ニ依リ同月貳拾日出生ノ時ニ關スル登記變更申請同日受附

七十六 明治參拾壹年拾壹月貳拾參日ノ裁判ニ依リ同月參拾日甲一ト戸主トノ續柄ニ關スル登記變更申請同日受附

轉籍

七十七 明治參拾壹年七月貳拾日子丑縣寅卯郡辰巳町五番地ヨリ轉籍屆出同日受附

七十八 明治參拾壹年七月貳拾日午未市中西町七番地ハ轉籍屆出同日中西町戶籍吏丙野丙郎受附

同月貳拾壹日屆書及入籍通知發送同月貳拾五日受附除籍

就籍、除籍

八十一 明治參拾壹年八月壹日就籍ノ裁判確定同月五日屆出同日受附就籍

八十一 明治參拾壹年九月五日除籍ノ裁判確定同月七日屆出同日受附除籍

請求書

明治何年本籍人身分登記簿

何々之部紙數何枚 正副二冊

明治何年非本籍人身分登記簿

何々之部紙數何枚 正副二冊

右契印請求候也

明治 年 月 日

何區裁判所(監督)判事氏名殿

何市町村戶籍吏氏名 職印

附錄第五號

右騰(抄)本ハ身分登記(戶籍)ノ原本ト相違ナキコトヲ認證ス

明治年月日

附錄第六號

一何々届

何通

右明治何年何月何日受理シタルコトヲ證明ス
明治年月日

何府何郡何市區町村戸籍吏氏名職印

何市町村戸籍吏氏名職印

届出人氏名宛

附錄第七號

催告狀

本籍地又ハ住所、居所

届出又ハ申請義務者 氏 名

右氏名ハ本職ニ對シ來ル何月何日迄ニ何々ノ届出又ハ申請ヲ爲スヘキコトヲ催告ス
明治年月日

何市町村戸籍吏氏名職印

附錄第八號

第二催告狀

本籍地又ハ住所、居所

届出又ハ申請義務者 氏 名

右氏名ハ何年何月何日本職カ發シタル何々届出又ハ申請ヲ爲スヘキ催告ニ應セサルヲ以テ更ニ來ル何月何日迄ニ右届出ヲ爲スヘキコトヲ催告ス
明治年月日

何市町村戸籍吏氏名職印

戸籍法第二條ノ規定ニ依リ區長ヲ以テ戸籍吏ト爲ス

ノ件 (明治三十一年七月司法省令第十二號)

東京市京都市及ヒ大阪市ノ各區ニ於テハ區長ヲ以テ戸籍吏トス

同 上 (明治四十一年三月司法省令第七號)

名古屋市ノ各區ニ於テハ明治四十一年四月一日ヨリ區長ヲ以テ戸籍吏トス

戸籍法ノ規定ニ依リ納付スル手数料ノ金額ヲ定ムル

ノ件 (明治三十一年七月司法省令第十三號)

戸籍法ノ規定ニ依リテ納付スル手数料ノ金額左ノ通相定ム

第一條 身分登記簿ノ閱覽ヲ請求スル者ハ金拾錢ヲ納ムヘシ
 第二條 身分登記簿又ハ戶籍ノ謄本若クハ抄本ヲ請求スル者ハ一枚ニ付キ金拾錢ヲ納ムヘシ其一枚ニ滿タサルモノト雖モ亦同シ但枚數ハ原本ニ依リ之ヲ計算ス
 第三條 身分又ハ戶籍ニ關スル届出若クハ申請ノ受理ノ證明書ヲ請求スル者ハ一件ニ付キ金五錢ヲ納ムヘシ
 第四條 手数料カ國庫ノ收入ト爲ルヘキ場合ニ於テハ前三條ノ請求ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ前項ノ場合ニ於ケル手数料ハ登記印紙ヲ請求書ニ貼附シテ之ヲ納ムヘシ

皇族ヨリ臣籍ニ入りタル者及婚嫁ニ因リ臣籍ヨリ出テ皇族ト爲リタル者ノ戶籍ニ關スル件

(明治四十三年四月法律第三十九號)

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル皇族ヨリ臣籍ニ入りタル者及婚嫁ニ因リ臣籍ヨリ出テ皇族ト爲リタル者ノ戶籍ニ關スル法律ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム
 第一條 華族ノ養子ト爲リタル皇族男子離縁ノ場合又ハ華族ニ嫁シタル皇族女子離婚ノ場合ニ於テ直系尊屬ノ臣籍ニ入り創立シタル家アルトキハ其ノ家ニ入り其ノ家ナキトキハ一家ヲ創立ス
 第二條 前條 皇室親族令第三十二條若ハ第三十三條又ハ皇族身位令第三十四條ノ規定ニ依リ直系尊屬ノ家ニ入り又ハ實家ニ復籍シタル者ハ十日以内ニ左ノ諸件ヲ具シ入籍又ハ復籍ノ原因ヲ證スル書面ヲ添ヘテ之ヲ届出ツヘシ

スル書面ヲ添ヘテ之ヲ届出ツヘシ
 一 入籍又ハ復籍シタル者ノ父母及其ノ者ト父母トノ續柄
 二 入籍又ハ復籍ノ原因及年月日
 戶籍吏前項ノ届出ヲ受ケタル場合ニ於テ其ノ届出カ前條又ハ皇室親族令第三十二條若ハ第三十三條ノ規定ニ依ルモノナルトキハ身分登記簿中養子離縁ノ部又ハ離婚ノ部ニ、皇族身位令第三十四條ノ規定ニ依ルモノナルトキハ身分登記簿中入籍、離籍及ヒ復籍拒絕ノ部ニ身分登記ヲ爲スヘシ

第三條 第一條、皇室親族令第三十三條又ハ皇族身位令第二十六條ノ規定ニ依リ一家ヲ創立シタル者ハ十日以内ニ左ノ諸件ヲ具シ一家創立ノ原因ヲ證スル書面ヲ添ヘテ之ヲ届出ツヘシ
 一 一家創立地
 二 届出人ノ家ニ入ルヘキ者アルトキハ其ノ名、出生ノ年月日、職業及其ノ者ト届出人トノ續柄
 三 届出人及其ノ家ニ入ルヘキ者ノ父母並其ノ者ト父母トノ續柄
 四 一家創立ノ原因及年月日
 戶籍吏前項ノ届出ヲ受ケタル場合ニ於テ其ノ届出カ第一條又ハ皇室親族令第三十三條ノ規定ニ依ルモノナルトキハ身分登記簿中入籍、離籍及ヒ復籍拒絕ノ部ニ、皇族身位令第二十六條ノ規定ニ依ルモノナルトキハ身分登記簿中分家及ヒ廢絕家再興ノ部ニ身分登記ヲ爲スヘシ
 第四條 養子縁組又ハ婚嫁ニ因リテ皇族ヨリ臣籍ニ入りタル者又ハ婚嫁ニ因リテ臣籍ヨリ出テ皇族ト爲リタル者アル場合ニ於テハ其ノ入り又ハ出テタル家ノ戶主ハ十日以内ニ其ノ者ノ氏名、

出生ノ年月日、本籍地又ハ原籍地、父母及其ノ者ト父母トノ續柄並入籍又ハ除籍ノ原因及年月日ヲ具シテ之ヲ届出ツヘシ
 戸籍更前項ノ届出ヲ受ケタルトキハ身分登記簿中養子縁組ノ部又ハ婚姻ノ部ニ身分登記ヲ爲スヘシ

外國ニ於テ婚姻ヲ爲ストキノ證明書ニ關スル件

(明治三十三年七月司法省令第二十五號)

帝國臣民外國ニ於テ婚姻ヲ爲サントスルニ方リ帝國ノ法律ニ依リ其ノ婚姻ノ障礙ト爲ルヘキ事項ノ存セサル旨又ハ婚姻ヲ爲ス男力其婚姻ニ因リ日本ノ國籍ヲ喪失スルコトナク之ヲ其ノ妻及ヒ嫡出子ニ取得セシムルコトヲ得ル旨ヲ證明スル當該吏員ノ證明書ヲ差出スコトヲ要スル場合ニ於テハ本籍地ノ市區町村長又ハ之ニ準スヘキ吏員ニ證明書ノ下付ヲ申請スルコトヲ得但婚姻ニ付キ戸主、父母、後見人又ハ親族會ノ同意ヲ要スル場合ニ於テ申請書ニ同意ノ證書ヲ添附スルコトヲ要ス
 市區町村長又ハ之ニ準スヘキ吏員ハ證明書下付ノ申請ヲ適當ト認ムルトキハ職氏名ヲ署シ職印ヲ押捺シタル證明書ヲ下付スルコトヲ要ス

身分登記戸籍及寄留ニ關スル書類保存規程

(明治三十五年七月司法省令第二十一號)

身分登記戸籍及寄留ニ關スル書類保存規程左ノ通相定ム

身分登記戸籍及寄留ニ關スル書類保存規程
 第一條 身分登記及ヒ戸籍ニ關スル戸籍役場ノ帳簿及ヒ書類ハ左ノ區別ニ從ヒ之ヲ保存スヘシ

- 一 除籍簿 五十年
- 二 戸籍ニ關スル届書、許可書及ヒ附屬書類 十年
- 三 受附帳 三年
- 四 請求、告知、催告又ハ通知ニ關スル帳簿及ヒ書類 三年

第二條 戸籍法第二百二十一條第一項ニ依リ戸籍ヲ改製シタル場合ニ於テハ原戸籍ヲ五十年間保存スヘシ

第三條 出入寄留ニ關スル届書、除籍帳簿及ヒ附屬書類ハ五十年間之ヲ保存スヘシ

第四條 戸籍法第三十八條第一項ニ依リ戸籍役場ヨリ區裁判所ニ送付シタル書類ハ十年間之ヲ保存スヘシ

第五條 地方裁判所ニ保存スル戸籍ノ副本ハ其正本カ家督相續、廢絶家其他ノ事由ニ因リ抹消セラル又ハ戸籍法第二百二十一條第一項ニ依リ改製セラルルマテ之ヲ保存スヘシ

第六條 第一條第三條及ヒ第四條ノ帳簿及ヒ書類ノ保存期間ハ當該年度ノ翌年ヨリ之ヲ起算シ第二條ノ原戸籍ノ保存期間ハ改製終了ノ翌年ヨリ之ヲ起算ス

第七條 區裁判所判事、戸籍吏又ハ市、區、町村長(市、區、町村長ナキ地ニ於テハ其職務ヲ行フ吏員)カ保存期間ヲ經過シタル帳簿又ハ書類ヲ廢毀セントスルトキハ目錄ヲ作り地方裁判所長ノ認可ヲ受ケヘシ但戸籍吏又ハ市、區、町村長カ認可ヲ請フトキハ監督區裁判所ヲ經由スヘシ

附則

第八條 後見人ニ關スル戸籍法施行前ノ帳簿及ヒ書類ハ當該年度ノ翌年ヨリ五十年間之ヲ保存スヘシ

第九條 登記目錄ハ當該年度ノ翌年ヨリ三十年間之ヲ保存スヘシ

第十條 區裁判所ニ於テ戸籍法施行ノ際郡役所等ヨリ引繼ヲ受ケタル戸籍ニ關スル屆書ハ戸籍法施行前ニ編製シタル戸籍方家督相續、廢絕家其ノ他ノ事由ニ因リ抹消セラレ又戸籍法第二百一十一條第一項ニ因リ改正セララルマテ之ヲ保存スヘシ

第十一條 第一條第二條及ヒ第五條乃至第七條ノ規定ハ戸籍法施行前ノ除籍簿、原戸籍簿、戸籍ノ副本其他ノ帳籍及ヒ書類ニ之ヲ準用ス

處刑ニ因リ族稱ヲ失ヒタル者戸籍吏ニ報告方

(明治三十一年八月司法省訓令第六號)

既決犯罪事件ニ關シテハ明治二十五年(二月)當省參(刑甲)第四一號ノ乙訓令ニ基キ檢事局ヨリ犯人本籍地ノ戸籍吏ニ通知ヲ爲スヘキヲ以テ處刑ニ因リ族稱ヲ失ヒタルモノニ付キテハ此通知ヲ以テ戸籍法第六十六號但書ノ報告ト看做スヘシ

〔參照〕 司法省訓令參(刑甲)第四十一號ノ乙抄錄

自今重罪、輕罪ノ刑ノ言渡確定シタルトキハ刑ノ執行ヲ爲スヘキ裁判所檢事局ハ郵便端書ニ別紙第一雛形ニ倣ヒ氏名其他ノ事項ヲ記載シ犯人本籍地管轄市、區役所又ハ町、村役場ヘ

通知セシムヘシ若シ右管轄市、區役所又ハ町村役場ヨリ戸籍簿等ト相違ノ廉回報アリタルトキハ調査ノ上其旨當省ヘ申報ス可シ

明治十四年丁第三十三號達ニ從ヒ犯人本籍ノ裁判所檢事ニ送致ス可キ既決犯罪表ハ別紙第二雛形ニ依リ之ヲ取扱フヘシ但シ同達文中「其旨ヲ犯人本籍ノ地ノ戸長ニ通知シ」ノ十六字ヲ削除ス

右訓令ス

(別紙雛形ハ之ヲ略ス)

第二章 族籍

非藏人北面舊官人執次使番仕丁等ヲ廢シ士族「卒」

ト改メ宮華族三代相恩ノ家士ヲ士族ニ加フ

(明治三十年十月布告)

一 非藏人北面舊官人執次使番仕丁等ノ名稱ヲ廢シ都テ士族「卒」ト被改地方官貫屬被仰付候事

一 宮華族三代相恩ノ家士都テ士族ノ中ヘ御召加地方官貫屬被仰付候事

郷士ヲ以テ士族ニ入籍ス (明治五年二月布告第四十四號)

舊來郷士ト稱シ家筋山緒有之候者ハ士族ニ入籍可被仰付候條取調書ヲ以テ大藏省ヘ可伺出事

二代以上ノ卒ヲ士族ニ加ヘ一代抱ノ卒ヲ平民ニ復ス

(明治五年五月布告第二十九號)

各府縣貫屬卒ノ内從則番代ノ節抱替等ノ稱ヲ以テ其俸等ハ祿高ヲ給與シ自然世襲ノ姿ニ相成居候分ハ自今士族ニ可被仰付候條調書ヲ以テ大藏省ヘ可伺出家祿ノ儀ハ從前ノ通可相心得事但新規一代限抱ノ輩ハ復籍セシメ給祿ハ是迄ノ通可遣事

僧尼族籍編入方

(明治七年七月布告第七十四號)

今般華族分家候者ハ總テ平民籍ニ編入相成候ニ付本年一月第八號僧尼族籍編入ノ布告自今左ノ通更定候條此旨僧侶ヘ布告スヘキ事

- 一 僧尼ノ輩族籍被相定候條各自其原籍ニ復スヘキ事
- 一 原籍不分明又ハ復籍ヲ望マサル者ハ現在地ヘ別ニ本籍相定若シ現在地ノ外ヘ本籍相定度望ノ者ハ一旦現在地ヘ定籍ノ上其地ヨリ望ノ地ヘ送籍スヘシ但別ニ本籍相定候者ハ元身分ニ不拘總テ平民籍タルヘキ事
- 一 眞宗(維新以來華族ニ列セラレシ者ヲ除クノ外)竝ニ舊修驗等世襲ノ者モ一般平民タルヘキ事
- 一 本末寺共其住職タル者宗教事務管理ノ儀一般職分同様タルヘキ事但一寺住職ノ者ハ平民タリ共總テ身分取扱士族ニ準シ候儀ハ從前ノ通タルヘキ事
- 一 戶籍法中右等ニ抵觸ノ廉ハ總テ廢シ候事

僧尼定籍ニ付テノ心得方

(明治八年十一月內務省達乙第五百一十一號)

僧尼ノ輩定籍ノ儀ニ付昨七年第七十四號ヲ以テ公布相成候處各自原籍ニ復スル分ハ格別現在地ヘ本籍ヲ定ムルニ至テハ自然各地方區區ノ處分ニ相涉リ候テハ不都合ニ付左ノ通相心得速ニ可致編籍此旨僧尼ヘ布告スヘキ事

心得方

- 一 原籍不分明又ハ復籍ヲ望マサル者ハ現今住所ノ區内ヘ別ニ本籍可相定尤本籍ヲ定ムルニ付更ニ土地及ヒ家屋ヲ設クルニ及ハス現住地ノ區戶長ヘ申立其區内(村町)ヘ定籍スヘシ若シ現住地ノ區内(村町)ノ外ヘ本籍ヲ定メ度望ノ者ハ一旦前條ノ如ク定籍ノ上其地ヨリ望ノ地ヘ送籍スヘキ事但別ニ本籍ヲ定ムル者身分ノ儀ハ昨七年第七十四號公布ノ通タルヘキ事

僧尼寺院ニ住居ヲ許ス

(明治九年六月教部省達書第二十一號)

僧尼編籍ノ件昨八年(十一月)內務省乙第五百一十一號達書ニ據リ各自本籍被相定候上ハ住職中其寺院ヘ住居ノ儀總テ從前ノ通可相心得答ニ付此旨寺院ヘ可布達事

第三章 氏名

一人一名タルヘキ事

(明治五年五月布告第四百十九號)

從來通稱名乘兩様相用來候輩自今一名タルヘキ事

平民苗字ヲ設クル事

(明治八年二月布告第二十二號)

平民苗字被差許候旨明治三年布告候處自今必苗字相唱可申尤祖先以來苗字不分明ノ向ハ新々ニ苗字ヲ設ク候様可致此旨布告候事

僧侶苗字ヲ設ク

(明治五年九月布告第二百六十五號)

自今僧侶苗字相設住職中ノ者ハ某寺住職某氏名ト可相稱事但苗字相設候ハ管轄廳へ可届出事

御歴代ノ御諱竝御名ノ文字ヲ名乗ルコトノ解禁

(明治六年三月布告第一百十八號)

御歴代御諱竝御名ノ文字自今人民一般相名乗候儀不及憚事但熟字ノ儘相用候儀ハ不相成候事

苗字名竝屋號共改ムルヲ禁ス

(明治五年八月布告第二百三十五號)

華族ヨリ平民ニ至ル迄自今苗字名竝屋號共改正不相成候事但同苗同名等ニテ無餘儀差支有之者ハ管轄廳へ改名可願出事(明治九年第五號布告ヲ以テ「同名」ノ下ニ「等」ヲ加ヘ「管轄廳へ」ノ下ニ「改名」ノ二字ヲ加フ)

第四章 寄留

寄留ノ届出ニ關スル件

(明治五年一月第四號)

寄留者ノ事 凡寄留スル者ノ届書ハ官員神官華士族「卒僧尼舊神官」ハ當人「兵隊ハ隊長」平民ハ戶主備主請人ノ内ニテ證明シ且寄留ノ地ニ於テ一戸ヲナセシ者ハ其管下ノ者同様届出ヘ屋敷番號ヲ記シ其區戶長ヘ届ケシムヘシ「戶長ハ總體ノ届書ヲ集メ式ノ如ク寄留總計ヲ作り其廳へ出シ其廳之ヲ受ク寄留表へ書載ス可キ事」

出生死去出入等届出方及寄留者届出方

(明治十九年九月内務省令第十九號)

第一條 (明治三十一年六月法律第十二號戶籍法第二百二十二條ノ規定ニ依リ消滅ス)

第二條 (同上)

第三條 (同上)

第四條 (同上)

第五條 (同上)

第六條 他府縣又ハ他郡市區他町村ニ寄留シタルトキハ自己ノ所有地ニ於テハ寄留者ヨリ他人ノ所有地若クハ自己又ハ他人ノ借地借家ニ於テハ寄留者及地主又ハ家主又ハ其地所其家ヲ管理スルモノヨリ十日以内ニ其地戶長ニ届出且同時ニ本籍地戶長ヘ届書ヲ發送スヘシ(明治二十九年十一月内務省令第十一號ヲ以テ本條ヲ改ム)

第七條 寄留地ヲ去ルトキ自己ノ所有地ニ於テハ寄留者ヨリ其他ニ於テハ地主又ハ家主又ハ其地

所其家ヲ管理スル者ヨリ十日以内ニ其地戸長ニ届出ツヘシ

第八條 寄留者本籍地ニ歸リタルトキハ戸主又ハ本人ヨリ十日以内ニ届出ツヘシ

第九條 外國ニ渡航スルトキハ戸主又ハ本人ヨリ出發前ニ届出歸朝シタルトキハ十日以内ニ届出ツヘシ(同上法令ヲ以テ本條ヲ追加シ次條ヲ繰下ク)

第十條 正當ノ理由ナクシテ前數條ニ違背セシ者ハ二十錢以上一圓二十五錢以下ノ科料ニ處ス

入寄留届書寄留者退去届書及寄留者復歸届書編綴方

(明治十九年十月内務省訓令第二十二號)

内務省令(明治十九年九月)第十九號「第五條但書」ニ依リ本籍外ノ者ヨリ差出タル届書ハ左ノ如ク取扱フヘシ(明治三十一年六月法律第十二號戸籍法第二百二十二條ノ規定ニ依リテ同十九年内務省令第五條ノ消滅セル爲メ本令拘置内ノ規定ハ廢滅ニ歸ス)

一「寄留者ニ係ル届書ハ寄留簿ニ登記シタル上入寄留届書ト合綴スヘシ 出產ニ於テハ別ニ入寄留届ヲ爲サシムルニ及ハス」(同上)

一「寄留者ニ非サル者ノ届書ハ總テ便宜編綴スヘシ」(同上)

同令第六條ノ入寄留届書第七條ノ寄留者退去届書及第八條ノ寄留者復歸届書ハ類集編綴スヘシ

戸籍取扱手續

(明治十九年十月内務省令第二十二號)

戸籍取扱手續左ノ通相定ム

戸籍取扱手續

第一條 (明治三十一年六月法律第十二號戸籍法第二百二十二條ノ規定ニ依リ消滅ス)

第二條 (同上)

第三條 (同上)

第四條 (同上)

第五條 (同上)

第六條 (同上)

第七條 (同上)

第八條 (同上)

第九條 (同上)

第十條 (同上)

第十一條 (同上)

第十二條 (同上)

第十三條 (同上)

第十四條 (同上)

第十五條 (同上)

第十六條 (同上)

第十七條 (同上)

第十八條 (同上)

第十九條 (同上)

第二十條 他府縣又ハ他郡市區他町村ヨリ寄留シタルノ届出アルトキハ入寄留簿ニ登記スヘシ其登記ノ總テ月籍ノ例ニ依ル(明治二十九年十一月内務省令第十一號ヲ以テ本條ヲ改ム)

第二十一條 入寄留簿ハ左ノ三種ニ分チ一種毎ニ之ヲ編製シ且一種中ニ一世帯ヲ爲ス者ト然ラサル者トヲ區別編製スヘシ但一世帯ヲ爲ササル者ハ一帳簿ニ列記スルモ妨ケナシ(同上)

一 他府縣人入寄留簿
二 他郡市區人入寄留簿

第二十二條 寄留地ヲ去リタルノ届出アルトキハ朱ニテ記入シ其入寄留人名ニ朱線ヲ畫シ其別葉ヲ爲スモノハ便宜之ヲ除籍簿ニ移スヘシ

第二十三條 他府縣又ハ他郡市區他町村ヘ寄留シタルノ届書到達シタルトキハ出寄留簿ニ列記スル(同上)

第二十四條 出寄留者復歸シタルノ届出アルトキハ朱ニテ記入シ其人名ニ朱線ヲ畫スヘシ

寄留届寄留者復歸届取扱方 (明治二十九年六月内務省令第四號)

明治十九年(五月)内務省令第十九號ニ依ル寄留届寄留者復歸届取扱方左ノ通定ム

一 入寄留ノ届出アルトキハ市長(東京、京都、大阪ノ三市ニ在テハ區長以下同シ)町村長ハ戶籍取扱手續第二十條ノ手續ヲ了シタル後其届書ニ年月日登記濟ノ旨ヲ記入シ其職印ヲ押捺シ直ニ之ヲ寄留人本籍地ノ市町村長ニ送付スヘシ

一 出寄留ノ届出アルトキハ市町村長ハ戶籍取扱手續第二十三條ノ手續ヲ了シタル後前項寄留地

ヨリ發送ノ届書到達スヘキ日數ヲ經タルモ猶到達セザルトキハ其ノ寄留届書ニ前項ノ如ク記入捺印シ之ヲ寄留地ノ市町村長ニ送付スヘシ

一 寄留者本籍ニ歸リタル届出アルトキハ市町村長ハ戶籍取扱手續第二十四條ノ手續ヲ了リタル後其届書ニ前項ノ如ク記入捺印シ直ニ之ヲ其元寄留地ノ市町村長ニ送付スヘシ

華族戶籍ニ關シ宮内省ニ出願方省略ノ件

(明治二十九年宮内省達乙第三號)

華族戶籍ニ關シ從來本名ノ許可ヲ經タルモノノ内養子、婚姻ヲ除クノ外ハ自今願ニ及ハス(明治三十一年七月宮内省達乙第一號ヲ以テ「養子」ノ上ニ存セシ「家督相續」ノ四字ヲ削ル)但從前ノ達令ニシテ本文ニ牴觸スルモノハ總テ廢止ス

華族戶籍ノ異動ニ關スル件 (明治二十九年十月宮内省達乙第四號)

華族戶籍ノ異動ノ總テ當該廳ニ於テ登錄ヲ了リタル後當省ヘ届出ツヘシ

臺灣ニ寄留スル内地人ノ寄留及出產死亡等ニ關スル届出方 (明治三十二年八月臺灣總督府令第八十八號)

臺灣ニ寄留スル内地人ノ寄留及出產死亡等ニ關スル届出方左ノ通相定ム
第一條 内地人ニシテ臺灣ニ住居スル者ハ居住ノ目的ニテ下ニテ雖同一地區内ニ

第九十日以上滞留スル者ハ九十日ノ末日ヨリ七日内ニ左ノ事項ヲ記載シタル寄留届ヲ所轄警察署ニ差出スベシ

一 姓名

二 生年月日

三 寄留所ノ主人ノ内職人ノ姓名及出資額ノ額

四 原籍

五 族稱職業

六 戸主非戸主ノ區別(非戸主ニ於テハ戸主トノ續柄)

七 家族携帶者ニアリテハ其家族ノ氏名生年月日及戸主トノ續柄

第二條 寄留者ニシテ左ニ記載シタル事項ニ該當シタルトキハ十日以内ニ所轄警察署ニ届出ツヘシ

一 出産アリタルトキ

二 死者アリタルトキ

三 失踪者アリタルトキ

四 國籍喪失者アリタルトキ

五 氏名生年月日及原籍ノ變更アルタルトキ

六 同一地區内ニ於テ寄留者所ヲ變更シタルトキ

第三條 寄留者ニシテ原籍地ニ歸ルカ又ハ寄留所ヲ同一地區外ニ變更スルトキハ退去マテニ其届ヲ所轄警察署ニ届出ツヘシ

第四條 前三條ノ事項ニ關シ警察官吏ノ尋問ヲ受ケタル者ハ之ニ答フベシ

第五條 前各條及届出ニ單身者ニ付テハ其家族携帶者ニ付テハ戸主ノ氏名生年月日及原籍地ノ記載ヲ要ス

第六條 第一條第三條第三條ノ届出ヲササル者ハ一圓九十五錢以下ノ科料ニ處シ虚偽ノ届出ヲ爲シタル者ハ刑法ヲ適用スル場合ノ外二十圓以下ノ罰金ニ處ス

第七條 本令ハ明治三十二年八月四日ヨリ施行ス

寄留者諸願伺届等寄留地ノ管廳へ差出方

(明治八年四月布告第十五號)

各地方寄留ノ者諸願伺届等自今其寄留地ノ管廳へ可届出此旨布告候事但事柄ニ付本管廳へ差出候儀ハ其便宜ニ任スベキ事

公署人